令和 5 (2023)年度

シラバス

- 3 年次 -

科目No.		BCS04-3E, BC	CS04-3R		授業形	態	講義	開講年次	3年次		
授業科目	名	医療倫理学	•		担当教 E-Ma		吉本 陵				
		専 攻		科目区	分		単位	立 数	履修期間		
++ 1		理学療法学				,					
基本項目	l	作業療法学	人文科学系				選択必修	1 単位	前 期 (30h)		
		言語聴覚学					必修				
教員の実務経	験と										
授業内容の関	連										
		医療従事者に	とってのケ゛	アに関わる諸	問題を倫理	里学的な	観点から考	察する。			
授業内容の	要約								ができ、課題の発		
		見・解決に向け	て、不断の	努力ができる	人」を目打	旨すため	の科目であ	る。			
		1. ケアを主題	とするテク	ストを正確に	理解し、目	自分の言	葉で説明で	きるようにな	 ;る。		
学修目標	Ę	2. ケアを職業	とすること	に内在する困	難を理解し	、 自分	の言葉で説	明できるよう	iになる。		
到達目標	Ę	3. 障害当事者	が障害と向	き合うことを	:援助する	際の問題	夏を理解し、	自分の言葉	で説明できるよう		
		になる。									
対面授業の	カ		-1-1-1-2-2-1		2						
進め方		講義形式で行う	。事情が許	せはグループ	ワークを約	且み込む	° .				
遠隔授業の	カ	基本的に対面授	業を行うが	、遠隔授業に	なった場	合は、of	fice365 str	eam に動画	をアップロードす		
進め方		る。				mark officeros succum (-saperer / / / / / / / /					
		授業語	十画		1	授業時間外に必要な学修 30分以上					
1. ガイダン	/ス・	イントロダクショ	ン			「ケア	」という言	葉の意味を調	聞べる。		
2. キュアと	ニケア					授業内	容の振り返	[Ŋ			
3. 患者の痛	みに対	すするケア(1)	患者の痛みと	と自分の痛み		授業内	容の振り返	[b			
4. 患者の痛	みに対	ナするケア(2) り	富みの共有の	つ (不) 可能	性	授業内	容の振り返	[b			
5. 言葉の喪	失に対	すするケア(1)。	章害受傷			授業内	容の振り返	Ŋ			
6. 言葉の素	質に対	ナするケア(2)『	章害受傷から	らの立ち直り		授業内容の振り返り					
7. 「傾聴」 と	こして	のケア				授業内	容の振り返	[Ŋ			
8. 生活の中の	のケア	(1) ケアの根拠				授業内	容の振り返	[Ŋ			
9. 生活の中の	のケア	(2)「食べる」	ことの意味			授業内	 容の振り返	[Ŋ			
		ア (3) 医療の外				授業内	容の振り返				
11. 障害受容	ドに対っ	するケア				授業内容の振り返り					
		(1)「価値の転割	 奥」をめぐっ	って		授業内容の振り返り					
		(2)「障害受容」					容の振り返				
		(3)「障害受容」			:			りと試験の準	 纟備		
		末レポート)									
15. 総括及び	バフィ	ードバック(定期	試験の講評	· 解說)	:	学修し	 た範囲につ	 いて復習を必	 ⁄がすること		
, ,, ,,	項目	□課題・小テス			%	□定期記			- 一の他 %		
	基			•	, -	-//48			,-		
成績評価方法	産	授業内容の理解	度を問う			授業内	容を踏まえ	て自ら			
	等	課題を与える。				考察す	る問題を与	える。			
	,1,_			タイ	トル			 出版社	発行年		
教科書		なし。		ブ 1	1 /*			山水上	元11千		
参考図書	<u> </u>	適宜指示する。									
履修要件							<u> </u>				
-	寸	1 旦命1 7世	告告告		+7,-	フマロ:	应坐 奶⁻	グタン が かん	<u> </u>		
研究室		1号館1階 非	币 期再即控	£	オフィス	ヘノリー	[[[] [] [] [] []	後、質問を受	文り刊りる。		

科目No.	BHS03-3E		授業形態	講義	開講年次	3年次				
授業科目名	ダンスレク	リエーション	担当教員 E-Mail	松川 恵梨子	· 一、松永 美規	1				
	専 攻	科目区	分	単位	立 数	履修期間				
基本項目	理学療法学									
基 华 []	作業療法学	健康体育系		選択必修	1 単位	前 期(16h)				
	言語聴覚学									
教員の実務経験と		型生労働省後援のダンス指	導研修会研修	会にて講師(JI	DAC 認定講師	i)を務める教員 				
授業内容の関連		ぶに基づき指導する。								
		目的とした科目である。	ナル・ナフト	こりょうファー						
授業内容の要約	1	命を理解し、指導の基礎を		· -	がな おばに	いないことなりませ				
	・	テップやリズムの基本を身に付け、身体の仕組みについて理解を深め、指導に活かせるよ と。								
		ー こ。 ダンス理論について説明できる。								
学修目標		歌に 30 で配列できる。 『の進め方、相手とのコミ』	ュニケーショ゛	ンの取り方 安	全対策 指道表	マナー向上につ				
到達目標	いて説明できる			· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	T->11>K 11-44 F	1.17.10.2				
, ,,_,,		。 『導ができる。								
対面授業の	=## }		L 10/0							
進め方	講義、美技、^ 	ペアワーク、グループワー	グ等							
遠隔授業の										
進め方										
	授業	計画		授業時間外に	こ必要な学修	30分以上				
1. オリエンテ	ーション、リスクマ	マネジメント								
2. アイスブレ	イク、ストレッチ、	アイソレーション、身体	の使い方							
3. ダンス理論										
4. フォークダ	シス									
	ズムのダンス									
6. リズムダン										
7. 創作ダンス										
		期試験の講評・解説)	- 1							
項	□課題・小テス	ト % ☑レポート	10 %	定期試験	% 図その					
_	+				·	だ内容を理解				
成績評価方法		・授業内で提出	けるレポ			践できているか				
- F		ートの完成度を	:評価する		を評価	9 る。 ープワークにおけ				
=	F					ラグーグにおり 度を評価する。				
		タイ)	トル		出版社	発行年				
教科書	ダンス教育振				. Digo - proces					
	型 JDAC しっかりわかる本 2021									
参考図書										
履修要件等										
研究室	1号館1階 非	常勤講師控室	オフィスア	ワー 授業終了	で後、質問を受	け付ける。				

科目Nº	FBM12-3E		授業形態	講義	開講年次	3年次					
授業科目名	形態・機能	学特論生理領域	担当教員 E-Mail	坪田 裕司	- []						
	専 攻	科目区	分	単位	立数	履修期間					
基本項目	理学療法学	基礎医学、人体の構造	きと機能及び	選択必修	1 単位	後期					
	作業療法学	身体の発達		送 扒		(16h)					
教員の実務経験と											
授業内容の関連											
授業内容の要約	調節、恒常性	・機能学で学んだ人体 の維持機構、適応につ を総合的に理解できる	いて、さらに								
学修目標 到達目標	2. 運動強度と 3. 栄養とエネ	1. 筋運動と利用エネルギーについて説明できる 2. 運動強度と酸素摂取量、心拍数の関係を説明できる 3. 栄養とエネルギー代謝、呼吸と循環について説明できる 4. 老後の身体活動性を維持する機序と必要性を説明できる									
対面授業の 進め方	ラーニング(ク ライド等も取	数科書中心に講義形式で進めるが、随時課題を配布してお互いに説明し合うアクティブラーニング(グループワーク)時間も取り入れて進める。始めにまとめ資料を配布し、スライド等も取り入れてできるだけ分かりやすく説明する。あらかじめ資料をよく読んで予習し、疑問点を明らかに準備して授業に臨むこと。									
遠隔授業の 進め方											
		授業計画		授	業時間外に必要 学修	な 30 分以上					
1. 運動と筋(高	齢化社会と運動	動、筋細胞の種類、骨棒	各筋の構造)		したまとめ資	里領域 I・II に配 資料の範囲の復					
2. 運動と筋、身	/体運動の仕組み	み(興奮収縮連関、運動	動制御、筋感	1	したまとめ資	里領域 I・II に配 資料の範囲の復					
構、乳酸性	一酸性機構、好	の利用エネルギー、 気的エネルギー酸性機 業閾値)		形	したまとめ資	里領域 I・II に配 資料の範囲の復					
	4. 栄養とエネルギー代謝、動作と利用エネルギー、(基礎代謝、安静時代 まとめ資料の範囲の復習に加謝、RMR、METs、エクササイズ Ex、食品カロリー、身体活動) え講義課題の復習										
	5. 最大酸素摂取量(運動負荷、心拍数、酸素摂取量、最大心拍数、体 まとめ資料の範囲の復習と講 力、VO2max の測定法、推定法)										
6. 加齢変化と筋 刺激	6. 加齢変化と筋力維持(廃用症候群、トレーニングの原則・効果、運動 まとめ資料の範囲の復習と講 刺激										
7. 運動負荷(選定、リハビリテー		ヨエネルギー、運動の 負荷)	目的、運動処		とめ資料の針 課題の復習	節囲の復習と講					

定期試験	定期試験(期末レポート)										
8. 総括及で	8. 総括及びフィードバック (定期試験の講評・解説)										
	項目	■課題・小テスト 10 %				■定期 65	■定期試験 65 %		■その他 5 %		
成績評価方法				課題を出	び計	は国試刑 算問題・ 題から出	文章筆	講義へ重視す	-の参加度を -る		
		著者		タイトル				出版社		発行年	
教科書		樋口満監修 栄		養・スポーツ 賞	ツ系の運動生 学	主理		南江堂		2018	
参考図書	ŧ	特に指定しない									
履修要件	履修要件等 形態機能学整理領域 I・II を履修済みあるいは履修中であること。										
- - - - - - - - - -					月曜日 10 トメールて		17:50				

科目No.		FCM17-3E, F	CM17-3R	t	授業形態	講義	開講年次	3年次		
授業科目	名	救急医学物	論		担当教員 E-Mai	.				
		専 攻		科目区	分	単位	立数	履修期間		
基本項目	I	理学療法学 作業療法学	臨床医学	と、疾病の原因と	:治療	選択必修	1 単位	前 期 (16h)		
		言語聴覚学	臨床医学	対よび歯科学		必修				
教員の実務経験	験と	大学付属病院教	の教急セ	ンター及び急性	期病院救急	科での臨床経験の	ある教員が、	救急疾患の初期		
授業内容の関	連	対応について請	義する。							
授業内容の 学修目標 到達目標 対面授業(FI 7 FI	職種と連携し、教育課程におけ 目である。 医療機関では発症することは 求められる。では、一次救済本赤十字社救が 1.心肺蘇生がで 2.バイタルサイ 3.救急疾患に対 講義形式で行い	本学のディプロマポリシーである「豊かなコミュニケーション能力と人間性のもと、関連 競種と連携し、チーム医療を推進することができる」を達成するための科目です。当該科目は 教育課程における専門基礎科目であり、これまで履修した臨床医学各教科の総まとめとなる科 目である。 医療機関では高齢者や基礎疾患をもつ患者と接することが多く、患者が目の前で救急疾患を 経症することはまれではない。このため、PT、OT、STも救急疾患に対する適切な初期対応が 成められる。本講座では救急患者に対する初期の観察、ケアを中心に解説する。また、本講座 では、一次救命処置の実技指導(日本赤十字社救急法短期講習)も行い、本講座修了者には日 本赤十字社救急法短期講習受講証が授与される。 .心肺蘇生ができる .バイタルサインのチェックと評価ができる .救急疾患に対する適切な初期対応ができる よ義形式で行い、間に質疑応答を行う。							
進め方		心肺蘇生につい	いては実力	技指導(日本赤-	十字社救急	去短期講習)も行	すう。			
遠隔授業の進め方	か	TEAMS による	遠隔授業	を行う。双方向	の授業とし	、できる限り質疑	応答も行う。	1		
		授業計	画			授業時間外に必	要な学修	30分以上		
リハビリテ- p12~13)	ーショ	学を学ぶのか(着 ンに活かす安全 教科書 p64~71)	_		科書と復習	(板書内容を整理	里し、ノートに	こまとめる)		
2. 救急医療	での主	Eな病態(教科書	p72~79)		復習	(板書内容を整理	里し、ノートに	こまとめる)		
		ション実施時の留 ション(教科書 _I		命救急・集中治	療室復習	(板書内容を整理	里し、ノートに	こまとめる)		
4. 高度急性	期リノ	・ビリテーション	の実際(教	效科書 p96~103)) 復習	(板書内容を整理	里し、ノートに	こまとめる)		
5. 在宅での	安全管	管理と緊急時の対	応(教科書	掛p104~111)	復習	(板書内容を整理	里し、ノートに	こまとめる)		
6. 一次救命 p112~122)	処置多	実習、日本赤十字	社救急法	短期講習①(教	科書	(板書内容を整理				
	沙置	実習、日本赤十字	社救急法	短期講習②(教	科書	(板書内容を整理	里し、ノートに	こまとめる)		
8. 定期試	験									
成績評価方法	基準等	□課題・小テス	·	□レポート	定期全般	期試験 80 % 試験にて授業内容 についての理解原 価する。	タ 解度を評 無断退室 語・スマー	20 % 質疑応答にて理 価する。遅刻、 、講義中の私 ートフォンの使用 の対象とする。		

教科書	著者	9-	イトル		出版社	発行年
秋(千百	内山靖ら	リハベーシック 安	全管理学・救急医療	学	医歯薬出版	2021
参考図書	特に指定しない					
履修要件等	一般臨床医学、内积	斗学、臨床神経学を履	修しておくことが望	望ましい	\ _0	
研究室	1号館5階第15日	研究室	オフィスアワー	毎週月	曜日 16:20~17:50)

科目No.		FHW06-3R, FH	W04-3R	授業形	態講義		開講年次	3年次			
授業科目	名	地域包括ケブ リハビリテ-		担当教 E-Ma	* 1	人夫	ナ 他				
) H	<u> </u>	554/5/\$P\$\$\$			
		要 攻 <u></u> 理学療法学	科 目 区_	<u>ガ</u>		単位	上数	履修期間			
基本項目	1		呆健医療福祉とリハビリ	の理念	业	修	1 単位	後期(16h)			
		言語聴覚学		*>* <u>->*</u>		150	1 712	(1011)			
			は、総合リハビリテー	ションセン	<u> </u>	邓心身	<u> </u> 	L ンター)にOT			
			ペネージャーとして 17年					•			
#/ U o d+7/4/5	7 EA 1	支援・訪問リハ・	自立支援・就労支援等	の実践経験	験あり、伊藤に	は初台	リハビリテー	ション等での回			
教員の実務経		復期リハ・訪問リ	ハ・リハマネジメント	の経験あ	り、また老健は	拖設緑	ケ丘での訪問	指導を実践中、			
授業内容の関	連	関本はかなえるリ	ンクでの訪問リハや就	労指導・	リハマネジメン	ノト等	を実践中、逢	坂は大東市役所			
		での地域包括ケア	D地域包括ケア支援及びリハマネジメントを実践中。本講義はこうした経験を生かして、地域包								
		括ケア・地域リバ	アア・地域リハ支援の講義を行う。								
		学生は、介護保険	制度の一環として構築	された地域	或包括ケアシス	ステム	とは何か、ま	たその中で実施・			
授業内容の	亚%	模索されている高	高齢者・障害者等当事者	主体の多	職種連携・自	立支接	受・リハ職の答	と割等の総論を学			
1文耒州谷()	安心	び、次に 3 人の	外来実務講師による実践	[編から、	地域包括ケア	シスラ	テムの中の地域	成リハビリテーシ			
		ョンのあり方と療	法士の役割を学ぶ。								
学修目標	更	1 地域包括ケアシ	/ステムについて説明出	来る 2 均	也域連携、多職	摊連	携とは何か説	明できる 3 高			
到達目標	•	齢者・障害児者の	自立支援について説明で	できる 4	地域包括ケア	シスラ	テムにおける!	リハとリハ職の役			
ZIZETVI	1,	割を説明できる	5 在宅訪問、通所リハ、	介護予修	方等地域におけ	けるリ	ハ実践を説明	できる			
対面授業 進め方		寺山・野村による	総論、外部講師3名に	よる講義	とグループディ	ィスカ	'ッション、か	ら成る			
遠隔授業	の	Microsoft office 3	65 の Teams を使用し、	双方向の	受業を行う。	授業の	Dオンデマン	で配信と課題配信			
進め方		を組み合わせて行	 う場合もある。								
		授業計	画		授業時	間外に	必要な学修	30分以上			
					左記を「リノ	ヽビリ	テーション概	論」「障害者福祉			
1. 総論1;	地域包	2括ケアシステムと	地域リハの概略(寺山)		論」「関係法規	規」等	の関連授業と	の関連で想起し、			
					その概要をノ	ノート	に記しておく				
2. 総論2;	地域運	連携・多職種連携・	連携マインドとリハ(寺山)	左記に対して「自分の答」を考えておく						
3. 総論3;	地域包	2括ケアシステムー	障害児者支援(野村)		障害児 者に	おける	る地域包括ケブ	アを調べ考える			
4. 実践編1	;生活	5期のリハビリテー	ション一訪問リハ(日2	本訪問リ	左記について	「ネッ	トで情報をつ	かんでおこう			
ハ協会伊藤	泰)				7-HUIC 7V . (- 117	- NIB+Kで ノ	,, ,,, ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,			
			障害児支援の最前線で	(かなえ	左記について	ニネッ	トで情報をつ	 かんでおこう			
るリンクロコ											
		更市における総合リ	ハ・地域連携のかたち	(大東市	大東市の介記	姜子 防	等の実践をネ	ベットで調べてお			
役所PT 道			Hall was the second		<						
			共助・公助、自立支援、	リハマ	1-6の講義	を理解	解しておく				
ネジメント等		Ц)									
	定期試験(期末レポート)										
8. 総括及び			ポートの結果解説等)	./			5-Lina NEA o/	7 - 11 - 0/			
	項目	□課題・小アスト	% ■レポート 100°		1		定期試験 %	□その他 %			
	「レポートの課題」は7回目の授業で提										
成績評価方法	基準	示する。与えられた課題を講義内容と絡 めて独自性も含めて深く考察しているか									
	準										
	等		がポイント。可能								
			するので、文章や	て乂子も拼	は、						

教科書	著者	タイ	トル	出版社	発行年
教代音		適当な著作がない	ので特に定めない		
参考図書					
履修要件等	3年次臨床実習に参	加可能な学生が望ま	しい		
研究室	1号館1階 寺山研究	室	オフィスアワー	毎週水曜日 13:00~14:	30

科目No.		FHW07-3E, H	HW06-:	3E	授業形	態	講義	開請	年 次		3 年次
授業科目名		障害者福祉	論		担当教 E-Ma		野村 和樹				
		専 攻		科目区	分		単位	立 数		履	修期間
基本項目		理学療法学 作業療法学 言語聴覚学	保健医	療福祉とリハビリ	の理念		選択必修	1	単位	後	期(16h)
教員の実務経験 授業内容の関連											
授業内容の要	約	また、近年「障に転換した。そ ついて講義する 社会福祉学で この科目で学修	障がい者の生活実態・障がい者福祉の歴史・障害の概念といった障がい者福祉の概要を解説する。 また、近年「障害者の権利に関わる条約」を批准したことに伴い、法令をはじめ通達、制度等は大幅 こ転換した。それをふまえ障がい児・者に関わる様々な法制度、支援の仕組み・実践の現状と課題に ついて講義する。 社会福祉学で学修した内容が障害者福祉の制度施策にどのように反映されているか確認できる。 この科目で学修することで、地域における包括的ケアに多職種と連携が図れる また、障害の有無に関わらずスポーツ活動ができるよう、障害に応じた競技規則や実施方法について も解説する。								
学修目標到達目標		 障がい児・ 障害のある。 	1. 障害の概念・障害の特性・障がい者の生活実態が把握できる 2. 障がい児・者に関する法制度の知識を習得し、支援について理解できる 3. 障害のある人たちの人権と尊厳を尊重する支援のあり方を療法士として模索する姿勢が習得できる 4. 障害に応じた競技規則や実施方法が理解できる								
対面授業の進め方	,	原則としては講義形式で行うが、療法士および障がい者スポーツ指導員としての支援のあり方を模索できるよう、グループディスカッションの時間を設ける。従って、傍観者的に授業を受ける態度ではなく、自ら思考され表現されることを望む。									
遠隔授業の 進め方)	トで対応する。 を視聴しレポー	通信障害 - 卜提出を	の時間に、ライブに 等、正当な理由に。 を持って出席とす 登校される日に配	より、その る。したか	時間に	受講できなれ	かった	場合は、	録画	されたもの
		授業			. • •		授業時間外に	必要な賞	全修	3	0分以上
1. 障がい者を	取り	巻く社会情勢と	障がい者	 作福祉の思想		障がい	者福祉の思	想をま	とめる		
2. 障害の理解	¥I -	1 身体障害1	身体障	害者福祉法		身体障	害者福祉法	をまと	:める		
3. 障害の理解	¥ I -	2 身体障害 2	身体障害	事の定義と理解		身体障害の定義より身体障害を理解する					
4. 障害の理解	¥Π	知的障害 知的	障害者福	祉法と障害の理解	译	知的障	害を理解す	る			
5. 障害の理解 法律と障害の理解		精神障害 精神	保健及び	精神障害者福祉	こ関する	精神障	害を理解す	る			
6. 障害の理解	¥ΙV	発達障害 発達	障害者支	援法と障害の理解	军	発達障	害を理解す	る			
7. 障がい者ス	ペポー	-ツ 障害に応じ	た競技規	則や実施方法		競技規	則と障害の	関係を	まとめ	る	
8. 障がい者施	正策					障がい	者施策を整	理する)		
成績評価方法	基準等	講義内課題	全般に渡り理解度をは								
本なる		著者		タイト	トル			出版社	:		発行年
教科書		各項目に応じて	レジュノ	メを配布する							
参考図書		講義内で適宜紹	構義内で適宜紹介する								

履修要件等	社会福祉学、社会保障制度 を履修され	ていることを望む	
研究室	1号館4階第1研究室	オフィスアワー	毎週月曜日 12:00~13:00

科目No.	FHW05-3R, FHW07-3	3R	授業形態	講義	開講		3年次			
授業科目名	就労支援学		担当教員 E-Mail	岸村	享 志					
	専 攻	科目区	 分	<u>i</u>	————— 单 位 数		履修期間			
基本項目	理学療法学 作業療法学 社会福 言語聴覚学	祉とリハビリの理	記	必修	5 1 単	单位 後	期(16h)			
教員の実務経験。授業内容の関連	監床現場の実務経験を基 障がい者に対する社会資 テムの現状について講	資源、制度の情報								
授業内容の要	人の社会生活を考えると がいの理解と就労におい 者に対する社会資源、制 学ぶ。	ける関連職種の役	割を学ぶ。併	せて就労支	友援活動の評	価、法的根	拠、障がい			
学修目標 到達目標	 就労・職業の意味を打 職業リハビリテーシ 障がい別の就労支援対 法制度、及び各領域の 	ョンの概念につい 活動における関連	で理解できる	ついて述べ	.,	きる				
対面授業の	講義を中心として、演習	習(検査等を含む)	を適宜加える	3						
進め方	対象者の就労・職業生活									
遠隔授業の 進め方	teams を使用し、双方であります。出席確認のプル等で担当教員、代表教	方法は授業開始時	行うので、通	信の不備、						
	授業計画		!	授業時	間外に必要な学	修	30分以上			
1. 職業関連活				資料の振り	 返り					
	・働き方改革の時代) \/b		NE lo					
2. 障がい者と a. 静学士授え	*****		<u> </u>	資料の振り返り						
4. 障がい別就	関わる職業評価について			資料の振り	巡り					
祖, 學, 學, 別,	力又按07天际		篁	資料の振り	返り					
5. 障がい別就 聴覚・平衡	労支援の実際 断機能・高次脳機能・内部障害	<u> </u>	篁	資料の振り	返り					
6. 障がい別就	-			資料の振り	 返り					
肢体不自由										
7. 障がい別就 精神障害領			- 2	資料の振り	返り					
	**** (期末試験 : マークシート)		<u> </u>							
		-ドバック(定期試験の講評・解説)								
1	頭 □課題・小テスト 35%	% □レポート	% [定期試験	65%	□その他	%			
以傾計1四万法	基 準 課題など 等		~	ァークシート	、試験					
	著者		イトル		出版	<u>———</u>	発行年			
教科書	芳賀大輔・金川善 衛・稲富宏之	ゼロから始める原	就労支援ガイト	ヾブック	メジカルロ	ビュー社	2022			

	中村俊彦・建木健・	就労支援の作業療法 基礎から臨床実践まで			歯薬出版株式会社	2022
	藤田さより編著	一基礎から	品休夫践まで一			
	平賀昭信·岩瀬義昭	作業療法学全書第12巻「作業療法技術			協同医書出版	2016
	編集	学 4 職業関連活動」			励问 <u>区</u> 音山瓜	2016
参考図書		「キャリア支援に基づく職業リハビリ				
	松為信雄	テーションカウンセリングー理論と実			ジアース教育新社	2021
		際一」				
	長崎重信監修	「改訂第3版	作業療法学ゴールド	マ	バジカルビュー社	2021
	里村恵子編集	スターテキスト	、 作業療法学概論」		シカルしュー社	2021
履修要件等						
研究室	1号館1階作業療法専	 事攻長室	オフィスアワー	毎週月時	翟 日 16:20~17:00	: 他

科目No.	CDT25-2F C	OT22-3E, FHW11-3E	授業形態	美	7 EEE	講年 次	9	 3 年次
77 E IVO.	SF 125 SE, SC	J122 SE, FIIWII SE				再十八		+ 次
授業科目名	園芸療法実	E習 I	担当教員 E-Mail		史江			
	専 攻		分	<u> </u>	単位数		履	修期間
基本項目	理学療法学	理学療法治療学						
金秤点口	作業療法学	作業療法治療学		選択必	修 1	単位	前其	朔(30h)
	言語聴覚学	保健医療福祉とリハビ	リの理念					
教員の実務経験と 授業内容の関連	園芸療法士とし	て25年の経験を持つ教	員が、実践的	な園芸療法	を指導する	00		
授業内容の要約	7	よるために、園芸療法実習 设定、園芸療法プログラム						ニーズや課
24 lb p 125	1. 園芸療法の	対象者のニーズや課題を	あげることが	ぶできる				
学修目標	2. 対象者のニ	ーズや課題に沿った目標	設定ができる)				
到達目標	3. 植物や園芸	作業を用いたアプローチ	サポート方	法を考え、	実践できる)		
授業形態	プリントやワー	ークシートなどの資料を通	質配布し、講		進めていく	。実習で	は振り	返りの時
授業の進め方	間を取り、理解	解の確認を行う。本科目に	は園芸療法実習	習Ⅱと連続し	て授業を行	亍う。		
遠隔授業の								
進め方								
	授業	計画		授業時	間外に必要な	学修	30	分以上
1. オリエンテー	ーション 授業の進	め方・授業目標確認・チ	ーム設定 園	園芸療法関連	授業専用 の	りファイル	レを準	備する
2. 園芸療法プロ	ュグラム実習 1 : 園	芸療法プログラム実習の	概要	• 園芸療法部	呼価に関する	る文献を訪	売む	
実践方法の認	説明、プログラム評	価方法		・ 高齢者に適	通した療法 に	プログラム	な考	える
3. 園芸療法プロ	ュグラム実習 2 : 計	画				1 -1- > 1-		
4. 園芸療法プロ	ュグラム実習 3 : 計	画	;	園芸療法フ				る
5. 園芸療法プロ	ユグラム実習 4 : 計	画	:	・実践時の自分の動きをイメージする				
6. 園芸療法プロ	ユグラム実習 5 : 学	生を対象に演習	÷	──・評価項目を把握する ──・プログラム字羽味の対象表と白ハトの動きな				
7. 園芸療法プロ	ユグラム実習 6 : 学	生を対象に演習	:					
8. 園芸療法プロ	ュグラム実習 7 : 学	生を対象に演習						
9. 園芸療法プロ	ュグラム実習 8 : 高	齢者を対象に実践	;	響・自分がも 国共療法型				
10. 園芸療法プ	 ゜ログラム実習 9 : 福	 高齢者を対象に実践	:	・園芸療法対			共有と	が法ノロ
		高齢者を対象に実践		グラムの見直	せい・1珍比を	と与んる		
		プログラム実習の全体の	振り返り・・	実習の総割	<u> </u>			
, ,, ,,	践現場・公園・緑地			園芸療法実践		をする		
		と確認試験のための準備		受業で使用し			こめる	
定期試験								
15. 総括及びフ	イードバック			園芸療法の理	 上解と知識の	り修正を行	すう	
項		スト % ■ レポート		□ 定期試験	50 %	■ その		10 %
	3,100			・ 定期試験を実		5 /		- , 0
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	ţ.		B	園芸療法プロ	· -			
成績評価方法		園芸療法プログ	グラム評 5	ューズにす 戊や評価に関				により減
· ·		価記録を課す。		内容全般の理		点する。		
				険する				
	著者	タイ	トル		出	 版社		発行年
教科書		」 、各回において講義資料	やワークシー	 ートを配布す			I	•
	山根寛(ほか)	「園芸リハビリ			医歯薬出	版株式会	社	2003
参考図書	山根寛	「ひとと植物・環境 療		-		海社		2009
	F-1270		、147 0 7 101 1	っこ人ノ」	Ħ	1714		2000

	「園芸療法」「園芸論」「ガーデニング」	が履修済みであるこ	こと。
履修要件等	園芸療法士の資格認定を受けようとする	受講生は、「園芸論	」「園芸療法」「ガーデニング」「園芸療法
	実習 I 」「園芸療法実習 II 」の単位を取得	导することが必要と	なる。
研究室	1号館5階 第2共同研究室	オフィスアワー	毎週火曜日 12:00~13:00

			1		ı	1			
科目No.	SPT26-3E, S	OT23-3E, FHW12-3E	授業形態	実習	開講年次	3年次			
授業科目名	園芸療法第	론習Ⅱ	担当教員 E-Mail	Mail					
	専 攻	科目区	分	単位	立 数	履修期間			
# + 75 0	理学療法学	理学療法治療学							
基本項目	作業療法学	作業療法治療学		選択必修	1 単位	前 期 (30h)			
	言語聴覚学	保健医療福祉とリハビリ	の理念						
教員の実務経験 授業内容の関連		して 25 年の経験を持つ教員	員が、実践的な	は園芸療法を指	尊する。				
授業内容の要	約	うために、植物の栽培・管理 Rと育て方、園芸療法プロ							
2244	1. 園芸植物の								
学修目標	2. 園芸療法に	用いる植物情報の収集・勢	整理をし、春夏	『野菜の栽培計』	画書の作成が	できる			
到達目標		利活用方法を提案・指導な			71775				
		ト療法実習Ⅰ」と連続して打		芸療法プログ	ラムを主軸に	植物材料の利用			
授業形態		ば管理 等、実践を通して							
授業の進めて	Fi	こ適した服装(初回講義時							
			マスエルロノ くの	4H / 2 C C 0					
・									
進め万	松华	÷1 æ;	ı	1公元41日刊) ~	いまとかか	90 (\)\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\			
1 +11-1/-	授業		ケナフ	授業時間外に	必安な子修 	30分以上			
	ーション 美音現場 野菜の栽培方法につい	トの下見、準備物の確認、 ハエ調べる	· j	夏野菜について	の予習				
		**	10 1/ 	光にいまれて	~はる 畑ロナ				
		ンター栽培の理解、土作		業に必要な個人	で使り物面を	1別んる			
3. 第17不一 植物の利活		[一年草の種まき、ハーブ]	田疋他、						
4. 第1イネー	-ブルガーデン : 野菜	革の定植他							
5. 第1イネー	-ブルガーデン : 野菜	苗の手入れ、他							
6. 第1イネー	-ブルガーデン : 野菜	苗の手入れ、他	• ‡	 ・授業内で次週の授業の案内を行うの [~]					
7. 第1イネー	-ブルガーデン : 野菜	革の手入れ 他	にう	沿って予習する	こと				
第2イネー	ブルガーデン:サツ	マイモのつる定植	• • •	天候により、授	業内容を変更	することがある			
8. 第2イネー	ーブルガーデン : ウメ	の収穫 →ウメの加工	• 2	基本的にはチー	ム単位で行動	する			
9. 第1イネー	-ブルガーデン : 野菜	至苗の手入れ、他							
植物の繁殖	(挿し木 等)								
10. 第1イネ	ーブルガーデン:野	菜苗の手入れ、収穫 他							
11. 第1イネ	ーブルガーデン:野	菜苗の手入れ、収穫 他							
	菜の年間計画と栽培		 : 季i	 節の草花や野菜	について調べ	 ておく			
	実践現場・公園・緑			西の園芸療法実					
	一栽培の片づけ、道			末の場での園芸					
定期試験			:						
	フィードバック (確認)	忍試験の講評・解説)	試	験内容の振り返	り、理解と知	識の修正を行う			
	項目 □ 課題・小テン	スト % ロレポート	% = 5	定期試験 60	0% ■ その	D他 40 %			
成績評価方法	基準等		定	期試験を行う。		遅刻、授業参加 作業態度により つる。			

教科書	著者	タイ	トル	出版社	発行年
教代音	藤田智	「成功するコン	/テナ菜園」	NHK 出版	2013
参考図書					
履修要件等			受講生は「園芸療活	去」「園芸論」「ガーデニン ク	ブ」「園芸療法
研究室	1号館5階第2共同	可研究室	オフィスアワー	毎週火曜日 12:00~13:00	

科目No.		SGR02-3R			授業刑	態演	習	開講年次	3 • 4	年次
授業科目名		卒業研究			担当 养 E-M		美砂 /		当教員	
基本項目		専 攻 理学療法学 作業療法学 言語聴覚学	卒業研究	科 目 区 究	分	必	修修	数 3 単位	履修数 3 年行 4 年前 (45	发期 前期
教員の実務経験 授業内容の関連	-									
授業内容の要	約	これまでに学ん取り組む。「自動の表現法、プレ思考力を伸ばす	分で問題を をについて マゼンテー	を発見し、その 、本科目を通 -ション法を修	の解決法を見 じて学ぶ。 さ	しいだし、問題 らに研究成	題を解決。 果を研究:	する」ための 会、学会など)スキルや で発表す	方法、
学修目標 到達目標		 研究テーマ 問題解決の 研究内容を 倫理規範を 	プランに行 ロ頭発表 [・]	従い、計画的に することができ	こ研究を遂行		できる			
対面授業の 進め方)	興味のあるテー ても学びながら 計的評価、研究	。、研究計	・画を立案・実	施していく。	多くは実験	を伴うテ	ーマであり、		
遠隔授業の 進め方)	Teams やメー/	レなどによ	よる担当教員 <i>の</i>	治導の下で	行う。				
			授業計	画			授業時間	間外に必要な学	修 600分	以上
 文献調査 最大方針の 品の 一般で完善 研究計画を 4. 研究計画を 4. 研究企業 実践 間題・表 実践 間と も、 一次 一次 一次 一次 一次 一次 一次 一次 一次 一次 一次 一次 一次	れ、研の行・解制理受、解察実るの発、決の方決請のけ、決・験に発	ための研究方針を 法の決定 するための方法 小との作成・提出 基本的概念を理解 る するための調査、 こより得られた終	では、 では、 に投業語 と、 におり調をしまする。 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	十画のモデルケ 至し、研究上の 決定する 発論し決定する 辞理委員会への 計う。担当教員 こに図表などに	中請書類を	。 を洗い出す 作成、提出し つ進める	これま しなか ていく 業 時 間	で学修して ぶら、主体的 科目である 別外学修が主	に目標を ため、多	達成しくは授
	項目	■研究態度	50%	■卒業研究	25%	■研究発表	25%	% _□ その(f	也	%
成績評価方法	基準	主査1名(指導が、研究態度の行う。		主査1名およ 名の計3名か 究の内容につ	ぶ、卒業研	主査1名お 名の計3名 表の評価を	が、研究			

究の内容についての評

価を行う。

表の評価を行う。

行う。

等

	著者	タイ	トル	出版	社	発行年
教科書	指導教員による紹介					
	文献検索等により必	用な文献を得る				
参考図書						
履修要件等	開始前に必ず卒業研	究の説明会を受講す	ること。			
研究室	各指導教員 研究室		オフィスアワー	各指導教員	オフィスア	ワー

科目No.	SRP04-3E, SRO05-3E	E, SRM04-3E	授業形態	講義	開講年次	3年次
拉米切口 5	健康増進・介護・	予防フィー	担当教員	今岡 真和		
授業科目名	ルドワーク		E-Mail			
	専 攻	—————————————————————————————————————	分	単位	立数	履修期間
	理学療法学	.,	· ·	, ,		100000000000000000000000000000000000000
基本項目	作業療法学地域・予	予防医学的リハビ	`リテーショ:	選択必修	1 単位	前 期 (30h)
	言語聴覚学					
教員の実務経験と	1次・2次予防のコンセ	プトを基に、地域	或在住高齢者	を対象とした運		調査を多年に渡
授業内容の関連	り実施している教員が、	公衆衛生的な重	要性を踏まえ	えて健康増進・介	護予防の実践	を学ぶ
	わが国では非感染性類	戻患は増加してい	る状況である	が、生活習慣な	どを改善する	ことで、これらの
授業内容の要約	疾患を予防することが同	「能である。その)	ため、療法士	が専門職として	正しい健康増殖	進・介護予防に関
	する知識を身に着け未得	両者の健康づくり	を支援する第	実践方法を知るこ	とが出来る。	
20616 D LTE	1. ライフサイクルに対	対応した健康増進	の意義と目的	りが理解できる		
学修目標	2. 地域在住高齢者を対	対象とした健康増	進と介護予防	方の実践が模倣で	可能となる	
到達目標	3. フレイル・サルコ~	ペニア・MCI 予防	方を目的とし	た介入方法を実践	浅できる	
対面授業の	講義とグループワーク	7、プレゼンテー	ションを中心	いに授業を進める	00	
進め方	・公衆衛生、健康増進に	工関する書籍を事	前に読むこと	とを推奨する		
遠隔授業の	Teams を活用してリア	ルタイム配信とオ	トンデマンド	配信を活用して、	学習習熟がF	
進め方	に実施する。					
	授業計画		:	授業時間外	こ必要な学修	10 分以上
 1. 健康増進と介	護予防の概要(健康日本:	21 など)	<u>:</u>	教科書 P3-5 フ	 、ライド資料	
	介護予防、これからの介護	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		教科書 P9-20	7 1 1 2 1 1	
	護予防実践 世代間交流		+	教科書 P39-144		
	護予防実践 世代間交流		-	教科書 P39-144		
	スマートシティ化とウェブ			教科書 P161-49		まわす
	スマートシティ化とウェブ			教科書 P161-49		
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	ICT 技術とヘルステック		+	教科書 P161-49		
	ICT 技術とヘルステック		<u> </u>	教科書 P161-49		
	る運動プログラムの作成		1	教科書全般とス		
	る運動プログラムの発表		<u> </u>	教科書全般とス		声,态表 実践 1
	る運動プログラムの作成		<u> </u>	教科書全般とス		
	る運動プログラムの発表			教科書全般とス		<u>実践 2</u>
	ークの実施(運動プログ					※社会情勢による
14. フィールドワ		ノムの天旭)				かた点の振り返り
	ークの振り返り 末 レ ポ ー ト)		1	修正点 う後の	以普点、及//**	プに思い成り返り
7 - 774 11 1 0 7 0 7		基言证 。 在万言兴\	<u>.</u>			
	ードバック(定期試験の記します。 0/2	1	%	■ 	1/ -20	(4) EOO/
項目	□課題・小テスト %	ロレポート	70	■定期試験 50%	% ■ その	他 50%
基				1~8の講義内	容を 運動フ	プログラム作成の
成績評価方法 準				範囲としたテス	トを 取り組	ヨみやプログラム
等				行う	内容を	評価する
	著者	<u> </u> タイ	トル		 出版社	発行年
教科書	鈴木隆雄		<u>^///</u> ·防マニュア/		法研	2015年
女	刈り八八年以上	兀土瓜 川	ツィーユノノ	<u> </u>	1271月	Z019 '
参考図書						
履修要件等	TT/2047 1 # 4 # 1 40 TT/20		4-7	アロ	₽D 10 00	12.00
研究室	研究科棟4階 143研究	L主	オフィスア	ソー 毎週水曜	星日 12:00~	~13:00

科目No.	CDT91.9F C	OT18-3E, SRM06-3E	授業形態	実習	開講年次	3年次
7千日NO.	SF121-5E, S	O116-5E, SMW00-5E	1文未//) 思			3 牛伙
授業科目名	スポーツリ <i>/</i> 実習	ハビリテーション	担当教員 E-Mail	久保 峰鳴・ 	· 村上 選典	
	専 攻	科目区	分	単位	立数	履修期間
基本項目	理学療法学	理学療法治療学				
3176	作業療法学	作業療法治療学		選択必修	1 単位	前期(30h)
#1 C = d=7/e/57E/	言語聴覚学	地域・予防医学的リハビ		- Marie - 2	0	ATTENDED TO A SECOND
教員の実務経験		こ対する健康支援サポート	の方法について	て、臨床やスポ	ーツ現場での	経験がある教員
授業内容の関連			1	ビリテ 、シル	\	フレレナル フザ
授業内容の要	ーツ外傷・障害	D傷害(外傷と障害)を理解 唇の発生機序を理解するこ	•			- •
1文末(1分(7)女	障がいのある	しとの交流を通じ、障がいる	者にとってのス	ポーツの必要	性、意義や価値	直について学ぶと
	同時に障がい特	特性に応じたコミュニケー	ション方法を与	差ぶ。		
		リハビリテーションの必要		って理解できる)	
224 AA 17 17 17 17 17 17 17 17 17 17 17 17 17		いら受傷機転を推論できる		, 7		
学修目標	*	マンスを向上させるための から適切なトレーニング方		_		
到達目標		たら過弱な Fレーニングの ことってのスポーツの必要			.	
		·特性に応じたスポーツの				
	講義は、教科書	や講義内で配布する資料				
対面授業の	な服装で出席っ	けること。トレーニングやi	運動療法の手技	を理解するた	め、理論背景の	の解説と実技練習
進め方	を取り入れる。	実技は、自分たちの自習	時間を使って終	東習して体得す	るように努力	すること。
遠隔授業の	基本的に対面	受業を行うが、遠隔授業	になった場合に	は、Teams に。	よるオンライン	ン形式で行う。講
進め方	義形式の授業に	はスライド等にて説明し、	実技は動画や核	莫倣にて説明す	る。	
	授業	計画		授業時間外に	必要な学修	30 分以上
1. スポーツリ	ハビリテーションの	概要	運動	学(力学)を	復習しておく	こと。
2. スポーツ傷	害の評価とリハビリ	テーション (上肢)	授業	美内容を復習し	理解する	
3. スポーツ傷	害の評価とリハビリ	テーション(下肢)	授業	的容を復習し	理解する	
4. スポーツ傷	害の評価とリハビリ	テーション(体幹)	授業	学内容を復習し	理解する	
5. スポーツ動	作の運動学①		授業	的容を復習し	理解する	
6. スポーツ動	作の運動学②		授業	約容を復習し	理解する	
7. スポーツ外	傷に対するテーピン	グ技術①	授業	学内容を復習し	理解する	
8. スポーツ外	傷に対するテーピン	/グ技術②		約容を復習し		
	ケーションスキルの			対容を復習し		
	者スポーツ大会の概	要		対容を復習し		
·	ある人との交流	Con ser		対容を復習し		
	スポーツ推進の取り			対容を復習し		
	のスポーツ指導上の			対容を復習し		
	のスポーツ指導上の		授兼	的容を復習し	理解する	
	(期末レポート) 期試験の講評・解説)				
	項目 ■課題・小テン	1	40%	「小学#	<u></u>	■その他 %
		障がい者スポー			到100次 /0	■ ・Cマグロ 70
成績評価方法	基 課題として実法					
	準 を実施する	どのように考察				
	等	の独自性や完成				
	L					1

	著者		タイトル		出版社		発行年
教科書	教科書 青木 隆明		メディカルスタッフのための障がい者ス ポーツ			メジカルビュー	
参考図書	Donald A Neumann	第3版 「筋骨	骨格系のキネシオロ	ジー」	医歯薬出席	饭	2018
履修要件等							
研究室	1号館5階第3共同研	龙宗	オフィスアワー	久保:	毎週月曜日	12:1	10~13:00
柳九里	1 万路 3 陷 第 3 共四州	九至	X / 1 / 1 / 9	村上:	毎週金曜日	13:0	00~14:30

科目No.		SGR01-3R			授業形	態	講義	開講年次	3年次		
授業科目名	Z I	研究法(P	T)		担当参 E - M a		今岡 真和				
		専 攻		科目区	分		単位	立数	履修期間	J	
基本項目		理学療法学	卒業研究	铊			必修	1 単位	前 期(161	h)	
教員の実務経験	験と	システマティッ	クレビュ	-ー、ランダム化	比較試験	験など大規模データを用いた研究解析を多数実施し					
授業内容の関	連	た経験から、デ	ータの取	攻扱い、解析方法	などを具	体的に教	示できる。				
授業内容の要	更約	を学び、研究の	具体的方	さする様々な方法 法を習得する。 I ・の書き方、プレ	CT を活月	目した情報	设分析、課題				
学修目標		1. 研究データ	分析のた	めの基礎的な統語	十処理等を	理解する)				
到達目標		2. 研究の一連の	の過程・	方法論を理解する	5						
対面授業の 進め方	D	講義および課題 卒業研究に向け		演習とする。 ・歩である。 積極	的な授業	参加を期	待する。				
遠隔授業の 進め方	D	Teams を活用し に実施する。	レ てリア/	レタイム配信とス	トンデマン	/ド配信を	活用して、	学習習熟が	円滑に行える。	よう	
		授業語	十画			:	授業時間外に	必要な学修	30分以上		
1. EBM と I	EBPT	、研究に関する	基礎知識			教科書	P1-10		I		
2. 研究デザ/	インの)紹介				教科書	P13-24、F	P100-151			
3. 論文検索	(図書	館利用方法、倫理	即請、」	リテラシー全般に	ついて)) Call 教室にて文献検索 教科書 P27-69					
4. 研究発表 l 定期テスト	こ必要	でな準備(抄録・	論文・プ	レゼンテーション	/など)、	ど)、 教科書 P154-170					
5. 統計手法(1) ()	パラメトリック・	ノンパラ	メトリック)		教科書 P'100-139					
6. 統計手法(② (差	医の検定、相関の	検定)			教科書	P100-139				
7. 卒業研究》 【指導教員別		尊のもとで計画に	こ沿って研	『究を進める』①)	実験、	調査、文献	検索など。			
8. 卒業研究》						<u> </u>	amilia I setet	.1.4 + 2			
【指導教員別	に指導	尊のもとで計画に	沿って研	F究を進める】②)	実験、記	調査、文献	(検索など。			
	項目	□課題・小テス	١ %	ロレポート	%	■定期記	験 709	% ■ その	他 30%		
成績評価方法	基準等					1~6は、 が評価 [・]	科目担当する。		は、卒業研究。 員が評価する。		
₩₩11 		著者		タイト	ルル			出版社	発行生	Ę.	
教科書	対馬照輝 最新理学療法学講座 理学療法研究法 医歯薬出版株式						寒出版株式会	生 2021 4	年		
参考図書		山田実	PT •	OT のための臨床	研究はじ	めの一歩	ŧ	羊土社	2016	年	
履修要件等 3年次前期までの全ての専門科目・専門基礎科目を履					を履修して	ていること	が望ましい。	•			
研究室		研究科棟4階	室	オフィン	スアワー	毎週水曜	星日 12:00~1	3:00			

科目No.		SBP06	-3R					授	業形態	講義	開講年	三次		3年次
授業科目	名	臨床	運動学	É					当教員 Mail	村西 壽祥		'		
		専	攻		科	目	区	分		単作	立数		,	覆修期間
基本項目		理学療	景法学	基礎理	学療法	学		必 修 1 単位 前 期 (30h)						期(30h)
教員の実務経 授業内容の関		理学療	法士とし	て病院	での臨月	末経縣	食があ	る教員	が講義を	を行う。				
授業内容の	要約	を深めれ	療法士と	しての	素地を作 学修する	乍る利 る。 ま	目で	ぶ ある。	解剖学は	トキュラムポリ および基礎運動 カカ学的知識を	学の知識	を基に	こ,上	上肢の運動機
学修目標 到達目標		2. 正常		運動学・	運動力	学的	な観	察・分	析が理解	なできる 1解できる				
対面授業の	カ	講義は	教科書は	よび板	書を中心	いに進	生める) ₀						
進め方		講義は	解剖学,	基礎運	動学,核	幾能這	動学	<u> </u>	[を理解し	している前提で	進める。			
遠隔授業(進め方	か	Micros	oft office	e365 Ø	teams	を使	用し	、対面	授業内容	デ のオンデマン	ド配信を	行う。		
		ł	受業計画	Î				1		授業時間外に必要	な学修			30分以上
1. 手関節の	構造と	:機能①	骨・関	節の構造	生			復	習:手脚	関節の解剖学的	特徴			
2. 手関節の	構造と	機能②	靱帯の	機能				復	習:手製	関節を構成する	組織の役	割		
3. 手関節の	構造と	機能③	筋機能	と運動的	学			復	習:手脚	関節周囲筋の機	能とバイ	オメ	力二。	ウス
4. 手関節の	構造と	機能④	病態運	動学				復	習:手脚	関節の病態運動	学			
5. 正常歩行	① 基	[本的用詞	吾					復	習:歩行	庁に関する用語	の整理			
6. 正常歩行								復	图:重心	ふ・歩幅・重複	歩・ケイ	デン	ス	
7. 正常歩行								- + -		丁時の各関節運				
8. 正常歩行		行時の領						- + "		庁時の各筋活動		意味		
9. 正常歩行										庁時の床反力の				
10. 正常歩行										テにおける関節		(トの)	意味	
11. 姿勢と重							- \			的な力学の整			-	
12. 姿勢と重								+		やと支持基底面				~ *L== 1.VL
13. 姿勢と重						メン	<u> </u>			による重心位置		モーメ	ント	の確認万法
14. 姿勢と重		観祭・分	'ИТ(4) р	hase ()	分り力			: 侈	.省:pha	ise 毎の分析方	<u> </u>			
定期試験 15. 総括及び		 	<i>万(</i> 学出		全基金亚。 在	4万宝台)		-						
10. 小的口汉(グノイ 項目		・小テス		_			<u>'</u> %	■定期語	式験 70%		ロチ	の他	%
					J	. 1		70			IFIE		· > LE	/0
成績評価方法	基準		授業内て の平均点						-	験のみ(記号)	•			
	等		の平均点点数に加							題は実施しない 明することをヌ				
教科書			著者					タイ	トル		出片	反社		発行年
秋門音		Donald	l A Neur	nan	「筋骨	格系	のキ	ネジオ	ロジー原	原著第3版」	医歯	東出版		2020
参考図書	ŧ	月城慶							歩行分析	·		書院		2005
履修要件	等					I、基	上礎 道	T		動学実習、機能				
研究室		1 号館:	5階第	21 研究	室			オフ	イスアリ	フー 毎週火曜	星日 12:	10~1	3:0	00

科目No.	SBP07-3R		授業形態	演習	開講年次	3年次
授業科目名	臨床運動学	华演習	担当教員 E-Mail	今岡 真和		
	専 攻	科目区	分	単位	立 数	履修期間
基本項目	理学療法学	基礎理学療法学		必修	1 単位	前 期 (30h)
教員の実務経験	さ 病院や介護者	ど人保健施設における様々	な障害像を呈す	する患者や利用	者の動作分析	を 10 年に渡っ
授業内容の関連	て実施してきた	ことから、動作のとらえ	方や動作の成り	0立ちなどにつ	いて要点を解	説出来る。
授業内容の要	約	実習での学習をもとに, i 能力を向上する。	軍動や動作の観	!察・分析を行い	ハ,臨床におり	する諸現象に対す
学修目標	1. 基本的な姿	勢や動作の観察・分析方法	去(記録方法)を	理解し、実践で	できる	
到達目標	2. 姿勢・動作	観察の記録から問題点の想	思起や整理がで	きる		
判连口保	3. 代表的な姿	勢・動作障害における理論	学療法評価が想	起できる		
対面授業の	動作分析の基本	本事項の復習や解説をもと	に、グループに	分かれて基本	動作の分析を	行う。実際にグル
進め方	ープごとの動作	「観察(実技)では講義時間に	内に目的の動作	の分析結果を	完成させる。そ	その後、教員から
	の解説を加える	,) ₀				
遠隔授業の	Teams を活用	してリアルタイム配信とス	トンデマンド配	信を活用して、	学習習熟が	円滑に行えるよう
進め方	に実施する。					1
	授業	計画		授業時間外に	必要な学修	30分以上
1. 動作観察の	記録方法		グバ	レープワークも	しくはteams	3
2. 動作の流れ	を記録する		グバ	レープワークも	しくはteams	3
3. 動作観察の	意味を理解する		グバ	レープワークも	しくはteams	8
4. 動作観察実	践:寝返り(体幹)		グバ	レープワークも	しくはteams	8
5. 動作観察実	践:寝返り(体幹)の焼	解説	グバ	レープワークも	しくはteams	8
6. 動作観察実	践:起き上がり(上肢	技・体幹)	グバ	レープワークも	しくはteams	8
7. 動作観察実	践:起き上がり(上肢	女・体幹) の解説	グバ	レープワークも	しくはteams	3
8. 姿勢観察実	践:座位		グバ	レープワークも	しくはteams	3
9. 姿勢観察実	践:座位の解説		グバ	レープワークも	しくはteams	3
10. 動作観察等	実践:立ち上がり(下	肢・体幹)	グノ	レープワークも	しくはteams	3
11. 動作観察	実践:立ち上がり(下	肢・体幹)の解説	グバ	レープワークも	しくはteams	3
12. 姿勢観察等	実践:立位		グバ	レープワークも	しくはteams	3
13. 姿勢観察等	実践:立位の解説		グバ	レープワークも	しくはteams	3
14. 動作観察	実践:歩行		グバ	レープワークも	しくはteams	5
定期試験	脚末レポート)				
15. 総括及び	フィードバック(定	胡試験の講評・解説)	i !			
1	■課題・小テス	ト 20% ロレポート	% =	定期試験 8	60% ロそ	の他 %
	動作観察・分析	「の課題を	重	がに観察に必要	た基礎	
成績評価方法	- グループにて検 進			職を把握して		
	・ を記録用紙にす 等	ミとめて提		引う		
	出する			· 		
教科書	著者	タイ			出版社	発行年
	藤澤宏幸	「データに基づく	臨床動作分析」		文光堂	2016年
参考図書						
履修要件等		and the second s	,	_		
研究室	研究科棟4階	143 研究室	オフィスアワ	ノー 毎週水曜	星日 12:00~1	3:00

科目No.		SPM01-3R			授業刑	沙態	講義	開詞		3年次		
授業科目	名	理学療法管	学理学	: I	担当 孝 E-M		畑中 良太					
		専 攻		科目区	分		単 位	上 数		履修期間		
基本項目		理学療法学	理学療	寮法管理学			必修	1	単位	後 期 (16h)		
教員の実務経 授業内容の関		病院、職能団体		校の管理経験を持る。	う教員が	、その)経験を生かし	て、理	里学療法	管理についての		
授業内容の	要約	携し、チーム医科目であり、「 がら、関連職種	本学のディプロマ・ポリシーである「豊かなコミュニケーション能力と人間性のもと、関連職種と連 携し、チーム医療を推進することができる人」を達成するための科目である。教育課程における専門 科目であり、「理学療法管理学Ⅱ」につながる科目である。医療の高度化や変化する時代に対応しな がら、関連職種と連携し、チーム医療を推進しなければならない。これまで学習した理学療法につい て、対象者へ提供するための、さまざまなマネジメント(管理)を学ぶ。									
学修目標 到達目標		2. 職業倫理法	理学療法関連法規が説明できる 職業倫理が説明できる									
対面授業の進め方	カ	講義内容の概略	各を講義	し、グループ討議	きを中心に	行う。						
遠隔授業の進め方	カ) teams、form、s 題配信を組み合わ			、双方向通信	の授業	美を行う。)		
		授業				i	時間外に必要な学	修 3	0分以上			
1. 管理学と	:は(数科書 pp14-24)				復習	3 : 管理学の重	要性が	高まる	理由		
		法規(教科書 pp				+	習:理学療法士					
3. 職業倫理	里 (教	科書 pp 36-45)				復習	習:理学療法士	の職業	美倫理ガ	イドライン		
4. リスク管	管理①	(教科書 pp 46-8	85)模排	疑症例検討		課題	題:模擬症例に	おける	5リスクタ	管理		
5. リスク管	管理②	(教科書 pp 46-8	85)模排	疑症例検討		課題	1 : 模擬症例に	おける	5リスクタ	管理		
6. リスク管	管理③	(教科書 pp 46-8	85)模排	疑症例検討		課題	1:模擬症例に	おける	5リスクタ	管理		
7. リスク管	管理 ④	(教科書 pp 46-8	85)模排	疑症例検討		課題	1:模擬症例に	おける	5リスクタ	管理		
定期試験	(期	末レポート)									
8. 総括及び	フィー	-ドバック(定期	試験の	講評・解説)		<u> </u>			T			
	項目	□課題・小テス	スト0%	☑レポート	100%	定	期試験 %	6	ロその	也 %		
成績評価方法	基準等			模擬症例におい ク管理につい トにまとめて打	てレポー							
		著者		1	タイトル			ļ	出版社	発行年		
教科書		齋藤昭彦 他		PT・OT ビジュアルテキスト リハビリテー ション管理学 羊土社 2020								
		植松光俊 監修	*	理	学療法管理	理学		Ī	南江堂	2018		
参考図書				リハビリテーショ 推進のためo				診断	かけ	生 2018		
履修要件等	等											
研究室		研究科核	研究科棟 4 階 142 研究室 オフィスアワー 毎週金曜日 12:00~13:00									

科目No.	SPT10-3R		授業形態	講義	開講年次	3年次
授業科目名	神経系理学	療法学	担当教員 E-Mail	畑中 良太		
	専 攻	科 目 区	分	単位	立 数	履修期間
基本項目	理学療法学	理学療法治療学		必修	2 単位	前 期 (60h)
教員の実務経験と	病院での臨床経	験 のある教員が、その経	験を生かして、	神経系理学療	法の基本的な	知識と手法、神
授業内容の関連	経系理学療法に	こついての考え方について	講義する。			
授業内容の要約	リシーである「 達成するための 合実習II」へ発	マ・ポリシーである「本基礎領域、専門基礎領域、 科目である。当該科目は 経展させる科目である。中 流法の基本的技能を身に	専門領域の科 専門科目であり 枢神経障害に	目において、夏 、「理学療法部 なじた評価や理	基本的学力を身 呼価学 I 」を基	身につけた人」を 一礎とし、「臨床総
学修目標到達目標	2. 脳血管障害	態およびその障害について の評価、理学療法について の評価、理学療法について	基本的な理解		ている	
対面授業の 進め方	概要を講義形式	にて行い、問題演習、実	習を行い、模擬	疑症例について	グループワー	クを行う。
遠隔授業の	Microsoft office	$e365\mathcal{O}\mathrm{teams}$, form, st	ream を使用し	.、双方向通信	の授業を行う	0
進め方	オンデマンド配	信、課題配信を組み合わ	せて行う。			
	授業	計画		授業時間外に	必要な学修	30分以上
1. 脳・神経の解音	川生理(教科書 pp	04-15)	復習	習:脳葉、脳回	について	
2. 脳の血管 54			復習	習:血管の支配	領域について	
3. 脳血管障害 30-	35		復習	3:脳梗塞、脳	出血について	
4. 脳画像 46-64			復習	∃: CT、MRI	の見方	
5. 脳の可塑性とり		ン 67-73	復習	習:ペナンブラ	について	
6. 意識障害とリス				習:急性期リス		7
7. 運動障害 102-1				習 : CI 療法につ		
8. 筋緊張異常・反				3:筋緊張と反		
9. 感覚障害 118-1			1	3:感覚検査の		
10. 注意・遂行機				3:転倒との関		
11. 失認症 154-16			i	3:半側身体失		
12. 半側空間無視				3:プリズム眼		
13. 失行症 173-18			+	習:言語との関		
14. 精神知能障害			1	習:うつ、アパ		
15. 姿勢定位障害 16. 姿勢バランス		040		習:pusher 症値 習:FBS の手順		
17. 姿勢バランス				3 : 課題特異的		
18. 運動失調の評		249 202	+	3 : SARA の手		
19. 運動失調の理			+	音: SARA の子 3 :フィードバ		活
20. 脳血管障害の				ョ・フィー 1/2、 冒:肩手症候群		1111
21. 二次的機能障			-	3:廃用症候群 3:廃用症候群		
22. 起居動作障害				3 : 起き上がり		 の誘導
23. 片麻痺の歩行			-	3 : /= C = // / 3 : 片麻痺歩行		12.4.14
24. 片麻痺歩行の		3		3:下肢装具と		
, 1,11,7 E2 14 .5.						

25. ブルンストロームステージと上田式 12 段階					復習:BRST の練習				
26. SIAS107					復習 : SIAS の練習				
27. 模擬症例検討(グループワーク)					課題:7	糞擬症例について	てまとめる		
28. 喀痰吸引	別の理	論と実施方法(総論)				復習:「	客痰吸引の理解		
29. 喀痰吸引	別の実	施方法(実習)				復習:「	客痰吸引の方法		
定期試験	期	末レポート)							
30. 総括及で	ブフィ	ードバック(定期試験	の請	靖 評•解説)		:			
	項目	□課題・小テスト %	6	ロレポート	%	■定期記	験 100%	□その他	%
成績評価方法	基準等						内容全般につい 解度を評価する		
		著者		タイ	トル		出版社	Ė	発行年
教科書		酒向正春ほか	Ī	改定第2版リハル	こ役立つ胴	図画像 メジカルビュー			2020
		吉尾雅春 ほか		「神経理学療法	学 第2	版」	医学書	院	2018
<u>≯</u> ≯⊠‡	}-	阿部浩明ほか	「脳卒中片麻痺者に対す 歩行リハビリテーション				メジカルヒ		2016
参考図書	î	石合純夫	高次脳機能障害学第3			版	医歯薬出版核	試会社	2022
	千野直一 ほか 脳卒中の機能評価 SIAS と			FIM	金原出版株	式会社	2012		
履修要件等 特になし									
研究室		研究科棟 4 階 142	研究	室	オフィン	スアワー	毎週金曜日 1	12:00~13:0	0

科目No.	SPT11-3R		授業形態	実習	開講年次	3年次		
授業科目名	神経系理学	垮療法学実習	担当教員 E-Mail	畑中良太・朋	 田光正・今井	‡亮太・今岡真和		
	専 攻	科目区	分	単位	立 数	履修期間		
基本項目	理学療法学	理学療法治療学		必修	2 単位	前 期 (60h)		
教員の実務経験と 授業内容の関連		経験のある教員が、その経 基本的な理学療法に関する				よび脳性麻痺な		
授業内容の要約	リシーである 達成するための 合実習II」へ発	マ・ポリシーである「本基礎領域、専門基礎領域、)科目である。当該科目は 法とせる科目である。脊 でついての基本的学力お	専門領域の科 専門科目であり 随損傷、神経筋	目において、 。 「理学療法部 疾患、小児疾	基本的学力を。 呼価学 I 」を基 患の障害に応し	身につけた人」を 歴とし、「臨床総		
学修目標 到達目標	2. 神経筋疾患	特性の捉え方、基本的な理の障害の捉え方、基本的な の障害の捉え方、基本的な 疾患や障害について理解で	は理学療法が理	解できる	施できる			
対面授業の 進め方		ープ討論,プレゼンテーシ を法に必要な基本概念をし	_ , ,)			
遠隔授業の進め方	合には学生自身 導を行う。出席	場合は、office365 teams yの学修が重要であるため 所は、講義時間中に取り組 ィ、電話などで対応する。	,学生にも練習	風景を動画で	撮影してもら	い、適宜教員が指		
	授業語	恒		授業時間外に必	必要な学修	30 分以上		
 2. 脊髄障害の評価 3. 脊髄障害の評価 4. 脊髄障害の評価 	要と病態について 亜① 急性期の評 亜② 機能障害の 亜③ 活動,参加 并症およびリスク	価 評価 レベルについての評価	講義6	の復習をしてお	おくこと			
6. 脊髄障害の理学7. 脊髄障害の理学		~生活期,スポーツへの	参加 講義の	の復習及び,携	是示された課題	動に取り組むこと		
8. パーキンソンタ 9. パーキンソンタ 10. パーキンソン	あの評価			: パーキンソン	/病について			
11. 脊髓小脳変性 12. 脊髄小脳変性			復習	: 脊髄小脳変性	注症について			
13. 筋委縮性側索	硬化症の理学療法	 去	復習	: 筋委縮性側索	極化症につい	て		
14. 多発性硬化症		定候群の理学療法				一症候群について		
15. 正常な粗大運				: 歩行までの発				
16. 脳性麻痺の定				: 日本と世界の				
17. 脳性麻痺の分				復習: 痙直型、アテトーゼ型について				
18. 脳性麻痺の原				: 早産、低出生		17		
19. 脳性麻痺の評	1曲		復省	: 各種評価につ)/ \ ⁻ (

20. 脳性麻痺	車の二	次障害				復習:股	関節脱	日、側彎症につ	ついて			
21. 脳性麻痺	草の医	学的治療	復習:外和	1的手	術について							
22. 脳性麻痺	草児の	理学療法	学療法					復習:ストレッチについて				
23. 筋ジス	トロフ	イ一総論		復習 : デュ	ュシェ	ンヌ型の症状に	こつい	て				
24. 筋ジス	トロフ	ィーの理学療法				復習:重殖	主度分	類について				
25. 二分脊柱	能の理	学療法				復習:Sha	arrarc	1の分類につい	て			
26. ダウン症	定候群	の理学療法				復習:低緊	紧張、	合併症について				
27. 神経発達	全定群	の理学療法				復習 : DC	D に~	ついて				
28. 模擬症例	列検討	(グループ討論)				課題:模排	疑症例	の検討				
定期試験	(期	末レポート)										
29. 成人領域	或総括	及びフィードバック	定期試験の)講評・解	穏)							
30. 小児領域	或総括	及びフィードバック	定期試験の)講評・解	穏)							
	項目	■課題・小テスト 10 % □レポート %				■定期試	験	90 %		口その他	%	
成績評価方法	基 準 等	者の動作を模倣し、	成人領域では、疾患を有する 者の動作を模倣し、健常者と の違いを考察するための課題				に区グ では、 の理解	験は、成人領域 分し実施. 授業の内容全 解度を評価. 域を合算し評価	般			
		著者		タ	イトル	が利用して	ICH PAC	出版社		発行	E	
教科書		細田多穂				テキスト」		南江堂		2018		
***************************************		平賀篤ほか	117		理学療法			羊土社		2023		
		藪中 ほか			理学療法			メジカルビュ	<u></u>	2020)	
参考図書	i i	楠本泰士ほか「小児リハ評価								9		
履修要件	等	特になし				<u> </u>						
研究室		畑中:研究科棟4階 第142研究室 肥田:研究科棟4階 第141研究室 今井:研究科棟4階 第145研究室				スアワー	肥田	: 毎週金曜日 : 毎週月曜日 : 毎週月曜日	13:	00~14:	30	
		今岡:研究科棟4階	第 143 码	F 究室			今岡	: 毎週水曜日	12:	00~13:	00	

科目No.	SPT13-3R		授業形態	実習	開講年次	3年次
授業科目名	運動器系理	世学療法学実習	担当教員 E-Mail	峰久 京子	• 久保 峰鳴	
	専 攻	科 目 区	分	単位	立 数	履修期間
基本項目	理学療法学	理学療法治療学		必修	2 単位	前 期 (60h)
教員の実務経験と 授業内容の関連	床経験を有する	性期、回復期、維持期の 教員にて講義、実技を行 ントを説明する。				
授業内容の要約	· ·	障害の病態について解剖 の疾患・障害の病態に基			-	する。
学修目標 到達目標	2.運動器の疾患	に運動器疾患の病態につい ・障害について理学療法 ・障害について理学療法	平価の実技が	できる		
対面授業の進め方	可能な服装・整 教科書以外に必 がらきちんと体		する。実技練習	望は時間が限ら;		
遠隔授業の 進め方	遠隔授業時の出	365 の teams を使用し、 は は は は は は は は は は は は い で が り で う で う し っ て 行 う 。 の た り る り る り る り る り る り る り る り る り る り			こ授業のまとめ	かを作成すること
	授業	計画		授業時間外に	必要な学修	60 分以上
1. オリエンテー	ション・総論. 道	重動器傷害の評価と治療	基	本的な運動器の	構造を教科書	にて理解する
2. 股関節の運動器	器傷害の特徴		教	科書を読み予習	する. 授業内	容を復習する
3. 股関節の mob	ility:評価と治療	その概要(教科書 p 86~10	01) 教	科書を読み予習	する. 授業内	容を復習する
4. 股関節の mob				業で行った実技		
		その概要(教科書 p 102~10		科書を読み予習		
6. 股関節の stabi				業で行った実技		
		治療の概要(教科書 p 110~		科書を読み予習		
		教科書 p 110~121)		業で行った実技		
9. 膝関節の mobine 10. 膝関節の mobi		療の概要(教科書 p 124~1		科書を読み予習		
		学ででである。 第の概要(教科書 p 136~14		業で行った実技 科書を読み予習		
11. 旅関節の stal				業で行った実技		
		<u>- ドロア 100 111)</u> と治療の概要(教科書 p 142		科書を読み予習		
		(教科書 p 142~153)		業で行った実技		
15. 足部・足関節	の運動器傷害の構	既要(教科書 p 156~169)	教	科書を読み予習	する. 授業内	容を復習する
16. 足部・足関節 169)	の運動器傷害の	評価と治療:実技(教科書	p 156~ 授	業で行った実技	について練習	する
17. 肩関節・肩甲・ 32~46)	骨周囲の mobili	ty :評価と治療の概要 (教科書 p 数	科書を読み予習	する. 授業内	容を復習する
18. 肩関節・肩甲	骨周囲の mobili	ty: 実技 (教科書 p 32~4	6) 授	業で行った実技	について練習	する
19. 肩関節・肩甲帽 ~54)	計周囲の stability	y:評価と治療の概要 (教和	津p47 教	科書を読み予習	する. 授業内	容を復習する
20. 肩関節・肩甲	骨周囲の stabili	ty: 実技 (教科書 p 47~5	4) 授	業で行った実技	について練習	する

	肩甲帽	骨周囲の coordination	:評	価と治療の概要	(教科書	教科書を	読み	メ予習する. 授	業内容を	後習する
p 55~58) 22. 肩関節・肩甲骨周囲の coordination: 実技 (教科書 p 55~58)					極業不須	: - t	- 字せについて	-/s由习习}- 7	•	
	23. 肘関節の運動器傷害の概要 (教科書 p 60~74)				o~98)	授業で行った実技について練習する 教科書を読み予習する. 授業内容を復習する				
	23. 所関節の運動器傷害の評価と治療: 実技 (教科書 p 60~74)					-	上実技について			
		近島日・グロ			14)			メ予習する. 授		
		運動器傷害の評価と治			76~84)		-	実技について		
-		傷害の概要 (教科書 p			10 01)			*予習する. 授		
		傷害の評価と治療:実			191)			実技について		
		患の運動療法プログラ		(*************************************				メ予習する. 授		
		末レポート)				1 ~		10/20		,,,,,
30. 総括及び	バフィ	ードバック(定期試験	・ドバック(定期試験の講評・解説)							
	項目	□課題・小テスト	%	ロレポート	%	■定期試	験	100%	口その他	<u>h</u> %
成績評価方法	報 嶄 辩					講義内容	の理	1解度を問う		
		著者		ター	イトル			出版社	Ŀ	発行年
教科書		小柳磨毅 編	Γ	実践PTノート 法(第	運動器(52版)」	傷害の理学	療	三輪書	店	2015
		加藤浩編集		Crosslink 理算				メジカルビ	ュー社	2020
参考図書	÷	細田 多穂 監修		ンプル理学療法学	•			南江堂	Ĺ	2021
参与凶音	Î	島田洋一、高橋仁美 「整形外科 術後理学療編 第3版				メジカルビュー社 2020				2020
履修要件等 「運動器系理学療法学」「運動療法学実習」「機能 実技を行うため、適切な身だしなみ(服装、頭									い。	
研究室		峰久:1号館5階 久保:1号館5階			オフィス	イスアワー 峰久:毎週木曜日 12:10~12:50 久保:毎週月曜日 12:10~13:00				

科目No.		SPT14-3R			授業形態	a 講	義	開講年	三次	3年次	
授業科目名		内部障害理	里学療法	学	担当教員 E-Mail		達典		ļ		
		専 攻		科目区	分		単位	立数		履修期間	
基本項目		理学療法学	理学療法	治療学		必	修	1 単	i位	前 期 (30h)	
教員の実務経験 授業内容の関連		理学療法士と	て内部障	害理学療法の臨	床実務経験の	験のある教員が指導にあたる。					
授業内容の要	熱	び糖尿病である。	る。また疾息	息を問わず、高齢	急患者のリハ	する。主な疾患は慢性閉塞性肺疾患、心筋梗塞およ ハビリテーションでリスク管理を行う上で必要な					
学修目標 到達目標		2. 虚血性心疾	患に対する	「る理学療法につい う理学療法について 関学療法について	って理解する						
対面授業の)	講義を中心に行	テう。慢性!	閉塞性肺疾患、心	ン筋梗塞お J	じ糖尿病	に関し	て、内科	学で学	どんだ内容や関	
進め方		する臓器の解説	到生理学的?	知識を復習して	から授業に	臨んでいた	だきた	lV %			
遠隔授業の)	遠隔授業は対応	面授業同様の	にパワーポイン	トにて、教科	斗書に沿っ	た解説	を行い、	パワー	ポイントの配	
進め方		物の空欄部分に	こ重要な事	項を記載する。							
	_	授美	計画			授美	美時間外 (こ必要な学	修	30分以上	
1. 包括的呼吸	及リハ	ビリテーション	(①pp204	4-212)		包括的呼	吸リハ	の内容を	復習っ	 する	
2. 閉塞性肺疾	患と	拘束性肺疾患の	病態理解と	: 画像評価 (①pr	0114-128)	病態の違	いによ	る PT 内	容の村	遺を復習する	
3. 呼吸理学療	[法]	(1)pp 164-1	173)			呼吸理学	療法の	手技をま	とめる	5	
4. 呼吸理学療	禁法2	(①pp 173-1	188)			呼吸理学	療法の	手技をま	とめる	5	
5. 手術前術後	後のア	プローチ(配布	資料)			周術期リ	ハの内	容をまと	める		
6. 包括的心臟	蓺リハ	ビリテーション	(配布賞	資料)		包括的心臓リハの内容を復習する					
7. 虚血性心疼	た 患の	病態の理解の	病態評価①	(①pp 9-23)		心不全の病態と分類について復習する					
8. 虚血性心疾	患の	病態の理解 画	像を含む病	態評価② (①	pp 24-65)						
9. 心筋梗塞の	つアブ	°ローチ① (①	pp 66-99)			心筋梗塞	の理学	療法につ	いてき	まとめる	
10. 正常心電	図	(2)pp 104-110)			正常心電図について復習する					
11. 運動負荷	テス	├ (①pp 213	-235)			運動負荷	テスト	の種類に	.つい	 て復習する	
12. 糖尿病の	病態	理解(①pp 238	-244)			糖尿病の	診断基	準につい	て復習	引する	
13. 糖尿病の	運動	療法 (①pp 2	45-247)			糖尿病の	運動療	法の適応	と禁忌	忌をまとめる	
14. 運動プロ	グラ・	ムの作成				運動生理	につい	て復習す	る		
定期試験	(期	末レポート	·)		·						
15. 総括及び	フィ	ードバック(定	期試験の講	評・解説)							
	項目	□課題・小テス	·	☑レポート	20%	☑定期試	験 8	0%	ロそ	の他 %	
成績評価方法	基準等			授業のまとめ期末に提出す		授業の内ての理解					
				タイ	`トル					発行年	
101 A1 T	ţ	①柳澤 健		「内部障害系							
教科書		②丸岡 弘	Γ	であのパッと]」 中山書店 2009							
参考図書		細田多穂他	みてわかる心電図」 「理学療法ハンドブック 第 1・3 巻」 協同医書 20								

履修要件等	2年後期までの解剖学・生理学・内科学	が履修済みであるこ	<u>'</u> と	
研究室	1号館5階 第3共同研究室	オフィスアワー	毎週金曜日	13:00~14:30

科目No.		SPT15-3R			授業形態	美	習	開講年	三次	3年次	
授業科目名		内部障害理	学療活	去学実習	担当教員 E-Mail		達典		I		
		専 攻		科目区	分		単位	立数		履修期間	
基本項目		理学療法学	理学療法	生治療学		必	修	1 単	i位	前 期 (30h)	
教員の実務経験 授業内容の関連		理学療法士とし	て内部障	管害理学療法の臨	床実務経験の	験のある教員が指導にあたる。					
授業内容の要	納	評価方法につい セスメントに関	ての実習	習を行う。 さらに、 技を行う。	臨床実習で	るための技術の実習を行う。また、内部障害関連の では疾患を問わず必要となる患者のフィジカルア					
学修目標 到達目標		2. 呼吸理学療	. 内部障害に関連する評価方法について理解し、実践できる. 呼吸理学療法の技術を実施できる. 運動負荷テストに関して理解し、運動処方ができる								
対面授業の)	オリエンテーシ	ョンを行い	ハ、デモンストレ	ーションおよ	び実技の	実習を行	すう。 呼吸	と器の記	評価をはじめとし	
進め方		て、学生同士で	互いに体に	に触れあう実習と	なる。お互い	に学ぶ姿	勢で真摯	とな態度で	実習	をすること。	
遠隔授業の)	遠隔授業は対面	·授業同様	集に Teams を活月	月して、実技	は動画や	実演に	て学習す	る。道	動処方等の演習	
進め方		はパワーポイン	ノトにて訪	説明し、各自演習 [・]	する。演習約	吉果を forr	ns に入	力して、	学習	伏況を確認する 。	
	•	授業	計画			授美	と	こ必要な学	修	30分以上	
1. 呼吸器の評	平価①)呼吸不全の定	義・問診	(①pp127、1	44)	呼吸不全	の定義	を復習す	る	L	
2. 呼吸器の評	平価②) 胸部の解剖学	的理解·	触診 (①pp14	5-150)	体表解剖	を復習	する			
3. 呼吸器の評	平価3)打診・聴診	(①pp18	50-154)		打診・聴	診の練	習をする	1		
4. 呼吸器の評	平価④)呼吸器の検査	• 測定	(①pp155-156)		呼吸機能	検査に	ついて復	習する	5	
5. 呼吸理学療	療法の	徒手的テクニッ	ク① (①	pp167-169, pp1	70-173)	徒手的テ	クニッ	クを練習	する		
6. 呼吸理学療	を 法の	徒手的テクニッ	ク② (I	pp175-176, pp1	78-181)	徒手的テクニックを練習する					
7. 虚血性心痨	を 患の	理学療法 異常	心電図判	別①		心筋梗塞の心電図を復習する					
8. 虚血性心痨	を患の)理学療法 異常	心電図判	別2		不整脈の復習をする					
9. 運動負荷ラ	テスト	・① 運動負荷テ	ストの実	際①		計算問題	の復習	をする			
10. 運動負荷	テス	ト② 運動負荷	テストの	実際②		計算問題の復習をする					
11. 運動指導	(1) j	運動指導の実際				運動負荷テストの結果をまとめる					
12. 運動指導	(2) i	運動指導の実際				運動負荷	テスト	の結果を	考察	上る	
13. 糖尿病の	運動	処方演習①				運動療法	の測定	結果をま	とめる	5	
14. 糖尿病の	運動	処方演習②				運動療法	の測定	結果を考	察する	5	
		末レポート			·						
15. 総括及び	フィ	ードバック(定	期試験の記	講評・解説)					I		
	項目	☑課題・小テス	ペト 40%	ロレポート	%	☑定期試	験	60%	ロそ	の他 %	
成績評価方法	基準等	講義毎に出されを提出すること				授業の内ての理解					
		著者		タイ	'トル			出版社		発行年	
**************************************	Ţ	①柳澤 健		「内部障害系	· 理学療法学					2010	
教科書	-	②丸岡 弘		「リハビリテーシ みてわか		中山書店 2009					
参考図書		細田多穂他	1	「理学療法ハンド」 改訂	ブック 第1 第4版	・3巻」		協同医書	<u></u>	2010	

履修要件	等	2年後期までの解剖学・生理学・内科学	が履修済みであるこ	<u>ک</u>	
研究室	Ē	1号館5階第3共同研究室	オフィスアワー	毎週金曜日	13:00~14:30

科目No.	SRP02-3R		授業形態	講義	開講年次	3年次				
授業科目名	地域理学療	法学	担当教員 E-Mail	今岡 真和						
	専 攻	科 目 区	分	単	位数	履修期間				
基本項目	理学療法学	地域・予防医学的リハビ	`リテーション	必修	1 単位	前 期 (30h)				
教員の実務経験と	介護保険下で理	学療法士としての実務経	験を重ね、要の	で護・要支援・	要援護者と直	接関与してきた				
授業内容の関連	経験から、介護	保険領域、地域支援事業	領域における頻	ける療法士の職域を説明できる。						
授業内容の要約	にいきいきとし る	や高齢者およびその家族 た生活がおくれるよう、[医療や保健・福	祉および生活						
学修目標 到達目標	2. 地域理学療法	生の理念、概要、療法士の 生の背景と展望についての こ関わらず住み慣れた地域	り見識を深め、	それを表出で		3.				
対面授業の		科書を中心に、座学とグループワークを行う。前の週に講義で取り組んだ内容の振り返りやレオ								
進め方		果題を課す場合もある。								
遠隔授業の		た双方向の授業を行う。	またオフィス	365 のフォー	 ムスを活用した	で習熟度を判定す				
進め方		い、講義の理解度を確認		.,						
	授業計			授業時間外に	必要な学修	30分以上				
1. 地域リハビリテ	ーションの考え		P1-15	2 理念・概要	要をまとめる					
2. 制度の変遷	3,72	~~	P13-5		の目的や意図を	トまとめる 				
3. 介護保険サービ	 ス概論			P25-30 サービスの種類をまとめる						
			P35-4	P35-49 職種ごとの差異を理解する						
5. 地域支援事業の			P51-0	P51-64 理学療法士の特徴を理解する						
6. 事業企画に携わ			P65-'		イクルや事業					
7. 介護保険サービ	ス下の理学療法	±	P79-		 食下のサービス	内容をまとめる				
8. 介護予防と健康	増進①		P125	-139 1次予	 防・2 次予防を	まとめる				
9. 介護予防と健康	増進②		P141	-161 予防戦	略の種類をまる	とめる				
10.住環境整備(住	宅改修・福祉用	具)	P179	-198 チェッ	ク箇所や視点を	をまとめる				
11. 障がい者スポー	ーツ		P203	-214 種類や	対象となる人	を理解する				
12. 認知症 MCI	フレイル		P233	-255 認知症	の背景基盤を理	理解する				
13. ターミナルケブ	7		P301	-304 死につ	いてまとめる					
14.1~13 各授業	の要点整理と振	り返り	P1-30	04 全体の振	り返りを教科書	書で行う				
定期試験(期 末)									
15 . 総括及びフィ	ードバック(定期	非試験の講評・解説)								
項目	■課題・小テス	ト 20% ロレポート %	6 ■定期	計談 80	% uそのft	也 %				
成績評価方法 基準等	レポート20%		全で	寺ち込み不可		地域活動への参加 扱いとする				
******	著者	Э.	イトル		出版社	発行年				
教科書	細田多穂	地域リハビリテーショ	ン学テキスト	改訂3版	南江堂	2018年				
参考図書										
履修要件等	生活環境学を履	修済みのこと								
研究室	研究科棟 4 階 143 研究室 オフィスアワー 毎週水曜日 12:00~13:00									

科目No.	SCP05-3R		授業形態	演習	開講年次	3年次				
授業科目名	臨床実習指	諍Ⅲ(PT)	担当教員 E-Mail	峰久京子・ ²	- 	保峰鳴・村上達典				
	専 攻	科目区	分	単位	立 数	履修期間				
基本項目	理学療法学	臨床実習		必修 1 単位 前期(
教員の実務経験と 授業内容の関連	経験を生かして	て臨床現場における実務 て、理学療法評価の基本的 がやまとめ方について指導	な知識と手法、							
授業内容の要約	測定実習での自	期開講の臨床総合実習に向けて、学内科目の知識の整理や再確認を行う。また、2年次の臨床検定実習での自己課題を振り返り、体験した内容を他の学生と共有し学ぶ。3年次の臨床実習で中なる評価技術にとどまらず、4年生での臨床実習を見据えた治療学も念頭に置いた演習を行う。2、臨床実習前には事務手続きを含めた実習準備も行う。								
学修目標 到達目標	2. 代表的な疾 きる	2. 代表的な疾患の検査測定を行い、得られた結果を考察し、問題点の抽出やプログラムの立案が								
対面授業の進め方	確認を並行して	る内容を順次講義形式に 行う。常に、自己評価に 換を行うようにグループ	とどまらず、	他者評価の立場						
遠隔授業の 進め方	Microsoft office	e365 の teams を使用し、	双方向通信の	授業を行う。						
	授業	計画		授業時間外に	必要な学修	30分以上				
		実習について・実習手引き 己課題の振り返りと確認	の確認。	習の手引き・2	年次実習で得	た課題を確認				
2. 実技:バイタバ	レサイン					いて、教科書(評習をして下さい。				
3. 実技:関節可動	加域測定			技準備・ROM 》 CE)を読み予		教科書 (評価学・ て下さい。				
4. スポーツ活動	(体育祭) を通じ	た学生間連携・チームワー	ーク 当日	日は体調管理に	努める					
5. 実技: MMT				支準備・MMT CE)を読み予		数科書(評価学・ て下さい。				
6. 実技: 形態測定	È			支準備・形態測 CE)を読み予		教科書(評価学・ て下さい。				
7. 実技: 感覚・5	反射・SIAS①		科書			AS について、教 予習・復習をして				
8. 実技: 感覚・5	反射・SIAS②		科書			AS について、教 予習・復習をして				
9. 実技:失調症・	・バランス検査		書	実技準備・失調症・バランス検査について、教科書(評価学・OSCE)を読み予習・復習をして下さい。						

10. 実技 : 基	10. 実技: 基本動作の介入(運動器疾患)								作について、教科 ・復習をして下さ	
11. 実技:基本動作の介入(中枢性疾患)				実技準備・中枢性疾患の基本動作について、教科書(ADL・OSCE)を読み予習・復習をして下さい。						
	12. 演習:骨関節系疾患の症例レポート・レジュメの作成について① (模擬症例;グループワーク)						作成したレ その準備をし		の確認。グループ	
13. 演習: 骨関節系疾患の症例レポート・レジュメの作成について② (模擬症例; グループワーク)				2 年次実	習で		ジュメ	の確認。グループ		
14. 演習 : 神 擬症例 ; グル		疾患の症例レポート・1 ワーク)	レジュメの作成につ	いて(模			作成したレ その準備をし		の確認。グループ ごさい。	
定期試験	(OS	SCE・CBT を含む)								
15. 総括及で	バフィ	ードバック(定期試験	の講評・解説)							
	項目	☑課題・小テスト 2	0% □レポート	%	□定期詞	験	%	夕 その	の他 80%	
成績評価方法	報 葉 鞋		筆記試験(PT臨床実 習前後問題CBTを用い る)				実習に必要な実技の登 熟度と、講義内容の理 解度を問う			
		著者	タ-	イトル	出版社 発行年				発行年	
		才藤 栄一 (監修)	PT・OT のための ミュニケーション 第2版補訂版	⁄と介助・	検査測定		金原	出版	2020年	
教科書		相澤純也、美崎定也、石黒幸治	PT 症例レポ ビフォー	ート 赤 -&アフタ			羊_	上社	2016年	
			「臨床実習の手員 2023	川き 理学 年度版」	療法学専巧	攵				
「臨床実習の手引き					95版」					
参考図書										
履修要件等 実習ができる服装,適切な身だしなみ(頭髪・)				頭髪・爪)にて参加	口して	てください。		l	
解介: 1号館 5階 第 7 研究室今岡: 研究科棟 4階 第 143 研究室久保: 1号館 5階 第 3 共同研究室村上: 1号館 5階 第 3 共同研究室			オフィン	スアワー	今日久日	入:毎週木町 岡:毎週水町 呆:毎週月町 上:毎週金町	T 程日 1 程日 1	$12:10\sim12:50$ $12:00\sim13:00$ $12:10\sim13:00$ $13:00\sim14:30$		

科目No.		SCP08-3R			授業形態	集		開	講年次	3年次
授業科目名	名	臨床総合実	₹習Ⅰ(〕	РТ)	担当教員 E-Mai		京子・ <i>²</i>	冷岡真	和・久保峰	鳴・村上達典
		専 攻		科目区	分 分		単位	立数	Ţ	履修期間
基本項目		理学療法学	发療法学 臨床実習 臨床実習					8	単位	後 期 (360h) 8週間
教員の実務経 授業内容の関		臨床実習指導者 として実務経験						習会	を修了した	,理学療法士
授業内容の引	要約	臨床実習施設に 理学療法までの 臨床総合実習 I 計画の立案まて し、その検証を	実際を診療 は、主に情 の初期評価	参加型臨床実 報収集、観察 を中心に学び	習として行、検査・測定に 、	う。 定、統合・	解釈、	問題点	京の抽出、目	標設定、治療
学修目標到達目標		 理学療法評 問題点を抽 	理学療法のプロセスを理解することができる 理学療法評価・理学療法の実際を学ぶ 問題点を抽出し、臨床的推論を行うことができる 指導の下で、基本的な理学療法が実施できる							
対面授業の進め方	か	実地体験学習。 んでいただきた 積極的にディス	い。なお、	実習後セミナ	ーである各					
遠隔授業の進め方	か	学内代替実習に 題の提出と添削 う。								
		授業	計画			授	業時間外に	こ必要な	は学修	30分程度
以上は通 関する見 ・ 実習後に ・ 実習前語	動所リ 上学実 こセミ 平価と	病院などで臨床 ハビリテーション 習を行う ナーにて症例発表 して臨床実習指導 を評価する。実習	/または訪問 そ会を行う 尊 Ⅲ で明らか	別リハビリテー いとなった自己	ションに	スノ • 実習	ートに 報告会。 な。 症	まと& 用のし	かる。 ンジメを A3	ノートやケー 用紙1枚にま 識を自己学習
	項目	☑課題・小テス	ふト 30%	ロレポート	%	□定期試	 験 %	6	☑その他	70%
成績評価方法	基準等	実習前評価(筆 と実習後CBT	実習目標達成状況 (実習前評価 (筆記試験) 実習成果記録・実習 と実習後CBT セミナー、提出物等 総合して判定する。							記録・実習報告 提出物等)を
		著者		タイ	イトル			出忧	反社	発行年
教科書										
/ .				床実習の手引 2023 ⁴	き 理学療 	法学専攻				
参考図書	Î	特に指定しない	こ指定しない							

履修要件等	実習要件3)を満たしていること			
	峰久:1号館5階 第7研究室		峰久:毎週木曜日	12:10~12:50
加尔宁	今岡:研究科棟4階 第143研究室	ナファフマロ	今岡:毎週水曜日	12:00~13:00
研究室	久保:1号館5階 第3共同研究室	オフィスアワー	久保:毎週月曜日	12:10~13:00
	村上:1号館5階 第3共同研究室		村上:毎週金曜日	13:00~14:30

科目No.	SGR01-3R		授業形態	講義	開講年次	3年次		
授業科目名	研究法(C	T)	担当教員 E-Mail	上島健(代表)、作業療	孫法学専攻教員		
	専 攻	科目区	分	単位	立 数	履修期間		
基本項目	作業療法学	卒業研究		必修	1 単位	前 期(16h)		
教員の実務経験と 授業内容の関連								
臨床で働く作業療法士が、対象者の治療等を通して得られた疑問を検証していくことが重要である。本講義では、卒業研究の進め方、研究に関する流れ(目的、対象、分析、結果の解釈や統計的処理方法、考察)について Active Learning にて理解を深め、学修成果として卒業研究に着手する。なお、研究においては、ICT を活用した情報分析を行い、情報モラルに関する教育、課題解決のために必要な情報を探索するもの(図書館利用法・文献検索・データーベース活用法等)、情報を分析評価し整理するもの(情報処理、情報整理法等)、情報のアウトプットに関するもの(レポートや論文の読み方、論文の書き方、プレゼンテーション技法等)を学修する。 卒業研究指導教員の指導のもと、研究テーマに沿って、実験計画、実験あるいは調査、文献検索などについて学修する。本講義を履修することにより、3年次後期から4年次にかけての卒業研究、卒業論文に必要な研究の方法を学修することができるとともに、障がいに応じた治療計画の立案や結果が報告された論文の妥当性を検討することができることを学修する。								
学修目標到達目標	2. 研究を行う	ての理解を深め、プロセス ための必要な基礎知識(基 に沿った文献検索と収集、	本的な統計処理	里を理解するこ				
対面授業の 進め方	2. 講義欠席時	は講義形式で実施し、後半 所は、講義日より1週間以 証するルール(出欠・成績	内に講義資料	を担当教員の研	完室へ取りに	来ること。		
遠隔授業の進め方		蔓延時で対面授業が困難だ (Microsoft office365 の う)。						
	授業	計画		授業時間外に	必要な学修	30分以上		
	情報分析を行い、 情報を探索する力	(教科書 p8~42) 情報モラルに関する教育 方法(図書館利用法・文献	指定	定教科書の該当	ページを確認	する		
2~3. 研究企画期 情報を分析評価し		書 p43~78) 青報処理、情報整理法等)	指統	定教科書の該当	ページを確認	する		
4~5. 研究実施・ 情報のアウトプッ ンテーション技法	トに関する方法	(教科書 p79~119) (レポートや論文の書き方、	、プレゼー指定	定教科書の該当	ページを確認	する		
	上島】総括及びフ 120~151)	ィードバック (定期試験の	の解答・指揮	定教科書の該当	ページを確認	する		
7~8. 卒業研究演ら研究計画に沿って		密に連絡・相談・指導を受	į.	査教員に次回指 成する。	導日時を確認	思し、研究計画を		
定期試験								

	項目	□課題・小テスト	%	ロレポート	%	■定期試験	亥 75 %	%	■その他	25%
成績評価方法	基準等					講義1~6 当教員が記			の主査指	3は、卒業研究 導教員が取り を評価する。
教科書		著者	著者タイトル				ĺ	出版社	発行年	
教件音		山田 実 編集	ſΕ	T・OT のための)臨床研究	はじめの一	歩」	:	羊土社	2016年
参考図書	Ŀ	2021 年度 作業療	法学	専攻卒業研究発表	表会 要旨					
参与区 管	î	主査教員が随時指定	定する) _o						
履修要件	}	3年次前期までの全	年次前期までの全ての専門科目・専門基礎科目の履修が望ましい。							
/ 俊修安什	守	4年生の卒業研究系	卷表会	を視聴・聴講し	ておくこと	こが望ましい	/ \ ₀			
研究室		1号館5階第14個	开究宝	医 (上島)	オフィス	スアワー	毎週木	曜日	14:40-16:10	(上島)

科目No.	SOM01-3R			授業形態	次次	講義	開講	年次	,	3年次
授業科目名	作業療法管	理学	I	担当教員 E-Mai	` '	谷口 英治				
	専 攻		科目区	分		単位	立数		履	愛修期間
基本項目	作業療法学	作業療活	法管理学			必修	1 1	単位	後	期(16h)
教員の実務経験と 授業内容の関連	臨床現場の実務 について講義を	.,	基に、医療・保健	・福祉・教	育行政	など将来の	職場と	なる組	織の管	ア理・運営
授業内容の要約	実践を行う医療 作業療法におけ ム医療・多職種	医療・保健・福祉・教育行政など将来の職場となる組織の管理・運営について、また、作業療法の 長践を行う医療従事者としての責務と行動範囲や倫理問題について学ぶ。 作業療法における管理学の位置づけ、作業療法とマネジメント、組織の中の作業療法士の役割、チーム医療・多職種連携とコミュニケーション、診療報酬と記録の管理、作業療法部門の業務管理、職場 倫理、諸制度、作業療法臨床実習の管理・運営と指導法などを理解する。								
学修目標到達目標	理解できる 2. 作業療法と 3. 組織の中の 4. チーム医療 5. 診療報酬と	理解できる。 ・作業療法とマネジメント、 組織とは・情報のマネジメントについて理解できる。 ・組織の中の作業療法士の役割が理解できる。 ・チーム医療・多職種連携とコミュニケーションの必要性が理解できる。 ・診療報酬と記録の管理が理解できる。								
対面授業の 進め方	・配布資料、バ・臨床実習現場		ント、板書 さきに極めて重要	であること	を学ぶ					
遠隔授業の進め方	による課題の提	示につい	eams を使用し、 いては、担当教員だ i、質疑応答等があ	からの連絡	・指示が	ぶあります。	出席確	電認の ナ	が法は	通信開始時
	授業	計画			:	授業時間外に	必要な学	修	30	0分以上
1. なぜ作業療法	部門で管理・運営	営学の知識	職・技術が求めら	れるか	配布資料を復習しそれぞれのポイントを / にまとめ整理しておくこと					トをノート
2. 作業療法とマネ	ネジメントについ	て		同上						
3. 組織とは・組織	畿の成り立ちにつ	いて			同上					
4. 情報・医療サー	ービス等のマネジ	メントし	こついて		同上					
4. 医療安全のマネ	・ジメントについ	て			同上					
6. 医療事故の発生	 生とその対応につ	いて			同上					
7. 再発予防の取り)組みについて				同上					
定期試験(期	末レポート)								
8. 総括及びフィー	- ドバック(定期	試験の講	評・解説)							
項目	□課題・小テス	ト %	■レポート	80%	□定期詩	大験	%	■その	也	20%
成績評価方法 準 等			授業内で課題発	表						への取り組見します
教科書	著者		タイト	ノレ			出版社			発行年

研究室	1号館1階 非常勤調	講師控室	オフィスアワー	授業終了後、質問を受け	付ける。
履修要件等	普段から医療・保健	・福祉機関の組織形	態や管理・運営に	ついて考えること	
	4. 大庭 潤平	作業療法管理学入門	明 第2版	医歯薬出版株式会社	2021
	3. 高木 綾一	リハビリテーショ: メント	ン職種のマネジ	(株)シービーアール	2018
参考図書	高橋 仁美	践ガイドブック	/ 目垤 医吕天	メジカルビュー社	2018
	 日本リハビリテーション医学会 金谷 さとみ 	「リハビリテーショ る安全管理・推進の ライン」第2版 リハビリテーション	のためのガイド	診断と治療社	2018

科目No.	SOT02-3R		授業形態	講義	開講年次	3年次				
授業科目名	身体機能作	業療法学 I	担当教員 E-Mail	上島健						
	専 攻	科 目 区	分	単位	数 数	履修期間				
基本項目	作業療法学	作業療法治療学		必修	1 単位	前 期 (30h)				
教員の実務経験と	医療機関、介護	老人保健施設、在宅支援	での実務経験(2	25 年間)のある	教員が、その	経験を生かし				
授業内容の関連	て、運動器系障	音を中心とした作業療法	における基本的	りな知識と手法	について講義	する。				
授業内容の要約	理解する。本講経障害、熱傷等習の理論に基づに求められる役本講義を履修見・評価を実現	身体障害領域の作業療法について、運動器系障害における機能障害、活動障害、生活行為の障害を 理解する。本講義では、運動器系障害(上肢や下肢の骨折、変形性膝関節症、関節リウマチ、末梢神 程障害、熱傷等)を中心とした疾患別作業療法を学修し、作業遂行を阻害する要因を分析し、運動学 習の理論に基づき、運動や知覚の再学習する支援過程について、支援チームの一員として作業療法士 こ求められる役割を学修する。 本講義を履修することにより、障がいに応じた評価や訓練方法を学び治療計画の立案や結果の予 記・評価を実現できることを目指す。さらに、3年次後期の臨床総合実習 I、4年次前期の臨床総合 と習IIにおいて、診療参加に繋げることができるようにする。								
学修目標 到達目標	2. 運動器系身	運動器系身体障害の作業療法について理解する 運動器系身体障害に対する作業療法評価と治療・訓練・援助の実際について理解する OTSとして運動器系身体障害者を担当できる基礎知識と基礎技術を修得する								
対面授業の進め方	・基本的な内容を中心に講義を進め、必要に応じてプリントを配布、DVD等も用いる ・授業を遅刻や欠席をする場合は欠席連絡フォームを用いて講義開始までに連絡を行い、翌週まて に担当教員まで配付資料を受け取る ・後期に履修する臨床総合実習 I に向け、下記以外の疾患についても治療を応用して実施する ・授業に関連するルール(出欠・成績等)は、初講日に説明するので遵守すること									
遠隔授業の 進め方		蔓延時で対面授業が困難だ (Microsoft office365 の。)。								
	授:	業計画		授業時間外	に必要な学修	30分以上				
1. ガイダンス、巠		数科書 p157~)		指定教科書の)確認、授業後	 どの課題レポート				
2. 手の骨折(教科		·		指定教科書の		どの課題レポート				
3. 手指屈筋腱損傷	馬(教科書 p192-)			指定教科書の)確認、授業後	後の課題レポート				
4. 手の末梢神経技	員傷(教科書 p219-)		指定教科書の)確認、授業後	後の課題レポート				
5. 腱板損傷(教科	書 p245-)			指定教科書の)確認、授業後	後の課題レポート				
6. 熱傷(教科書 p2	288-)			指定教科書の)確認、授業後	どの課題レポート				
7. 関節リウマチ(教科書 p374-)			指定教科書の)確認、授業後	どの課題レポート				
8. 多発性筋炎・皮	皮膚筋炎(教科書 p	401-)		指定教科書の)確認、授業後	め課題レポート				
9. パーキンソン	ン病(教科書 p412-) 指定教科書の確認、授業後の課題レポー									
10. ギランバレー	症候群(教科書 p4	125-)		指定教科書の)確認、授業後	どの課題レポート				
11. 脊髄小脳変性	症・多発性硬化症	E(教科書 p435-、p449-)		指定教科書の)確認、授業後	どの課題レポート				
		トロフィー(教科書 p461・、	476-)			後の課題レポート				
13. 廃用症候群・	大腿骨頸部骨折(教科書 p525-)				どの課題レポート				
14. 授業内試験				指定教科書の	確認					
定期試験(期				I						
15. 身体障害にお総括及びフィ		(教科書 p18-) 試験の講評・解説)		指定教科書の	確認					

	項目	□課題・小テスト %	∞ ■ レポート 65%	%	■定期試	資 30 %	■その他 5%	o o
	基		Active Learni	ngを行	本試験、	再試験は筆記		
成績評価方法	準		った成果として	てのレポ	試験によ	り評価する。	授業中態度	、アクティ
	等		ートを評価 (?	次回の授	第14回目	の授業時間	ブラーニン	グ関与度
	寺		業開始時が提出	出期限)	中に試験	を実施		
		著者	g	イトル		出	版社	発行年
教科書		長崎 重信 編集	作業療法学 ゴー	ルド・マス	ター・テ	キーシンカッ	/ビュー社	2023
		長崎重信編集	スト身体障害作業	スト 身体障害作業療法学 (第3版)			/ [ユー社	2023
文 本 网 =	+	小井 吹司 短供	「PT・OT ビジュ	アルテキス	、卜身体障	害	1.41.	0010
参考図書	Î	小林 隆司 編集	1 編集 作業療法学1 骨関節・神経疾患編」			一	土社	2019
履修要件	等	2年次の臨床検査・	D臨床検査・測定実習の履修者が望ましい(評価を経験した上での学修)。					
研究室		上島:1号館5階	1号館 5 階 第 14 研究室 オフィスアワー 上島 : 毎週木曜日 14:40~16			-16:10		

科目No.	SOT03-3R		授業形態	講義	開講年次	3年次				
授業科目名	身体機能作	≕業療法学Ⅱ	担当教員 E-Mail	上島健						
	専 攻	科目区	分	単位	立 数	履修期間				
基本項目	作業療法学	作業療法治療学		必修	1 単位	前 期 (30h)				
教員の実務経験と	医療機関、介護	達老人保健施設、在宅支援	での実務経験に	27 年間)のある	教員が、その	経験を生かし				
授業内容の関連	て、中枢神経系	障害の作業療法における	基本的な知識と	:手法について	講義する。					
授業内容の要約	を理解する。本 階に合わせた作 する。この中に Learning にて 本講義を履修 見・評価を実現	身体障害領域の作業療法について、中枢神経系障害における機能障害、活動障害、生活行為の障害と理解する。本講義では、中枢神経系障害を中心とした医学的知識を元に、各種疾患における回復段皆に合わせた作業療法支援について、支援チームの一員として作業療法士に求められる役割を学修る。この中には、作業療法を遂行する上で必要とされる喀痰等の吸引に関する内容も含み、Active earningにて理解を深める。 本講義を履修することにより、障がいに応じた評価や訓練方法を学び治療計画の立案や結果の予し・評価を実現できることを目指す。さらに、3年次後期の臨床総合実習 I、4年次前期の臨床総合								
学修目標 到達目標	1. 中枢神経系 2. 身体障害領域	習Ⅱにおいて、診療参加に繋げることができるようにする。 中枢神経系障害の評価、治療・支援について理解ができる 身体障害領域の疾患特性、中枢神経系の作業療法治療過程で不明な点を自ら調べることができる 作業療法学生として、臨床実習に耐えうる基礎知識、基礎技術の習得ができる								
対面授業の 進め方 遠隔授業の 進め方	・講義資料を綴り込むファイル(2 つ穴、厚さ 3cm 程度)を準備すること。講義欠席時は、担当教員の研究室入口に資料を置くので、講義終了から翌週の講義までに、自ら取りに来ること。 ・基本的な内容を中心に講義を進め、必要に応じてプリントを配布、DVD等も用いる ・授業を遅刻や欠席をする場合は欠席連絡フォームを用いて講義開始までに連絡を行い、翌週までに担当教員まで配付資料を受け取る ・授業に関連するルール(出欠・成績等)は、初講日に説明するので遵守すること。 Covid-19 感染蔓延時で対面授業が困難な時は、Microsoft office365 の teams を使用し、双方向通信の授業を行う(Microsoft office365 の teams を使用し、授業のオンデマンド配信と課題配信を組									
,	み合わせて行う	<u> </u>				0.01				
	授業		1 (01)	授業時間外に必要な学修 30分以上 指定教科書の確認、授業後の課題レポート						
		章害、目標設定、教科書 p								
2. 脳卒中(疾患概要 3. 脳卒中(評価等、				教科書の確認						
		教科書 p80-112) ng、教科書 p80-112)		三教科書の確認 三教科書の確認						
5. 脊髄損傷 (疾患				教科書の確認						
6. 脊髄損傷 (評価		•		教科書の確認						
	グラム等、教科			教科書の確認						
		ming、教科書 p113-134)		三教科書の確認						
9. 治療介入(教科			三教科書の確認	、授業後の課	題レポート					
10. 喀痰等の吸引		講整 中)	指定	指定教科書の確認、授業後の課題レポート						
11. 喀痰等の吸引	の演習(非常勤請	講整中)	指定	指定教科書の確認、授業後の課題レポート						
12. 脳卒中の作業	療法・実技、Act	ive Learning	指定	三教科書の確認	、授業後の課	題レポート				
13. 脊髄損傷の作	業療法・実技、A	Active Learning	指定	三教科書の確認	、授業後の課	題レポート				
14. 授業内試験			指定	指定教科書の確認、授業後の課題レポート						
15. 総括及びフィ	ードバック(定類	明試験の講評・解説)		対容の復習を で実習に向けた						

	項目	□課題・小テスト	% ■レポート 5%		■定期試	験 70%	■その他 25	%
成績評価方法	等		Active Learningを行た成果としてのレストを評価		本試験、再試験は筆記 試験により評価する。 第14回目の授業時間 中に試験を実施		授業中の態 Learning B	
<u>'</u>		著者	Я	イトル		出	版社	発行年
教科書		小林 隆司 編集	「PT・OT ビジュ 作業療法学 1 信			・・	土社	2019
参考図書	ŧ	高見彰淑(編集)	「セラピストのための脳卒中評価指標の 解釈と活用」			(株)メジカ	ルビュー社	2020
履修要件	履修要件等 2年次の臨床検査・測定実習の履修者が望ましい(評価の模倣を			かを経験した上*	での学修)。	•		
研究室		1号館5階第14研	究室(上島)	オフィン	スアワー	毎週木曜日 1	4:40-16:10	

	1		1	1		I			
科目No.	SOT06-3R		授業形態	講義	開講年次	3年次			
授業科目名	生活環境・	行為分析学実習	担当教員 E-Mail	岸村 厚志/	个越 雄也				
	専 攻	科目区	分	単位	立数	履修期間			
基本項目	作業療法学	作業療法治療学		必修	1 単位	前 期 (30h)			
教員の実務経験と	身体障害領域の	回復期・生活期において	生活行為の改善	等や生活環境の	調整の実務経	験があり、現在			
授業内容の関連	も回復期リハヒ	ごリテーション病院におい	て、これらの打	支術指導を行っ	ている。				
授業内容の要約	その評価が、で程を分析し、そ次する方法が、 その行為に時間	E活行為を再獲得させるに できる ADL の評価である。 の工程毎に必要な要素を理 環境(人・福祉用具・住理 聞がかかりすぎる場合や、 でその行為の満足度が高ま	できる ADL 理解し、できな 環境など)であ もっと環境の	の評価を行うたい要因を見極ないのたり、新しい要素を減らした	とめには、標的 める必要があっ い方法だった。 とい場合などに	りとする行為の工 る。その要因を解 りする。それでも こ身体機能面を改			
		きる ADL の評価の仕方が説明できる							
学修目標		ざる ADL の評価の任方が説明できる ・動作介入の模倣ができる。							
到達目標		事例に対して介入プランが立案できる。							
対面授業の	<u> </u>	事的に対してガスノフンが立案できる。 を中心とした講義と、先行研究の事例報告に基づき、その介入方法を実際にグループで模倣							
進め方	る。								
	+	'° eams を使用し、双方向通信の授業を行う。 課題配信の有無については、各担当教員からの連絡が							
遠隔授業の		gams を使用し、外が问題信の対象を行う。 Regula の有無に フィーマス、行当当教員がのの連結が必 ります。 出席確認の方法は授業開始時行うので、 通信の不備、 質疑応答等があった場合は、 メール等							
進め方	で担当教員、付	代表教員に直ちに申し出て	ください。						
	授業	計画	 	授業時間外に	必要な学修	30分以上			
1. オリエンテー	ーション・生活環境	竟・行為の治療をする にあ	たって振り) 返りレポート	A4 サイズ 1	枚以内			
2. 治療理論(/智理論)		振り	振り返りレポート A4 サイズ 1 枚以内					
3. 治療理論(原	5用行動分析学)		振り	り返りレポート	A4 サイズ 1	枚以内			
4. 評価の視点:	AMPS (中越)		振り	り返りレポート	A4 サイズ 1	枚以内			
5. 評価の視点	できる ADL(グ	レーディング・無誤学習)	振り	り返りレポート	A4 サイズ 1	枚以内			
6. 介入プログラ	ラムの立案の仕方		振り	り返りレポート	A4 サイズ 1	枚以内			
7. 寝返り起き」	上がり動作		振り	り返りレポート	A4 サイズ 1	枚以内			
8. 坐位・立位重	协作		振り	り返りレポート	A4 サイズ 1	枚以内			
9. 移乗動作			振り	り返りレポート	A4 サイズ 1	枚以内			
10. 移動動作			振り	り返りレポート	A4 サイズ 1	枚以内			
11. 食事動作			振り	り返りレポート	A4 サイズ 1	枚以内			
12. 更衣動作			振り	り返りレポート	A4 サイズ 1	枚以内			
13. 排泄動作			振り	り返りレポート	A4 サイズ 1	枚以内			
14. 入浴動作			振り	り返りレポート	A4 サイズ 1	枚以内			
定期試験(其	まレポート)							
15. 総括及びフィ	ィードバック(定	胡試験の講評・解説)							
項目	□課題・小テス	ト % ロレポート	42% □定	期試験	58% ロその	他 %			
成績評価方法 一	準 ポート、内容により3 実施する。								

	著者	タイ	イトル	出版社	発行年
教科書	編集:濱口豊太	標準作業療法学: 日	日常生活活動・社会 テ為学	生医学書院	2018
	山﨑裕司•山本淳一		/効果を最大限に引 ナコツ	き 三輪書店	2019
参考図書	編集:濱口豊太	標準作業療法学:基	基礎作業学(第3版)	医学書院	2017
参与凶音	鈴木誠	脳卒中	の教科書	ヒューマン・プレス	2019
履修要件等					
研究室	岸村:1号館1階 中越:1号館5階		オフィスアワー	岸村:毎週月曜日 16: 中越:毎週火曜日 12:	20~17:00 10~13:00

科目No.		SOT07-3R			授業形	態 請	構義・実習	開講年次	7	3年次
授業科目名	,	義肢装具学	名(含)	론習)	担当教 E-Ma		田丸 佳希		ļ	
		専 攻		科目区	分		単 位	数数		履修期間
基本項目		作業療法学	作業療法	去治療学			必 修	1 単位	. 前	f 期(30h)
教員の実務経験	険と	身体障害領域	(ハンドセ	:ラピー)で実務	経験がある	る教員が	、その経験	を生かして	義肢	装具の基礎知
授業内容の関連	車	識、また Sprin	tの作成を	を含めて指導する	5.					
授業内容の要	系約	よび専門的な知	識を充分	プロマ・ポリシー 身につけた人」 ・クアウト)、Spr	を達成する	らための	専門科目で	す。義肢の	適応	(切断の知識・
学修目標 到達目標		2. 上腕義手・	前腕義手	芒知識(名称・機 ・の適応について ort-Opponens-S	評価し、そ	その原因	を評価する		そる。	
対面授業の進め方)	振り返りと学習	業内は、基礎知識の注入は導管モデルとなるが、各授業の後半ではアクティブラーニングを用いたり返りと学習進捗状況の確認を行う。また、実技では各学生 2 つの作品を作成する。授業後半二では義肢装具の振り返りについてブレインストーミングやラウンドロビンを用いて実施する。							。授業後半コ
遠隔授業の 進め方)	基本的に対面授	基本的に対面授業を行うが、遠隔授業になった場合は、teams を使用した授業の LIVE 配信を行う。							ご配信を行う。
		授業計画					授業時間外に	必要な学修		30分以上
1. オリエンラ	テーシ	ョン				各授業	計画に合わ	せて教科書	で予	望をする
2. 義肢装具	学の	既要			! !	義肢装	具の歴史や	成り立ちに	つい	て学習する
3. 装具と切	断					切断部	位の名称を	学習する		
4. 装具の構	成要	素				義手を構成している部品の名称を学習する				
5. 義手のチ	エツク	クアウトI				前腕義手のチェックアウト項目を学習する				
		クアウトⅡ				上腕義手のチェックアウト項目を学習する				
		とその種類 I					; の適応につ			
		とその種類Ⅱ					; の特徴と名			
	_	ens-Sprint の作品					装具の作成			
		ens-Sprint の作品			<u> </u>		レックス Ⅱ			
-	-	t の作成 I			<u> </u>		p sprit の作			
_		t の作成Ⅱ			<u> </u>		レックスⅡ			
13. 下肢装具							具の名称と			
14. 義手装具 定期試験	子(/)	まとめ			<u> </u>	谷コマ	での重点項	日を整埋し	/子省~	9 5
15. 総括及び	ファ	ードバック			i	完加計	験の講評・	————————————————————————————————————		
	項目	<u>- 「ハック</u> □課題・小テス	۱۰ %	ロレポート	%	正知試			· の他	%
成績評価方法	基準等		1 /0	TEW, I.	/0		験を実施す		<u>~ ン 凸</u>	70
*****\ **		著者		タイ	トル			出版社		発行年
教科書		日本作業療法士	協会	「作業療法学全	書」義肢数	長具学	共同	医書出版社	:	2009
参考図書		特に指定しない	`							
履修要件等	Ē									
研究室		1号館1階 非常勤講師控室 オフィスアワー 授業終了後、質問を受け付ける。						付ける。		

科目No.		SOT08-3R		授業形態	講義	開講年次	3年次	
授業科目	名	高次脳機能		担当教員 E-Mail	水野貴	7 -		
		専 攻	科目区	分	単	位数	履修期間	
基本項目		作業療法学	作業療法治療学		必修	1 単位	前 期 (16h)	
教員の実務経	験と	病院や施設で2	1 20 年の臨床経験のある教員	員がその経験		 	の知識と治療	
授業内容の関	連	技法を講義し、	対象者への対応について	指導する。				
授業内容の	要約	た行動などの高	5次脳機能も障害され、日	常生活に大き	はない。記憶や言語、物や空間の認知、目的を持っ 大きな支障をきたす。本講義では、講義と治療を いて理解できるようにする。			
学修目標 到達目標		2. 高次脳機能 ことができ	状から高次脳機能障害の特障害の特障害の作業療法の流れ(る でいる でいる でいる でいる でいる でいる でいる	情報収集—評	 価-統合と解釈	R—目標設定—※	台療)を理解する	
対面授業の	D	講義(講義資料	義(講義資料を随時配布、パワーポイント使用)					
進め方	/)	アクティブラー	?クティブラーニング (治療の実施、症例検討)					
XE-1773		高次脳機能評価	一学を復習しておくこと。					
遠隔授業の進め方	カ	講義では Micro	osoft office365 Ø Teams ?	を使用し双方に	句通信の授業を	行う。		
		授業	計画		授業時間外	に必要な学修	30 分以上	
1. 高次脳機	能障害	系の作業療法(教	科書 pp26-36)		評価の復習を行	すうこと		
2. 注意障害	の作業	美療法(教科書 p	p47-55、128-139、174-183、	242-248)	注意障害の復習	習を行うこと		
3. 半側空間	無視の)作業療法(教科	書 pp112-125、223-240)		半側空間無視の	り復習を行うこ	と	
4. 記憶障害	の作業	纟療法(教科書 p	p56-65、184-191)	Ī	記憶障害の復習	習を行うこと		
5. 認知症の	作業療	法(教科書 pp1	55-168、258-265)	<u></u>	認知症の復習を			
6. 失語・失	行・失	一認の作業療法(教科書 pp69-107、194-22	22)	失語・失行・分	 に認の復習を行	うこと	
7. 症例検討					1-6 回の復習を	:行うこと		
定期試験								
8. 総括及び	-		試験の講評・解説)					
	項目	■小テスト	10%	<u> </u>	■定期試験	90%		
成績評価方法	基準等		、テスト(6回)を実施し、 りいての理解度を評価する。	7	授業の内容全船	といての理!	解度を評価する。	
		著者	2	タイトル		出版社	発行年	
教科書		能登真一	「標準作業 高次脳機能作	療法学 専門 業療法学 第		医学書院	2019	
		石合純夫	「高次脳機能	 能障害学 第	3版」	医歯薬出版	2022	
		藤田郁代他	「標準言語聴覚障	害学 高次脳 第3版」	機能障害学	医学書院	2021	
参考図書	Ė	本田哲三	「高次脳機能障害 ー実践的ア	害のリハビリラ プローチ第 3		医学書院	2016	
		渕雅子	「作業療法学全書 改言	第8巻 高次 丁第3版」	X脳機能障害	協同医書出版	反 2011	
履修要件	履修要件等 「高次脳機能評価学」が履修済であることが望ましい。							
研究室		1号館4	1階 第5研究室	オフィスア	ワー 毎	週水曜日 12:	10~12:50	

科目No.		SOT10-3R			授業形	態	講義	開	講年次		3年次
授業科目名	名	内部障害作	三業療法学	学	担当教 E-Ma	-	中越雄也	<u>L</u>			
		専 攻		科目区	分		単	位数	汝	R	愛修期間
基本項目		作業療法学	作業療法治	療学			必修	1	単位	前	期(16h)
教員の実務経 授業内容の関						•					
授業内容の	要約	内部障害を呈しながら、対象者							解し、リフ	くク管	理に配慮し
学修目標到達目標		 作業療法の 内部障害に 内部障害に 	対する評価と	作業療法の概	既略を述べる		ができる				
対面授業 進め方	か	資料を用いた講義と臨床推論を求める課題で進める。 アクティブラーニングを図るために反転授業を取り入れた講義をする。 解剖学・生理学・病理学・内科学などの基本的な知識の復習を行うことが望ましい。									
遠隔授業の進め方	遠隔授業の 進め方 Microsoft office365 の teams を使用し、双方向通信の授業を行う。 第 1 回~ 7 回は遠隔で授業を行い、第 8 回はセクションの まとめとして対面授業を行う。遠隔授業時の出席確認は、授業終盤に配信する課題の提出をもって行う。										
		授	業計画				授業時間	外に必	要な学修	3	0分以上
1. 内部障害	の概論	論と、リスク管理	(教科書 pp	14~21、39~4	17)		概論とリス	ク管	理につい	て理解	
2. 呼吸器疾病	患に対	する評価と作業	療法 (教科書	pp26~29, 48	8~54、86~1	109)	呼吸器疾患	につ	いて理解	する	
3. 心疾患に	対する	京評価と作業療法	(教科書 pp	21~37、54~6	30、110~13	30)	心疾患につ	いて	理解する		
4. 下部尿路	幾能障	害に対する評価	と作業療法(教科書 pp68	~69、196~2	215)	下部尿路機	能障	害につい	て理解	解する
5. 糖尿病に	対する	5評価と作業療法	(教科書 pp	65~68、176~	-195)		糖尿病につ	いて	理解する		
6. サルコペ	ニアに	対する評価と作	業療法 (教	科書 pp63~6	4、158~17	5)	サルコペニ	アに	ついて理	解する	5
		くる人生の最終段 63、131~157)	階への作業療	寮法			がんなどの	終末	期疾患に	ついて	て理解する
定期試験	(期	末レポート)								
8. 総括及び	フィー	- ドバック(定期	試験の講評・	解説)							
	項目	☑課題・小テス	により 10%	☑レポート	20%	☑定	期試験	60%	☑ そのf	也	10%
成績評価方法	及横評価方法 基 各授業に関する課題があり、その取り組む姿勢やり、その取り組む姿勢や提出物の内容を評価する。						を失わない				
教科書		著者			タイトノ	レ			出版社		発行年
7/11日		小林 隆司 他			作業療法学				羊土社		2019
参考図書	<u>+</u>	山口 昇 他			作業療法学				医学書院		2021
		石川 齊 他			技術ガイド	第4	饭」		文光堂		2021
履修要件	等	内科学を履修し		が望ましい			1.				
研究室		1 号館 5 階 共	同研究室		オフィス	アワー	- 毎週火曜	星日 12	2:10~1	3:00)

科目No.	SOT12-3R		授業形態	講義	開講年次	3年次			
授業科目名	精神機能作	業療法学	担当教員 E-Mail	白岩 圭悟					
基本項目	専 攻 作業療法学	科 目 区作業療法治療学	分	必 修	立 <u>数</u> 1 単位	履修期間 前期(30h)			
教員の実務経験と 授業内容の関連	リテーションの 状態に応じた作	の実務経験(14年)を基)一分野である精神機能作 業療法の流れ(評価・介 かいて症例を通じて学修す	業療法の位置 入・成果)を	づけと意義、そ 講義する。さら	して疾患別及に地域支援の	び対象者の回復活動の紹介、就			
授業内容の要約	に向けて、不断 識を習得する。	マポリシーである「対象の努力ができる」を達成。 また、医療従事者として望	けるための科目 望ましい態度を	である。対象 である。対象	者を総合的に記 申保健福祉対策	平価するための知 策の概要を学ぶと			
学修目標 到達目標	12. 評価を実施するために必要な基礎的な知識を身に付けることができる								
対面授業の 進め方	1. 疾患像をイメージできるよう動画資料・教科書・配布資料を媒体にした授業形態で進め 理解の状況・程度に応じた質疑応答とディスカッションを行う								
遠隔授業の 進め方	Microsoft office	e365 の teams を使用し、	双方向通信の	授業を行う。					
	授業計	画		授業時間外に	必要な学修	30分以上			
1. 精神科医療の歴	歴史と法制度(教)	科書②p35~p132、資料・	VTR) 教科						
2. リカバリーと料	青神障害作業療法	の概要(教科書②p3~p2	8)	で配布した資料 るため文献調査		、さらに知識を そとめること			
3. 精神障害作業療 ~p121~p28)	法の治療・援助権	構造と治療機序1(教科書		で配布した資料 ートにまとめて		,ポイントを整理			
1 1	法の治療・援助権	造と治療機序2(教科書の	②p122 講義		トを再度復習し	,ポイントを <u>整</u> 理			
5. 各病期における	る精神科作業療法	((教科書②p220~p249)				・参考書を再度復まとめておくこと			
6. 疾患別作業療法 書①p66~p110)	1:統合失調症に	こともなう障害と作業療法		で配布した資料 ートにまとめて		,ポイントを整理			
7. 疾患別作業療法法と小テスト(教		っつ病)にともなう障害と 50)				・参考書を再度復まとめておくこと			
8. 疾患別作業療法療法と小テスト(染うつ病)にともなう障害 150)	と作業			考書、及び小テス			
9. 疾患別作業療法 (教科書①-151-17		害に対する作業療法と小う		で配布した資料 トを整理しノー		きを再度復習し,ポ こおくこと			
10. 疾患別作業療科書①p178~p18′		対する作業療法と小テス	ト(教			考書、及び小テス しノートにまとめ			

11. 疾患別作書①p188~]		法 6:依存症に対する	作業療法と小テスト	(教科	講義で配布した資料、及び教科書・参考書、小テストを再度復習し、ポイントを整理しノートにまとめておくこと				
		法 6 : 境界例パーソナ 科書①p216~p225)	リティ障害に対する	作業療	講義で配布した資料、及び教科書・参考書、小テストを再度復習し、ポイントを整理しノートにまとめておくこと				
		法 5 : 認知症および自 テスト(教科書①p226		害に対	講義で配布した資料、及び教科書・参考書、小テストを再度復習し、ポイントを整理しノートにまとめておくこと				
14. 関連療法と小テスト(教科書②p342~p369)					教科書を再度復習し、ポイントをまとめておくこ と				
定期試験									
15. 総括及で	15. 総括及びフィードバック (定期試験の講評・解説)				知識不足なまとめてお	☆部分、理解不十 さくこと	一分な部分等	等再度復習し、	
	項目	■課題・小テスト 20	0% □レポート	%	■定期試験 70% ■その他 10%			10%	
成績評価方法	基準等	国試過去問小テストの実施 (授業結果の振返り)			.,,,,,,,	容全般、およ出ま問より理解	授業への	参加と取り組	
		著者	タイ	トル		出版	生	発行年	
教科書	教科書 朝田隆 ほか 「精神疾患の理解と精神 第3版」				斗作業療法	中央法規出版	株式会社	2020	
山根寛 「精神障害と作業療法				業療法	新版」	三輪書	店	2017	
参考図書 早坂友成 精神科作業療法の理				去の理論	論と技術 メジカルビュー 2018				
履修要件等 心理学・臨床心理学・精神医学・精神障害評価学・特				全・精神障害	臨床評価学実習	習などの知識	数が必要です。		
研究室					スアワー	毎週火曜日 1	2:10~13	3:00	

科目No.	SOT13-3R		授業形態	講義	開講年次	3年次		
授業科目名	精神機能作	業療法学実習	担当教員 E-Mail	巽 絵理				
	専 攻	科目区	分	単 位	立数	履修期間		
基本項目	作業療法学	作業療法治療学		必修	1 単位	前 期 (45h)		
教員の実務経験と	医療機関での1	1年の臨床勤務経験のある	る教員がその経	験を活かして、	精神障害者の	の支援に役立つ		
授業内容の関連	作業療法でのフ	『ログラム立案、実施の方	法について、気	実践的な視点を	中心に指導す	·る。		
授業内容の要約	に向けて、不断	の努力ができる」を達成す	十るための科目	心理的、社会的背景にも配慮ができ、課題の発見・解決 こめの科目である。作業療法実施に必要な疾患別の治療 ム立案から実施に至る流れを習得する。				
学修目標 到達目標	2. 疾患別作業	業療法の治療理論を理解し 療法の治療技術を習得し、 じた作業療法評価から治療	目的に応じた	治療プログラ、				
対面授業の 進め方 進め方 数科書および配布資料を用いて講義および実習を行う。実習では小グループに分かれて、症例を見たアクティブラーニングを行い、臨床の場において疾患の特徴に合わせた治療プログラムの作品である。								
遠隔授業の 進め方 Microsoft office365の teams を使用し、双方向通信の授業を行う。								
	授業計画	町		授業時間外に必要な学修 30分以上				
1. 事例検討 統治	 大調症 評価計	画立案	予習: 教	科書①p76-86	を読む	•		
2. 事例検討 統合	- 大調症 治療計	画立案	グループ	討議				
3. 事例検討 統合	分失調症 効果判	定・症例レジュメ作成	レポート	1.事例をA3	1枚にまとめ	る		
4. 事例検討一気分) 障害 評価計	画立案	予習:教	科書①p111-14	44 を読む			
5. 事例検討一気分	· 冷障害 治療計	画立案	グループ	討議				
6. 事例検討一気分) 障害 効果判	定・症例レジュメ作成	レポート	1.事例をA3	1枚にまとめ	る		
7. 総合問題演習①	精神医学・臨	床心理学	予習:1	年次~2年次	の復習			
8. 総合問題演習②	2) 精神機能評価	学	予習:2	年次の復習				
9. 総合問題演習②	統合失調症		予習:精	神機能作業療	法学の該当疾	患の復習		
10. 総合問題演習				神機能作業療		_ ,,,,		
		(物質使用障害)・摂食障害		神機能作業療法				
12. 総合問題演習				神機能作業療法		患の復習		
13. 治療プログラ				神機能作業療法				
14. 治療プログラ		€		間内に終わら				
15. 治療プログラ				2-1:授業終				
16. 治療プログラ				週実施できる。 2-2・治療プロ				
17. 治療プログラ 18. 治療プログラ			レルート	2-2:治療プロ	7 ノム 夫	以口音作从		
18. 冶療プログラ			12#4 L	2-3:プログラ	ラム休齢の感料			
20. 治療プログラ		<u></u>		2-4:対象者の				
		<u>"</u>)・プログラムの見直し		2-4 . 対象省の2-5 : 治療プロ		<u> </u>		
22. 対象者と関わ			NAV. I	■ 0・1口/乐ノト	一ノノムドエ			
定期試験	ッエ、王女/ふし	- への ロック 『神寺女/						
	ードバック (定)	朗試験の講評・解説)						
	· // (/L/	ALMAN - HITH I VITHUM						

	項目	■小テスト 15%	■レポート 40%	■気	定期試験	35%	■その	也 10) %
成績評価方法	基準等	総合問題演習は、毎回試験を実施する。	グループワーク課題の内容 考過程と計画内容)を評価す 1.症例報告書レジュメ2種 2-1治療プログラム 2-2実施報告書 2-3治療体験感想 2-4観察記録 2-5治療プログラム修正版	-る 国	る 授美 日家試験に進ずる問 授美 おおお おおまま おおまま おおままま おまままままままま				势、
		著者	タイトル			出版社		発行生	年
教科書		 山根 寛 	「精神障害と作業療法	新版」		三輪書店		2018	8
参考図書	参考図書			第5巻 協同医書出版社				7	
履修要件	等	精神医学、精神機能	作業療法評価学実習、臨床検査	生・測定:	実習を履修	をしているこ	ことが望	ましい	
研究室		1号館1階 非常勤	講師控室 オフィク	スアワー	授業終っその他。	了時 メールでの	の質問も	受け付け	ける。

※教科書①:朝田 隆ほか「精神疾患の理解と精神科作業療法 第3版」

科目No.	SOT14-3R		授業形態	講義	開講年次	3年次
授業科目名	応用作業治	療学実習	担当教員 E-Mail	武井 麻喜	・水野 貴子	
	専 攻	科目区	分	単位	立 数	履修期間
基本項目	作業療法学	作業療法治療学		必修	1 単位	前 期 (45h)
教員の実務経験と 授業内容の関連	と手法、治療へ	臨床経験が 20 年以上ある の適用についての指導を て実践を通して指導する。	する。さらに、			
授業内容の要約	その特性とともれる場面や障害 質による個人的用することにつ	で学んだ知識を基にして に、種々の治療理論および の程度による治療的な機 の対果など多面にわたり分 いて学修する。 また「生 ント、プランニング、実	が疾患や症状に 能とその効果、 析することで、 活行為向上マ	合わせた分析 能動的および 個人の特性に ネジメント」の	を実施する。そ 受動的な効果 こあわせて作業 の手法を学生間	その作業が用いら 、年齢や性別、気 終活動を選択し適 聞で実践実習して
学修目標到達目標	 個人の特性 「生活行為向 	理論および疾患や症状に合 こあわせて作業活動を選抜]上マネジメント」の概要 味ある作業"を見つけ支援	Rし治療に適用 を理解し説明で	することがで できる	きる	
対面授業の進め方	後半は学生同士	作業活動実習と分析、グ がペアになって、お互い こ」取り組むこと。			手法を実践し	ていく。
遠隔授業の 進め方						
	授業計画		授	業時間外に必要な	学修	30分以上
1. 革細工:コー	スター①		復習:革細工/	こついてのレオ	パート作成	
2. 革細工:コー	スター②		復習:革細工/	こついてのレオ	ポート作成	
3. 革細工:コー	スター③		復習:革細工(こついてのレオ	ポート作成	
4. 革細工:コー	スター④	;	復習:革細工(把握	こついてのレオ	ポート作成、治	台療目的・方法の
5. ネット手芸:	小物入れ①		復習:ネット=	手芸についての	つレポート作成	Ž
6. ネット手芸:	小物入れ②	!	復習 : ネット=	手芸についての	フレポート作成	Ż
7. ネット手芸:	小物入れ③		復習:ネット	手芸についての)レポート作成	रे
8. ネット手芸:	小物入れ④	i i	復習 : ネット ³ 法の把握	手芸についての	ワレポート作品	戈、治療目的・方
9. あんでるせん	手芸:かご①		復習:あんで	るせん手芸につ	ついてのレポー	
10. あんでるせん	手芸:かご②	1	復習:あんで	るせん手芸につ	ついてのレポー	- 卜作成
11. あんでるせん	手芸:かご③	;	復習:あんで 的・方法の把抗		ついてのレポー	一卜作成、治療目
12. 輪なげ、ボー	ル		復習:輪なげ、	ボールの種類	頁と治療目的・	方法の把握
13. セラプラスト	、ペグボード		復習:セラプ	ラストなどの種	賃 類と治療目的	り・方法の把握
14. 生活行為向上	マネジメントにつ	ついて				
15. 「事前情報」「	生活行為の目標」	聞き取り				
16. 生活行為向上	アセスメント演習	シート				
17. 生活行為向上	プラン演習シー	`				

18. 生活行為	為向上	プログラムの実践①		生活行	為の目標を	意識して立	案したプログラ	ムを実践する	
19. 生活行為	為向上	プログラムの実践②		生活行	為の目標を	意識して立	案したプログラ	ムを実践する	
20. 生活行為	為向上	プログラムの実践③		生活行為の目標を意識して立案したプログラムを実践する こと					
21. 生活行為	為向上	プログラムの実践④		生活行為の目標を意識して立案したプログラムを実践する こと					
22. 生活行為	為向上	プログラムの実践⑤		生活行為の目標を意識して立案したプログラムを実践する こと					
23. 生活行為	23. 生活行為向上プログラム終了時アセスメントと総括								
	項目	■課題 50 %	■レポート 40	%	□定期試	験 %	■その他 1	0 %	
成績評価方法	成績評価方法 基準 後半、各シートの記載内容、実践記録内容、実践記録内容、報告書内容を評価する。 前半、各レポートられた課の視点とでいるか			、与え 義内容 考察し			前半、各作業 提出。作成方 の理解度を評 後半、プログ 況(態度)を	生に ついて 価する。 ラムの実践状	
教科書		著者	タイ	イトル		Н	版社	発行年	
4XII E		浅沼辰志	「作業療法学ー・テキスト			メジカ	ルビュー社	2021	
		濱口豊太 編集	「標準作業療 基礎作業			医	学書院	2017	
参考図書	<u>+</u>	澤田雄二	「作業療法学全業学 改調			協同医書出版		2009	
				-ュアル ' ジメントタ	75 生活 第4版」	(社)日本作	業療法士協会	2022	
	(社)日本作業療法士 「事例で学ぶ」協会 メン			活行為向 第 2 版」	上マネジ	医菌	南薬出版	2021	
履修要件等 「基礎作業学」「基礎作業分析学実習」			作業分析学実習」	「応用作業	業分析学実	習」が履修済	▲であることが誓	望ましい。	
研究室		武井:1号館5階 第 水野:1号館4階 第		オフィ	イスアワー	武井:毎江水野:毎江)~13:00)~12:50	

投資料日名	£l ⊟N	CDO00-2D		松光式能	#¥	問業に分	9 年 / / / /
基本項目	科目No.	SRO02-3R		授業形態		開講年次	3年次
基本項目	授業科目名	地域作業療法	学		, ,		
# (専 攻	科目区	分	単位	立 数	履修期間
接案内容の関連 接案内容の関連 接案内容の要約 整飾も作性が慣れた地域で安心して生活し続けるために、適宜適切なサービス様性を行う必要がある。 事例から地域に限さした作業療法を知り、自身の住み情れた地域を通して作業療法の理解を禁める。 事例から地域に限さした作業療法を知り、自身の住み情れた地域を通して作業療法の理解を禁める。 事例から地域に限さした作業療法を知り、自身の住み情れた地域を通して作業療法の理解を禁める。 対面投業の 進め方 があた。 対面投業の 進め方 があた。 できる 対面投業の 進め方 がいている。 なります。出版確認とは、気に関連が対し、経験を理解することができる 対面投業の 進め方 がいて担当教員、代表教員に直ちに申し出てください。 「と本教員に直ちに申し出てください。」 「と本教」に直ちに申し出てください。 「と教育の上で地域に限さした作業療法を知る・考える ① 3、事例を通して地域に限さした作業療法を知る・考える ② 4、地域での生活や、作業を支えるための住環境の調整 ② 6、地域での生活や、作業を支えるための住環境の調整 ② 6、地域での生活や、作業を支えるための住環境の調整 ② 6、地域での生活を支えるための社会資源と多職種連携 ② 6、作業療法に重要が社会保障制度(企業保険制度)、障害者総合支援法) 地域での生活を支えるための福祉用具 ① 11、地域での生活を支えるための福祉用具 ① 12 自日の投棄法でに、 自身が住んでいる地域や環境に関するレボート。 の提出を求めます。 「は、外債れた地域で生活をするための作業療法を考える ② 14、子が作業療法のいて活な、企業療法と、企業を対し会保障制度(企業保険制度)、障害者総合支援法) 域や環境に関するレボート。 の提出を求めます。 「自身が住んでいる地域や環境に関するレボート。」の提出を求めます。 「は、外債れた地域で生活をするための作業療法を考える ② 14、子が作業療法について 下が、タイトのより、検索に関するレボート。 「自身が住んでいる地域や環境に関するレボート。」の提出を求めます。 「は、対域・大変・関連・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	基本項目	作業療法学	_ , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	ハビリテーシ	必修	1 単位	前 期 (30h)
接案内容の要約 講もが住み慣れた地域で安心して生活し続けるために、適宜適明なサービス提供を行う必要がある。	教員の実務経験と	地域での訪問作業療	療法や予防医学的リハ	ビリテーショ	・ンの経験のある	教員が、その	経験を生かして
要例から地域に長さした作業療法を知り、自身の住み慣れた地域を通して作業療法の週解を深める。 学修目標 到達目標 2. 地域での作業療法上が関わる具体的な支援策を理解し、各領域における相互作用を理解することができる 2. 地域での作業療法上が関わる具体的な支援策を理解することができる 2. 地域での作業療法上が関わる具体的な支援策を理解することができる 2. 地域での作業療法とが関わる具体的な支援策を理解することができる 2. 地域での作業療法上が関わる具体的な支援策を理解することができる 2. 地域でリンテーション機論や社会保険制度 生活環境学などの復習を行うことが望ましい。 「を翻する使用し、双方向通信の授業を行う。課題配信の有無については、各担当教員からの連絡があります。出席確認の方法は支援制的時行うので、通信の不備、質疑応答等があった場合は、メール等で担当教員、代表教員に直ちに申し出てください。 技業計画 1. 地域に私どした作業療法の頻繁、地域包括ケアシステムについて 2. 事例を通して地域に根ざした作業療法を知る・考える ① 3. 事例を通して地域に根ざした作業療法を知る・考える ② 4. 地域での生活や、作業を支えるための住環境の調整 ② 5. 地域での生活や、作業を支えるための住環境の調整 ② 6. 地域での生活や支えるための住環境の調整 ② 7. 地域での生活や支えるための経験制度と、障害者総合支援法 9. 作業療法に重要な社会保障制度(企業保険制度) 9. 作業療法に重要な社会保障制度(企業保険制度と、障害者総合支援法) 10. 地域での生活を支えるための福祉用具 ① 11. 地域での生活を支えるための福祉用具 ① 12. 住み慣れた地域で生活をするための作業療法を考える ② 14. 予が作業療法について 定 携 試験 (期 末 レ ボ ー ト) 15. 総括及びフィードバック (定期診験の講評・解説) 本理 事態と、大き、のに実験が講評・解説) 本理 事態と、大き、の 電財動・70 % 単体考 な場を課す。 本理 事態と、大き、の 単様考 「標準作業療法を単 地域作業療法学 第 4 版」 医学書院 2023 素者 タイトル 出版社 発行年 最終を伴等 2 年次までの作業療法評価学を履修していることが望ましい	授業内容の関連	地域に根ざした作業	業療法の知識と方法に	ついて講義す	ーる		
到達目標 2. 地域での作業療法土が賜わる具体的な支援策を理解することができる 講義形式を中心として、臨床推論を求める課題も併用しながら、適宜グループ演習なども加える。	授業内容の要約						· · ·
講義形式を中心として、臨床推論を求める課題も併用しながら、適宜グループ演習なども加える。 連め方	学修目標	1. 地域包括ケアミ	ンステムの概要を理解	し、各領域に	における相互作用	を理解するこ	とができる
進め方	到達目標	2. 地域での作業療	療法士が関わる具体的	な支援策を理	脚することがで	きる	
連め方 Teams を使用し、双方向通信の授業を行う。課題配信の有無については、各担当教員からの連絡があります。出席確認の方法は授業開始時行うので、通信の不備、質疑応答等があった場合は、メール等で担当教員、代表教員に直ちに申し出てください。 授業計画 投業があった場合は、メール等で担当教員、代表教員に直ちに申し出てください。 投業計画 投票があった場合は、メール等で担当教員、代表教員に直ちに申し出てください。 投票があった場合は、メール等で担当教員、代表教員に直ちに申し出てください。 投票があった場合は、メール等で担当教員の構造して地域に根ざした作業療法を知る・考える ① 投票を通して地域に根ざした作業療法を知る・考える ② 投票を力して地域に根ざした作業療法を知る・考える ② 投票を力して地域に根ざした作業療法を知る・考える ② 投票を力して地域に根ざした作業療法を知る・考える ② 投票を力して地域に根ざした作業療法を知る・考える ② 投票を力して連続でいる。 作業療法に置要な社会保険制度 ② 投票を力と表しましている。 作業療法に置要な社会保険制度 ② 投票を対している地域を予算に関するレボート』の提出を求めます。 担域での生活を支えるための福祉用具 ② 担対での生活を支えるための福祉用具 ② 担対での生活を支えるための福祉用具 ② 担対での生活を支えるための福祉用具 ② 担対での生活を支えるための福祉用具 ② 担対での生活を支えるための権祉用具 ② 担対での生活を支えるための権祉用具 ② 投票がはた地域で生活をするための作業療法を考える ② 担当を表めます。 担訴を求妨させまでは、対している地域を発達に関するレボート。 を選集がより、 対しに関する。 連携を表する 投票に関するレボート。 を選集が、 大学に関するとがで現まれている地域を発達している地域を設する。 単株学	対面授業の	講義形式を中心とし	して、臨床推論を求め	る課題も併用	月しながら、適宜	グループ演習	なども加える。
適時検案の 進め方	進め方	リハビリテーション	/概論や社会保障制度	、生活環境学	さなどの復習を行	うことが望ま	こしい。
### あります。出席確認の方法は授業開始紹介うので、通信の不偏、質疑応答等があった場合は、メール 等で担当教員、代表教員に直ちに申し出てください。	造原授業の	Teams を使用し、	双方向通信の授業を行	テう。課題配	信の有無につい	ては、各担当都	<u>――</u> 教員からの連絡が
接業計画 接換所開外に 必要な学能 30分以上 接換所開外に 必要な学能 30分以上 2 事例を通して地域に根ざした作業療法を知る・考える ① 2		あります。出席確認	忍の方法は授業開始時	ううので、通	信の不備、質疑	芯答等があっ?	た場合は、メール
投業計画 20分以上 20分		等で担当教員、代表	麦教員に直ちに申し出	てください。		<u> </u>	
2. 事例を通して地域に根ざした作業療法を知る・考える ① 3. 事例を通して地域に根ざした作業療法を知る・考える ② 4. 地域での生活や、作業を支えるための住環境の調整 ① 5. 地域での生活や、作業を支えるための住環境の調整 ② 6. 地域での生活を支えるための社会資源と多職種連携 ① 7. 地域での生活を支えるための社会資源と多職種連携 ② 8. 作業療法に重要な社会保障制度 (介護保険制度) 9. 作業療法に重要な社会保障制度 (医療保険制度と、障害者総合支援法) 10. 地域での生活を支えるための福祉用具 ① 11. 地域での生活を支えるための福祉用具 ② 12. 住み慣れた地域で生活をするための作業療法を考える ① 13. 住み慣れた地域で生活をするための作業療法を考える ② 14. 予防作業療法について 定 期 試験 (期 末 レ ボート) 15. 総括及びフィードバック (定期試験の講評・解説) 項 ■課題・小テスト10% ■レボート 20 % ■定期試験 70 % ■備考 自身が住んでいる地域 や環境に関するレポートと課す。 「標準に関するレポートと課す 「標準に関するレポートと課す 「標準に関するレポートと説が発達している地域 「環境に関するレポート・別の提出を求めます。 「はずに関するレポート・別の提出を求めます。 「はずにしている地域 「ないましている地域 「環境に関するレポート・別の提出を求めます。 「はずに関するレポート・別の提出を求めます。 「はずに関するレポートを課す。 「はずに関するレポート・ 「はずに関するに関する 「はずに関する 「はずに表情に表し、表情に表し、大変に表情に表し、表情に表し、表情に表し、表情に表し、表情に表し、表情に表情に表情に表する。 「はずに表情に表情に表情に表情に表情に表情に表情に表情に表情に表情に表情に表情に表情に			授業計画				30 分以上
3. 事例を通して地域に根ざした作業療法を知る・考える ② 4. 地域での生活や、作業を支えるための住環境の調整 ① 5. 地域での生活や、作業を支えるための住環境の調整 ② 6. 地域での生活を支えるための社会資源と多職種連携 ① 7. 地域での生活を支えるための社会資源と多職種連携 ② 8. 作業療法に重要な社会保障制度 (介護保険制度) 9. 作業療法に重要な社会保障制度 (医療保険制度と) 10. 地域での生活を支えるための福祉用具 ① 11. 地域での生活を支えるための福祉用具 ② 12. 住み慣れた地域で生活をするための作業療法を考える ① 13. 住み慣れた地域で生活をするための作業療法を考える ② 14. 予防作業療法について 定 期 試 験 (期 末 レ ポ ー ト) 15. 総括及びフィードバック (定期診験の講評・解説) □ □ ■課題・小テスト 10% □レポート 20 % □定期診験 70 % □備考 □ □ 申訴・授業にて臨床推論を求める課題を課す □ 申が住んでいる地域 や環境に関するレポート』の提出を求めます。 □ □ 申訴・授業にて臨床推論を求める課題を課す □ 申が住んでいる地域 や環境に関するレポートを課す □ 申が住んでいる地域 や環境に関するレポート □ の提出を求めまます。 □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	1. 地域に根ざし	た作業療法の概要、	地域包括ケアシステム	について			
4. 地域での生活や、作業を支えるための住環境の調整 ①	2. 事例を通して	地域に根ざした作業	療法を知る・考える	1)			
 5. 地域での生活や、作業を支えるための仕環境の調整② 6. 地域での生活を支えるための社会資源と多職種連携③ 7. 地域での生活を支えるための社会資源と多職種連携② 8. 作業療法に重要な社会保障制度(介護保験制度) 9. 作業療法に重要な社会保障制度(医療保験制度と、障害者総合支援法) 10. 地域での生活を支えるための福祉用具① 11. 地域での生活を支えるための福祉用具② 12. 自身が住んでいる地域や環境に関するレポート』の提出を求めます。 12. 住み慣れた地域で生活をするための福祉用具② 13. 住み慣れた地域で生活をするための作業療法を考える③ 14. 予防作業療法について 定期試験(期末レポート) 15. 総括及びフィードバック(定期試験の講評・解説) 「印書、「大学にて臨床推論を求める課題を課す」を課す、「大能力」を課す、「大能 明 他」「標準作業療法学 地域作業療法学 第 4 版」を評書についる地域を環境に関するレポートを課す。 おおおいます。 おおおいます。 は続きによる。 は続きによる。 は続きのは、「大学態度など、ではます。」を課す、「大きます」を記述を課す。 はおおいます。 は対している地域を環境に関するレポートを課す。 は対します。 は対しまする。 は対しまする。 は対しまする。 は対しまする。 は対します。 は対します。 は対しまする。 はまずる。 はまずる。 はまずる。<td>3. 事例を通して</td><td>地域に根ざした作業</td><td>療法を知る・考える</td><td>2</td><td></td><td></td><td></td>	3. 事例を通して	地域に根ざした作業	療法を知る・考える	2			
 5. 地域での生活を支えるための社会資源と多職種連携 ① 7. 地域での生活を支えるための社会資源と多職種連携 ② 8. 作業療法に重要な社会保障制度 (介護保険制度) 9. 作業療法に重要な社会保障制度 (医療保険制度と、障害者総合支援法) 10. 地域での生活を支えるための福祉用具 ① 11. 地域での生活を支えるための福祉用具 ② 12. 回目の授業までに、『自身が住んでいる地域で開放で生活を支えるための福祉用具 ② 13. 住み慣れた地域で生活をするための作業療法を考える ① 14. 予防作業療法について 定期 試験 (期末レポート) 15. 総括及びフィードバック (定期試験の講評・解説) 項目 ■課題・小テスト 10% ■レポート 20 % ■定期試験 70 % ■備考 成場評価が法 準 論を求める課題を課す や環境に関するレポートを課す 自身が住んでいる地域や環境に関するレポートを課す お 適時、授業にて臨床推論を求める課題を課す トを課す 計算に関するレポートを課す 対象を課す。 対象を課す。 対応 発行年 度等 4 版 医学書院 2023 参考図書 講義内で担当教員から適宜紹介する 履修要件等 2年次までの作業療法評価学を履修していることが望ましい 	4. 地域での生活	や、作業を支えるた	めの住環境の調整 ①)			
 1. 地域での生活を支えるための社会資源と多職種連携 ② 2. 化業療法に重要な社会保障制度 (介護保険制度) 9. 作業療法に重要な社会保障制度 (医療保険制度と、障害者総合支援法) 10. 地域での生活を支えるための福祉用具 ① 11. 地域での生活を支えるための福祉用具 ② 12. 但身が住んでいる地域で果境に関するレポート』の提出を求めます。 13. 住み慣れた地域で生活をするための作業療法を考える ① 14. 予防作業療法について定期試験 (定期試験の講評・解説) 項目 ■課題・小テスト 10% ■レポート 20 % ■定期試験 70 % ■備考 成績評価方法 選時、授業にて臨床推論を求める課題を課す。 事者 タイトル 出版社 発行年表報のに判定する。 教科書 著者 タイトル 出版社 発行年表報と 第4版」を学書院 2023 参考図書 講義内で担当教員から適宜紹介する 履修要件等 2年次までの作業療法評価学を履修していることが望ましい 	5. 地域での生活	や、作業を支えるた	めの住環境の調整(2))			
 12 回目の授業までに、『自身が住んでいる地域で集積と多様種単携 ② 作業療法に重要な社会保障制度(医療保険制度) 「信力を支えるための福祉用具 ① 「自身が住んでいる地域や環境に関するレポート」の提出を求めます。 12 回目の授業までに、『自身が住んでいる地域や環境に関するレポート』の提出を求めます。 13. 住み慣れた地域で生活をするための作業療法を考える ② 14. 予防作業療法について	6. 地域での生活	を支えるための社会	資源と多職種連携 ①)			の逐行を求めま
8. 作業療法に重要な社会保障制度(介護保険制度) 9. 作業療法に重要な社会保障制度(医療保険制度と、障害者総合支援法) 10. 地域での生活を支えるための福祉用具 ① 11. 地域での生活を支えるための福祉用具 ② 12. 住み慣れた地域で生活をするための作業療法を考える ① 13. 住み慣れた地域で生活をするための作業療法を考える ② 14. 予防作業療法について 定 期 試 験 (期 末 レ ポート) 15. 総括及びフィードバック(定期試験の講評・解説)	7. 地域での生活	を支えるための社会	資源と多職種連携 ②)			ヨの極楽ナベに
 9. 作業療法に重要な社会保障制度(医療保険制度と、障害者総合支援法) 域や環境に関するレポート』の提出を求めます。 11. 地域での生活を支えるための福祉用具 ② 12. 住み慣れた地域で生活をするための作業療法を考える ① 13. 住み慣れた地域で生活をするための作業療法を考える ② 14. 予防作業療法について 定期 試験 (期 末 レ ポ ー ト) 15. 総括及びフィードバック(定期試験の講評・解説) 項目 ■課題・小テスト 10% ■レポート 20 % ■定期試験 70 % ■備考 財産・水テスト 10% 単プボートを課す はいている地域や環境に関するレポートを課す と場合的に判定する。 教科書 著者 タイトル 出版社 発行年 大熊 明 他 「標準作業療法学 地域作業療法学 第 4 版」 医学書院 2023 参考図書 講義内で担当教員から適宜紹介する 履修要件等 2年次までの作業療法評価学を履修していることが望ましい 	8. 作業療法に重	要な社会保障制度(介護保険制度)			į	
10. 地域での生活を支えるための福祉用具 ① 11. 地域での生活を支えるための福祉用具 ② 12. 住み慣れた地域で生活をするための作業療法を考える ① 13. 住み慣れた地域で生活をするための作業療法を考える ② 14. 予防作業療法について 定 期 試 験 (期 末 レ ポ ー ト) 15. 総括及びフィードバック(定期試験の講評・解説) 「項目 ■課題・小テスト 10% ■レポート 20 % ■定期試験 70 % ■備考 「基 遺時、授業にて臨床推 論を求める課題を課す トを課す トを課す お辞します。 ※合的に判定する。 教科書 著者 タイトル 出版社 発行年 大熊 明 他 「標準作業療法学 地域作業療法学 第 4 版」 医学書院 2023 参考図書 講義内で担当教員から適宜紹介する 履修要件等 2 年次までの作業療法評価学を履修していることが望ましい	9. 作業療法に重	要な社会保障制度()	医療保険制度と、障害	者総合支援法	去)		•
11. 地域での生活を支えるための福祉用具 ② 12. 住み慣れた地域で生活をするための作業療法を考える ① 13. 住み慣れた地域で生活をするための作業療法を考える ② 14. 予防作業療法について 定 期 試 験 (期 末 レ ポ ー ト) 15. 総括及びフィードバック (定期試験の講評・解説) 「類 ■課題・小テスト 10% ■レポート 20 % ■定期試験 70 % ■備考 「基 道	10. 地域での生活	を支えるための福祉	用具 ①			i	
12. 住み慣れた地域で生活をするための作業療法を考える ① 13. 住み慣れた地域で生活をするための作業療法を考える ② 14. 予防作業療法について 定 期 試 験 (期 末 レ ポ ー ト) 15. 総括及びフィードバック (定期試験の講評・解説) 項目 ■課題・小テスト 10% ■レポート 20 % ■定期試験 70 % ■備考 成練評価方法 基 適時、授業にて臨床推 自身が住んでいる地域 や環境に関するレポートを課す トを課す トを課す お験を課す。 お験を課す。 総合的に判定する。 教科書	11. 地域での生活	を支えるための福祉	用具 ②				の促出を不めよ
14. 予防作業療法について 定 期 試 験 (期 末 レ ポ ー ト) 15. 総括及びフィードバック (定期試験の講評・解説) □ □ □課題・小テスト 10% □ レポート 20 % □ 定期試験 70 % □ 備考 □ □ □課題・小テスト 10% □ レポート 20 % □ 定期試験 70 % □ 備考 □ □ □ □ 課題・小テスト 10% □ レポート 20 % □ 定期試験 70 % □ 価考 □ □ □ □ 課題・小テスト 10% □ レポート 20 % □ に期試験 70 % □ 価考 □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	12. 住み慣れた地	域で生活をするため	の作業療法を考える	1		7.0	
定期試験 (期末レポート) 15. 総括及びフィードバック (定期試験の講評・解説) □ □課題・小テスト 10% □レポート 20 % □定期試験 70 % □備考 基 適時、授業にて臨床推 論を求める課題を課す □ 申別ではんでいる地域 や環境に関するレポートを課す □ 上が一ト、授業態度など 総合的に判定する。 *** *** *** ** ** ** ** ** *	13. 住み慣れた地	域で生活をするため	の作業療法を考える	2			
15. 総括及びフィードバック(定期試験の講評・解説) □ □ □ □ □ 課題・小テスト 10% □ レポート 20 % □ 定期試験 70 % □ 備考 □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	14. 予防作業療法	について					
項目 ■課題・小テスト 10% ■レポート 20 % ■定期試験 70 % ■備考 基	定期試験(期	末レポート)				•	
成績評価方法 基準等 適時、授業にて臨床推論を求める課題を課す 自身が住んでいる地域や環境に関するレポートを課す 期末試験期間に筆記試験を課す。 レポート、授業態度など総合的に判定する。 教科書 著者 タイトル 出版社 発行年大態 明 他 「標準作業療法学 地域作業療法学 第 4 版」 医学書院 2023 参考図書 講義内で担当教員から適宜紹介する 履修要件等 2年次までの作業療法評価学を履修していることが望ましい	15. 総括及びフィ	ードバック(定期試	験の講評・解説)				
適時、授業にて臨床推 論を求める課題を課す や環境に関するレポートを課す 対験を課す。 対験を課す。 対象科書 著者 タイトル 出版社 発行年 大熊 明 他 「標準作業療法学 地域作業療法学 第 4 版」 医学書院 2023 参考図書 講義内で担当教員から適宜紹介する 2 年次までの作業療法評価学を履修していることが望ましい	項目	■課題・小テスト1	0% ■レポート 20	% = 5	定期試験 70	% ■備考	
教科書 大熊 明 他 「標準作業療法学 地域作業療法学 第 4 版」 医学書院 2023 参考図書 講義内で担当教員から適宜紹介する 履修要件等 2 年次までの作業療法評価学を履修していることが望ましい	成績評価方法		末推 や環境に関する 果す	ルポー 期			
大熊 明 他 「標準作業療法学 地域作業療法学 第 4 版」 医学書院 2023 参考図書 講義内で担当教員から適宜紹介する 履修要件等 2 年次までの作業療法評価学を履修していることが望ましい	サルイソーキャ	著者		マイトル		出版社	発行年
履修要件等 2年次までの作業療法評価学を履修していることが望ましい	型料 書	大熊 明 他	「標準作業療法学	地域作業療法	学 第4版」	医学書院	2023
	参考図書	講義内で担当教員な	から適宜紹介する			<u> </u>	
研究室 1 号館 5 階 共同研究室 オフィスアワー 毎週火曜日 12:10~13:00	履修要件等	2年次までの作業療	寮法評価学を履修してい	小ることが望	ましい		
	研究室	1号館5階共同研	开究室	オフィスア	ワー 毎週火曜	≣目 12:10~	13:00

科目No.	SRO03-3R		授業形態	演習	開講年次	3年次
授業科目名	地域作業療法	去学演習	担当教員 E-Mail	中越 雄也 y		
	専 攻	科目区	分	単位	立 数	履修期間
基本項目	作業療法学	地域・予防医学的リハ ン	ビリテーショ	必修	1 単位	後期(30h)
教員の実務経験と 授業内容の関連		達療法や予防医学的リハ 手業療法の知識と方法に			教員が、その	経験を生かして
授業内容の要約		或に関連する事例報告の 成・提出、発表、質疑応		グループ活動で	ごのディスカッ	ッションを併用し
学修目標 到達目標	2. 具体的支援策	して、地域における作業 を熟考し、質問できる して、批判的吟味をする			入を知る	
対面授業の進め方	図るために、文献	でである。 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	浦足説明資料の	作成を授業時	_	
遠隔授業の 進め方	あります。出席確	、双方向通信の授業を行 認の方法は授業開始時代 表教員に直ちに申し出	行うので、通信			
	授業計	画		授業時間外に	必要な学修	30分以上
 オリエンテー 演習の概要と 成 		ーブリックを開示する		−マに沿ったク ヽ の回答を求め		うためのアンケー
2.~4. 文献の検		2 7 7 2 5 6001.1.0	- '	*プロ日 E バ*グ	- S	
教科書の『地域作 報告の文献検索と 例:通所リハビリ	業療法の実践例』の 抄読を行う。	大項目に関連した作業が 業療法、特別支援学校、 など	文献	状検索と抄読		
		ポートフォリオの作成 文献抄録と補足説明資料	斗の作成 抄録	录と補足説明資	料の作成	
	録の発表と、質疑に 質疑応答、グループ	び答 プディスカッション	発表	長抄録に関する	質問を考えて	おく
15. 総括及び発表	長の補足(全講義の		., .			
成績評価方法 基 準 等	課題 20抄録の作成前や、 作成後に適時、該 設ける。	投録 発表用の抄録を 足説明資料、ホ オリオの作成と	よび補パートフ無	期試験 %	答、他質問状	発表と、質疑応 1学生の発表への 沈などから総合
		課す。	21.3			別定する。
教科書	大熊 明 他	タ 「標準作業療法学 地	イトル ポケギ療法学	第 4 版 :	出版社 医学書院	発行年 2023
参考図書	適宜 資料配布	"凉平计无"尔伍子 也	以下未况	<i>7</i> 77	<u></u> 区于晋阮	2020
履修要件等	地域作業療法学を	之履修済				
研究室	1 号館 5 階 共同		オフィスアワ	7一 毎週火曜	閏 12:10~	13:00

科目No.	SCP05-3R		授業形	態	実習	開講年次	3年次
授業科目名	臨床実習指	f導Ⅲ(OT)	担当 教 E-Ma		水野 貴子		
	専 攻	科目区	分		単 亿	拉 数	履修期間
基本項目	作業療法学	臨床実習			必修	1 単位	前期(30h)
教員の実務経験と	病院や施設で2	0年の臨床経験のある	教員がその紹	と験を活力	かして、臨床	末的な作業療法	生に必要な知識と
授業内容の関連	手法について請	義・指導する。					
授業内容の要約	臨床総合実習 I	で求められる目標設定	、治療立案	及び作業	療法実施に	ついて学ぶ。	
学修目標 到達目標	2. 対象者に合	末検査・測定実習で得た わせた目標・治療を適り 習 I に向けて、知識・扌	別に立案する	らことがつ	できる。		
対面授業の	講義とアクティ	ブラーニング(症例検	討、グルー	プワーク	、ディスカ	ッション、ブ	゚レゼンテーション
進め方	など)を行う。						
遠隔授業の 進め方	Microsoft office	e365 の Teams を使用し	.双方向通信	の授業を	と行う。		
	授業	計画			授業時間外に	必要な学修	30分以上
1. オリエンテーシ	/ョン、臨床検査	・測定実習の振り返り		シラバ	ス内容の確	認、実習の振	り返り
2. 卒業研究発表会	○聴講 1			要旨を	予め熟読し	ておく	
3. 卒業研究発表会	除講 2			Forms	で感想を書	<	
4. 治療実施 1 (書	字訓練、利き手	交換)		クラス	の話し合い	に参加し、意	見を出し合う
5. レクリエーショ	コン(体育祭の準	備)		クラス	全員が参加	し、協調して	取り組む
6. スポーツ活動	(体育祭) を通じ	た学生間連携・チーム	ワーク	クラス	全員が参加	し、協調して	取り組む
7. 検査・測定・活	5動計画			グルー	プで話し合	い、計画書を	作成する
8. 検査・測定・活	活動実施 1(身体	障がい分野 1)		グルー	プで役割分	担し、準備、	実施する
9. 検査・測定・活	活動実施2(身体	障がい分野 2)		グルー	プで役割分	担し、準備、	実施する
10. 検査・測定・	活動実施3(高齢	う期障がい分野)		グルー	プで役割分	担し、準備、	実施する
11. 検査・測定・	活動実施4(精神	障がい分野)		グルー	プで役割分	担し、準備、	実施する
12. 治療実施 2()	ROM 訓練、筋力	向上訓練)		クラス	の話し合い	に参加し、意	見を出し合う
13. 治療実施 3(症例からの治療 語	画と実施		クラス	の話し合い	に参加し、意	見を出し合う
14. 臨床総合実習	I 前準備 1			臨床実	習の手引き	を予め熟読し	ておく
15. 臨床総合実習	I 前準備 2			実習先	情報収集、	実習先への提	出書類作成
成績 項目	■課題・レポー	-ト 50%		■その	他 50%		
評価 基準等 方法	課題の実施状況 レポート書類等	2 その提出期限 厳守		授業へ臨む姿	の参加 勢・態度・	積極性	
教科書	作業療法学専巧	て 臨床実習の手引き	第5版、臨	末実習の	 手引き 3年	次版(別冊子	·)
参考図書	講義資料を随時	配布する					
履修要件等	「臨床実習指導	┇Ⅱ」「臨床検査・測定簿	実習」が履修	済みであ	あること。		
研究室	1 号館 4 階 第	5 研究室(水野)	オフィス	アワー	毎週水曜	日 12:10~	12:50 (水野)

		T		1	T			
科目No.		SCP08-3R		授業形態	講義	開講年次	3年次	
授業科目	名	臨床総合実	冥習 I (OT)	担当教員 E-Mai	, , , , , , , ,	京志 / 作業療法	:学専攻教員	
		専 攻	科目区	分	単	. 位 数	履修期間	
基本項目	1	作業療法学	臨床実習		必修	10 単位	後 期 (450h) 10 週間	
教員の実務経授業内容の関		導者の監督・指 実習訪問指導に	系経験を基に、実習学生が 調算を受けながら、治療の で臨床実習指導者ととも 複数の症例に対し臨床記 算する。)実践並びに、	治療の効果判別 屋し確認・指導	定を模倣できてい 算する。また、学	るかを臨床教育 生が診療の一員	
授業内容の	要約	施する。臨床の	精神障害分野、発達障害 場で対象者(児)の評価 基本的な役割を実践する	法を修得し、				
学修目榜 到達目榜	•	 対象者(児 治療計画を 	び作業療法士の機能と名 引)の評価法を修得するこ 立案し、治療を実施する を踏まえ、予後について	とができる	3	ができる		
対面授業 進め方		一般社会常識度に配慮する	っしい服装で臨むこと 覚、マナー、そして社会性 うこと。 報告や自己管理に十分活		- ,,	事者として責任感	のある行動・態	
遠隔授業進め方		価から治療計画 あります。出席	e365 の teams を使用し 近と治療プログラムの立象 確認の方法は通信開始時 員、代表教員に直ちに申し	まと実施) の打 に行うので、	是示についてに 通信の不備、	は、各担当教員か	らの連絡・指示が	
		授業	計画		授業時間	外に必要な学修	30分以上	
1分野 9 ーション ・対象者(リ 経験し、)週間 /又は 見)の 作業	の実習を実施する 訪問リハビリテー 評価を修得し、さ	を達障害分野、高齢期障害 あっこう さらに1週間は通所り ついまる かっこう おいま かっこう かいま での 実習を できらに治療計画の立案・ をまま かな 役割を 実践・経験 いて 考察する。	リハビリテ 〒う。 台療実施 を	を基に評価・	治療計画·治療等	死存の症例報告書 実施の流れをレビ 書を読んでおくこ	
	項目	□課題・小テス	ト % ロレポート	% □定期	試験 %	■その他 10	00 %	
成績評価方法	基準等					 CBT10% 実習前試験 実習中間評 臨床総合実 症例報告会 その他 10% 	価 30% 習 I 評定表 20% 20%	
教科書	<u> </u>	作業療法学事で		 、版 臨床宝	翌の毛引き9々			
マスドー			満たしていること	, 以、	□^1、1,0 0.	十00m Mn(1,1)	AT UNK	
研究室				オフィス	アワー タ	 - 担当数昌 オフィ	スアワー参昭	
训九至		各実習担当教員研究室 オフィスアワー 各担当教員 オフィスアワー参照						

科目No.	FCM08-3R					授業形	態	講	義	開講生	F次		3年次
授業科目名	形成外科学	Ż				担当参 E-Ma		首藤	敦史				
	専 攻		科	目	区	分			単位	立数		履	修期間
基本項目	言語聴覚学	臨床医:	学およて	が歯科	学			必	修	1 単	位	後	期(16h)
教員の実務経験と 授業内容の関連	医学部附属病院	および終	総合病院	どで臨	床経	験のある	教員が	、その	経験を	活かして	(講義)	よる。	
授業内容の要約	言語聴覚士の臨 「外科的治療に 科学にまたがる 観点から理解す 本授業は3年後 結果の予見・討	伴う障害 領域である。 なカリキ	害」とい あるが、 ュラム・	った 本授 • ポ!	形成。 業で リシー	外科学的がは口腔機能 一「障がい	な知識。能(咀・	が求め 嚼・嚥 こた評価	られる。 下・構 西や訓修	。これら 音)を軸 東方法を	は形成とした	外科口腔	学・口腔外外科学的な
学修目標到達目標	1. 言語聴覚士 2. 言語聴覚士 3. 言語聴覚士	として、	口腔顎	須面行	領域の	の外科的治	療に	関して	留意する		~	る。	
対面授業の 進め方	PowerPoint 12	よるスラ	イドを	中心	に講	養を行う。	必要は	に応じ	て参考	資料のフ	°リント	を配	布する。
遠隔授業の 進め方	基本的に対面授	業を行う	が、遠	隔授	業に	なった場	合は、1	teams	を使用	した授業	巻の LI Y	VE 酉	2信を行う。
	授業	計画						授業	時間外に	必要な学修	E	3	0分以上
 形成外科学総計 組織移植 外傷、熱傷、治 口唇裂、顎裂、 頭蓋、顔面、耳 頭頸部外科手術 	遺瘍 口蓋裂 耳介の先天異常 ド、手術に伴う障	害					授業	後、講	義内容	の復習を	とする。		
7. 瘢痕とケロイ													
定期試験 (期 8. 総括及びフィー			≅ 亚, <i>A</i> ⊅	≣円/			1						
8. 総括及のノイト	□課題・小テス		# · 所 ■ レポ			20%	_;+	胡試験		80%	ロその	D/H	%
成績評価方法 準 等	山林思・小)人	1. 70		内容の	の要点	京をレポ	講義		般につ	いての	U-C V	기반	/0
	著者		1		タイ	イトル	1			出版社	:		発行年
教科書	特に指定しない	`											
参考図書	平林 慎一(監	修)	標	準形	成外	科学 第	7版			医学書	完		2019
履修要件等												1	
研究室	1号館1階 非	常勤講師	腔室			オフィン	スアワ	一 授	業終了	後、質	間を受け	け付に	ける。

科目No.	FPS04-3R			授業形	態	講義	開講	年次		3年次
授業科目名	臨床心理学	<u>E</u> ∏ (S	ST)	担当 参 E-Ma		荒木 郁緒				
	専 攻		科目区	分		単位	立 数		ļ	愛修期間
基本項目	言語聴覚学	心理学				必修	1	単位	前	期(30h)
教員の実務経験と	精神科病院や地	域精神保	保健福祉での臨床	経験のあん	 る教員か		を生か	いして、	臨床	心理の基本
授業内容の関連	的な知識と手法	について	の考え方につい	て実習を	交えなか	ら講義する	0			
授業内容の要約			プローチの理解を スコーピングや多							
学修目標	1. "こころ"のあ	っり方の構	既要を理解するこ	とができ	る					
子修日標 到達目標	2. 医療従事者	として臨り	床心理学の知識を	を生かすこ	とがで	きる				
判连口标	3. 人と人との[関係の中	で何が起こり得る	ろかについ	て、考	え検討するこ	ことがつ	できる		
対面授業の	レジュメや資料	プリント	・配布による講義	形式						
進め方	(グループワー	ク・心理	アセスメントの	実習・描画	画技法の)体験を含む	<i>y</i>)			
遠隔授業の			が、遠隔授業に	なった場合	合は、te	eams を使用	した授	髪業の I	IVE	配信もしく
進め方	はstream での!	動画配信	を行う。		•					
	授業記	十画				授業時間外に	必要な学	修	;	30分以上
1. "リンショウシ	シリガク"とは?	(臨床心理	埋の歴史、制度、	資格)	復習	(レポートに	まとめ	る)		
2. "話を聴く"と	まどういうことか :	?(傾聴、	受容、共感)		復習	(レポートに	まとめ	る)		
3. 無意識の発見	(精神分析理論の)	歴史的変	遷)		復習	(レポートに	まとめ	る)		
4. 人と人との間	で起こること(転	多・逆転	移)		復習	(レポートに	まとめ	る)		
5. 認知行動療法	に学ぶ技法				復習	(レポートに	まとめ	る)		
6. ナラティヴセ	ラピー等に学ぶ技	去			復習	(レポートに	まとめ	る)		
7. "いま・ここ"(こ注意を向ける(カ	メンタラ	イジング、イメー	-ジ)	復習	(レポートに	まとめ	る)		
8. 目の前の人を	どうやって見立て	るのか?	(生涯発達の観点	点から)	復習	(レポートに	まとめ	る)		
9. "こころ"をどう	うやって見立てるの	つか? (,	心理検査、投影法	はなど)	復習	(レポートに	まとめ	る)		
10. 正常と異常の)狭間について (歴	E史、文(と、制度)		復習	(レポートに	まとめ	る)		
	分類とアプローチ				復習	(レポートに	まとめ	る)		
)分類とアプローチ	一(人格阿	章害、発達障害な	(ど)		(レポートに				
13. グループワー						(レポートに				
14. グループワー					復習	(レポートに	まとめ	る)		
	まレポート)		#=T		<u> </u>					
	アードバック (定期			000/		- A=4.	2/	w = -	h I a	100/
項目	□課題・小テス	r 0%	■レホート	30%	■定期	試験 309	%	■その	也	40%
成績評価方法 基準等			各授業の振り返 出物(レポート 価する。			ぱ験にて、授 Eを評価する				加度や受講価する。
#1 *V.+·	著者		タイト	トル	ı		出版社			発行年
教科書		l	/ジュメや配布資	料を用い	て行う					
参考図書			必要に応じてる	その都度紹	四介					
履修要件等										
研究室	1号館1階 非	常勤講師	控室	オフィス	スアワー	- 授業終了	後、質	間を受	け付	ける。

投業科目名 心理測定法 担当教員 日本	科目No.	FPS05-3R		授業形態	講義	開講年次	3年次
基本項目 言語聴覚学 心理学 心 修 1 単位 前 期 (30h) 教員の実務課題と 授業内容の限題 授業内容の限題 授業内容の限題 授業内容の限題 授業内容の限題 授業内容の限題 授業内容の限題 投業内容の限題 投業内容の限題 投業内容の限題 投業の方 (2 心理測定で得られたデータを適別に分析し、正しく解釈するための基礎を学ぶ	授業科目名	心理測定法	<u>.</u>				
数員の実務経験と 接続内容の構造 接続に必要な内容を加いた、心理制度法の基礎を学ぶ、手法や検索の種類だけではなく、それらの背後に必要な内容を加いた。		専 攻	科目区	分	単(立数	履修期間
接案内容の関連	基本項目	言語聴覚学	心理学		必修	1 単位	前 期 (30h)
到達目標 2. 心理測定で得られたデータを適切に分析し、正しく解釈するための基礎を学ぶ 演習を適宜含めながら、講義形式で行う。毎講義後に、感想や質問の提出を求める。質問の回答および編足説明は、炊の講義の最初に行う。	授業内容の要約			の基礎を学ぶ	。手法や検査の	種類だけでは	なく、それらの背
演習を適宜含めながら、講義形式で行う。毎講義後に、感想や質問の提出を求める。質問の回答および補足説別は、次の講義の最初に行う。 連め方 でわを得す遮隔接撃になった場合は、Microsoft office 365 の Teams を使用して講義を実施する。講義終了後、指定された課題を提出する。 接乗内容の復習 投業内容の復習 2 尺度: 名義尺度、順序尺度、関隔尺度、比率尺度 n 30分以上 1. イントロダクション:心理測定とは 投業内容の復習 1. イントロダクション:心理測定とは 投業内容の復習 1. イントロダクション:心理測定とは 収集内容の復習 1. イントロダクション:心理測定とは 1. イントロダクション:心理測定とは 1. イン・ログのション:心理測定とは 1. イン・ログのション:心理測定とは 1. イン・ログのション:心理測定とは 1. イン・ログのション:心理測定とは 1. イン・ログの過度法: 調整法、恒常法、標準法、調整法、恒常法、極限法、ME法 1. イン・ログの環境の選託 1. イン・ログの環境の選託 1. イン・ログの関係法、投影法 1. イン・ログの関係法、投影法 1. 日本語記述 1. 日本語記述	学修目標	1. 心理測定の	目的を理解し、検査の種類	領と内容を知	る		
進め方 び補足説明は、次の講義の最初に行う。 遠隔授業の 池め方 接終下後、指定された課題を提出する。 講義終下後、指定された課題を提出する。 接案内容の復習 2 尺度:名義尺度、順序尺度、間隔尺度、比率尺度 n 1 1 1 1 1 1 1 1 1	到達目標	2. 心理測定で	得られたデータを適切に会	分析し、正し	く解釈するため	の基礎を学ぶ	
連絡方 でいる名す道照授業になった場合は、Microsoft office 365 の Teams を使用して講義を実施する。講義終す後、指定された課題を提出する。 接業計画 接業内容の復習 30分以上 1. イントロダクション:心理測定とは 投業内容の復習 2. 尺度:名義尺度、順序尺度、間隔尺度、比率尺度 n	対面授業の	演習を適宜含め	かながら、講義形式で行う	。毎講義後に	、感想や質問の	提出を求める。	質問の回答およ
進め方 義終了後、指定された課題を提出する。 授製・開外に必要な学修 30 分以上 技業計画 授業内容の復習 2. 尺度:名義尺度、順序尺度、間隔尺度、比率尺度 n	進め方	び補足説明は、	次の講義の最初に行う。				
授業計画 授業計画 授業州外に必要が学修 30分以上 1. イントログクション:心理測定とは 授業州容の復習 2. 尺度:名義尺度、順序尺度、間隔尺度、比率尺度 n	遠隔授業の	やむを得ず遠隔	授業になった場合は、 M	icrosoft office	e 365 Ø Teams	を使用して講	奏を実施する。 講
1. イントロダクション:心理測定とは 授業内容の復習 2. 尺度:名義尺度、順序尺度、間隔尺度、比率尺度	進め方	義終了後、指定	された課題を提出する。				
2. 尺度: 名義尺度、順序尺度、間隔尺度、比率尺度		授業	計画		授業時間外に	必要な学修	30 分以上
3. 測定法:観察法、	1. イントロダク	ション:心理測定	とは	授	 受業内容の復習		1
4. 信頼性と妥当性	2. 尺度: 名義尺	度、順序尺度、間	隔尺度、比率尺度	<u> </u>	IJ		
5. 標準化とサンブリング	3. 測定法: 観察	法、面接法、検査	法、調査		IJ		
6. 精神物理学的測定法:調整法、恒常法、極限法、ME法	4. 信頼性と妥当	性			IJ		
7. 心理尺度構成法: 評定尺度法、順位法、一対比較法	5. 標準化とサン	プリング			IJ		
8. 誤差:恒常誤差、測定誤差	6. 精神物理学的	測定法:調整法、	恒常法、極限法、ME法		IJ		
9. 知能テスト: WAIS 10. 性格・人格テスト: 質問紙法、投影法 11. 記述統計: 代表値 12. 推測統計: パラメトリック検定 13. 推測統計: ノンパラメトリック検定 14. 復習と総合演習 (言語聴覚士国家試験)	7. 心理尺度構成	法: 評定尺度法、	順位法、一対比較法	i !	IJ		
10. 性格・人格テスト:質問紙法、投影法	8. 誤差:恒常護	差、測定誤差			IJ		
11. 記述統計: 代表値	9. 知能テスト:	WAIS			IJ		
12. 推測統計: パラメトリック検定	10. 性格・人格・	テスト:質問紙法、	投影法		IJ		
13. 推測統計: ノンパラメトリック検定 14. 復習と総合演習 (言語聴覚士国家試験) 定 期 試 験 15. 総括及びフィードバック (定期試験の講評・解説) 「項」 ●課題・小テスト 30% □レポート % ●定期試験 70% □その他 % 「定期試験を実施する。 授業の内容全般についての理解度を評価する。	11. 記述統計: (代表値			II.		
14. 復習と総合演習(言語聴覚士国家試験)	12. 推測統計:	パラメトリック検気	È		IJ		
定期試験 15. 総括及びフィードバック (定期試験の講評・解説) 項目 ■課題・小テスト 30% ロレポート % ■定期試験 70% ロその他 % 基準等 授業内課題を呈示する。 授業の内容全般についての理解度を評価する。 る。 著者 タイトル 出版社 発行年 特に指定しない 参考図書 履修要件等 医療統計学を復習しておくこと	13. 推測統計:	ノンパラメトリック	が検定		IJ		
15. 総括及びフィードバック(定期試験の講評・解説) □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	14. 復習と総合	寅習(言語聴覚士国	国家試験)		IJ		
水橋評価方法 車 ●課題・小テスト 30% ロレポート % ●定期試験 70% ロその他 % 基準等 投業内課題を呈示する。 授業の内容全般についての理解度を評価する。	定期試験						
成績評価方法 基準等 授業の内容全般についての理解度を評価する。 参考図書 タイトル 出版社 発行年 履修要件等 医療統計学を復習しておくこと	15. 総括及びフ	ィードバック(定期	朗試験の講評・解説)				
成績評価方法 基準等 授業内課題を呈示する。 授業の内容全般についての理解度を評価する。 教科書 著者 タイトル 出版社 発行年 特に指定しない 場合 場合 <td>項目</td> <td>■課題・小テス</td> <td>ト 30% ロレポート</td> <td>%</td> <td>定期試験 //</td> <td>70% ロその</td> <td>他 %</td>	項目	■課題・小テス	ト 30% ロレポート	%	定期試験 //	70% ロその	他 %
成績評価方法 推 準 芸者 タイトル 出版社 発行年 教科書 特に指定しない 参考図書 医療統計学を復習しておくこと				定	2期試験を実施す	⁻ る。	
第 る。 ての理解度を評価する。 教科書 著者 タイトル 出版社 発行年 特に指定しない 場合 医療統計学を復習しておくこと	成績評価方法	授業内課題を与	示す	授	受業の内容全般に	.つい	
教科書 著者 タイトル 出版社 発行年 参考図書 医療統計学を復習しておくこと		ス		7	の理解度を評価	it	
教科書 特に指定しない 参考図書 履修要件等 医療統計学を復習しておくこと							
参考図書 履修要件等 医療統計学を復習しておくこと	教科書			トル		出版社	発行年
	参考図書						
T次字 1 月始 4 階 第 4 再次字 ナファフマロ 与国 14 140 - 10 10	履修要件等	医療統計学を復	 習しておくこと		I		I
研究室 1 号館 4 階 第 4 研究室 オフィスアワー 毎週水曜日 14:40 ~ 16:10	研究室	1号館4階 第	4 研究室	オフィスア	フー 毎週水曜	望日 14:40	~ 16:10

科目No.		FSL03-3R			授業形	態 :	構義	開詞	等 年次	3年次	
授業科目名	<u>Z</u>	音響学(含	演習)		担当都 E-Ma	頃	原 邦博	≱•和	田英嗣	ī	
		専 攻		科目区	分		単位	立数		履修期間	
基本項目		言語聴覚学	音声言	語聴覚医学		业	、修	1	単位	前 期(30년	h)
教員の実務経験 授業内容の関係											
授業内容の要	要約			に関する仕事を行 Bの計算、共鳴、							圧、
学修目標 到達目標			トおよび	の計算ができる 音声知覚の手がた 関する説明ができ		⁻ る説明がて	ごきる				ļ
対面授業の	C	なにか分からな	い点があ	られば、その場で	すぐに質問	問をするこ	と。				
進め方		国試にも必須の	内容なの	つで、授業時間内	に内容を	きちんと理	解するこ	.と。			
遠隔授業の進め方)	office365 teams 進める。	s を利用	して、講義およて	ド実際の音	のデモンス	トレージ	ション	などを行	fいながら学習 	 ₹
		授業	計画			授	業時間外に	必要な言	学修	30分以上	
1. 音とは何か	か (教	好書 p.203)、 単	位の接頭	辞		復習:授	業の範囲	をまと	:める		
2. 音波の性質	質と波	足長・周期・周波	数・音速	医(教科書 p.203)		復習:授	業の範囲	をまと	:める		
3. 単振動と約	吨音、	音圧レベルと音	の大きさ	のレベル(教科書	李 p.204)	復習:授	業の範囲	をまと	める		
4. dBの計算	E (dE	BSPL ≓ Pa)				復習:授	業の範囲	をまと	:める		
5. 時間波形。	と周波	妥数スペクトル(参	科書 pp	.204~205)		復習:授	業の範囲	をまと	:める		
6. 音響管の非	共鳴(孝	教科書 pp.205~2	206)			復習:授	業の範囲	をまと	ぬる		
7. 音声生成の	の音響	舞論(教科書 pp.	207~20	8)		復習:授	業の範囲	をまと	める		
8. デジタルイ	言号处	L理(教科書 pp.20	8~209)			復習:授	業の範囲	をまと	める		
9. デジタルイ	言号处	L理(教科書 pp.20	8~209)			復習:授	業の範囲	をまと	:める		
10. サウンド	バスペ	クトログラム (教	科書 pp.2	209~210)		復習:授	業の範囲	をまと	める		
11. サウンド	「スペ	クトログラム(教	科書 pp.2	209~210)		復習:授	業の範囲	をまと	:める		
12. 母音の音	響特	性と知覚(教科書	p. 210)			復習:授	業の範囲	をまと	める		
13. 子音の音	響特	性と知覚(教科書	pp.210~	~211)		復習:授	業の範囲	をまと	こめる		
14. 超分節的	要素	の音響特徴と知覚	党(教科書	p.212)		復習:授	業の範囲	をまと	:める		
定期試験											
15. 総括及び	ドフィ	ードバック(定期	肺試験の	講評・解説)							
	項目	□課題・小テス	ト %	ロレポート	%	■定期試験	t 1	100%	ロその	他 %	
成績評価方法	基準等					筆記試験に容全般になる を評価する	ついての				
教科書		著者		タイ	、トル			出版	社	発行年	Ξ
秋 行音		大森孝一ほか		「言語聴覚士テ	キスト	第3版」		医歯薬	出版	2018	
		吉田 友敬		「言語聴覚士の音	響学入門	2 訂版」	ì	海文堂	出版	2020	1
参考図書	:	青木 直史		「ゼロからは	じめる音	響学」		講談	社	2014	:
		今泉 敏		「言語聴覚士の	うための音	響学」		医歯薬	出版	2007	

履修要件等	聴覚心理学・聴覚検査等の授業内容およ	び指数計算の方法を	を復習しておくこと
研究室	馬屋原:1号館5階第19研究室	オフィスアワー	馬屋原:毎週水曜日 12:10~13:00
柳九至.	和田:1号館5階第1共同研究室		和田:毎週火曜日 10:40~12:10

科目No.	SGR01-3R		授業形	態	講義	開講年次	3年次	
授業科目名	研究法(S	T)	担当教 E-Ma		田有紀	人 / 言語		
	専 攻	科目区	分		単位	数	履修期間	
基本項目	言語聴覚学	卒業研究			必修	1 単位	前 期(16h	1)
教員の実務経験 授業内容の関連	1 各教員が、自身	アの実務経験に沿った内容	がを研究テ	ーマとする	る学生を担	当し、卒業は	- 研究を指導する。)
授業内容の要	様々な疑問や問いく過程においの、研究の特徴	タ上げる過程において、原 問題に直面します。これは いて「研究法」は重要な位 な・研究の種類や方法・文 いと示しながら講義を進め でいます。	医学分野に 置付けとな 献検索方法	こおいても よります。 E、研究デ	。同様です。 本講義でパ ータを取り	、それら疑問 は、 言語聴 覚) 扱う上での	や問題を解決し 研究を進める上 倫理的配慮に関	てでし
学修目標 到達目標	2. 研究の種類	塩床における研究の意義、 頁・実証方法を説明できる アの設定・計画・成果を幸	5.		できる。			
対面授業の	前半6回は講	豪形式を主にディスカッ シ	/ョンも交;	えながらえ	進める。			
進め方	後半2回は研究	ピテーマに沿って各教員別	川に指導を	受ける。				
遠隔授業の		合った解説資料と課題を領			-			-
進め方	を期日までに打	旦当教員に送信する。その)送信内容	で理解度を)
		受業計画			授業時間	別外に必要な学術	多 30 分以上	
1. 言語聴覚障	害学における研究((EBM・EBPなど)			講義の内容	容を復習しん	ノートにまとめる	5。
2. 研究のデザ					H14474		ノートにまとめる	- 0
- ,,,, -,	る実証の方法、倫理						ノートにまとめる	
	進め方(テーマの設						ノートにまとめる	
	方法(抄録・学会発						ノートにまとめる	
	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	~5までの総括、小テス					ノートにまとめる	<u>5.</u>
		導のもとで計画に沿って				-	などを行う。	
		導のもとで計画に沿って ト % ロレポート	1				などを行う。	
1	■ □課題・小テス	r % 0 0 m - r	%	□定期試	尚 史	70% ロその	20他 30%	
成績評価方法	基 準 等			1~6は、 が評価す	科目担当 ⁻ る。	~ ~ `	は、卒業研究の 員が評価する。)指
教科書	著者	91	イトル			出版社	発行年	
44+	深浦順一・植日	恵 言語聴覚療法	は評価・診	新学	[医学書院	2020年	Ξ.
参考図書	福原俊一	臨床研究の道標・	第2版(上下巻)	iHope	Internation	al 2017 年	Ξ.
履修要件等							<u> </u>	
研究室	1号館5階 第	5 16 研究室	オフィス	スアワー	毎週木曜	目 12:10~	-13:00	

科目No.		SDS03-3R					授業形	態	講	義	開詞	帯 年次		3年次
授業科目	名	言語聴覚障	言言	診断学			担当 教 E-Ma	- '	髙橋	· 泰子		言語聴覚	学	事攻教員
		専 攻		科	目	区	分			単(立数			履修期間
基本項目		言語聴覚学	障害	宇学総論					必	修	1	単位	後	期(30h)
教員の実務経	験と	臨床経験のある	5教員	が臨床現場	易の現	況に	即した対応	芯の仕	方を角	解説する	。 。また	خر OSC	Eτ	は、病院勤
授業内容の関	連	務の言語聴覚言	ヒから	の評価と打	旨導を	受け	·る。							
授業内容の	要約	臨床評価実習り クリーニングを							きた専	門分野	につい	て復習る	を行	う。また、ス
学修目榜到達目榜	•	 臨床評価実 専門用語を 基礎的な知 患者様に対 	使つ、識を理	て簡潔に記理解し説明	録が でき	書ける る	3	のマナ	H&	態度を	修得す	<i>-</i> S		
対面授業 進め方		授業は、講義所 を事前に入れる を用意されたい	ること			-								
遠隔授業 進め方		原則、対面授業 間割とは異なっ 生としての礼館	った自	主的練習	を行う	こと	。また、路	床実習	図に向	けての				
		授業	計画						授業	時間外に	必要な	学修		30 分以上
1. ガイダン	′ス													
		 感染、清潔・不	潔					手洗	いの仕	 比方 子	習			
3. 移乗								車椅	<u>・</u> 子の仕	組み、	操作	b法 予	習	
4. 血圧測定	<u> </u>											引 予習		
 7サーシ 	′ョン・	トレーニング												
6. 医療面談	<u> </u>													
7. スクリー	ニンク							失語	症関連	しのスク	リーニ	ニング検	査の	 練習
8. スクリー	ニング	が検査						改訂	水飲み	検査の	練習			
9. OSCE①)							SLTA	4 の縛	習				
10. OSCE	1)							小児の	のスク	リリーニ	ングを	食査の練	習	
11. 記録の	書き方							運動	性構音	育障害 の	ンスクリ	リーング) 資査	
12. 記録の	書き方							神経	心理学	結検査	この練習	N T		
13. 臨床実習		理・運営 (リスク)	管理、	インフォ	ームト	ベコン	/セント、	神経	心理学	緒検査	で練習	3		
14. OSCE	2							神経	心理学	結検査	の練習	 ☑		
15. OSCE	2													
16. OSCE	のフィ	ードバック												
	項目	□課題・小テス	<u>۲</u>	% ■ レス	ドート		10%	□定期	非試験		%	■そのf	也	90%
成績評価方法	基準等			ドバ		たし	² フィー ンポート							見的臨床能力 回実施する。
	<u> </u>	著者			:	タイ	トル				出版社	t.		発行年
教科書		大阪河﨑リハ		実習の	手引	きす	言語聴覚学	博攻						2017

	平野哲雄他 編著	「言語聴覚療法 改訂第	塩床マニュアル 3版」	協同医書出	版社	2013
参考図書						
履修要件等	臨床基礎実習の単位	取得をしておくこと	0			
研究室	1号館5階第17研	究室	オフィスアワー	毎週火曜日 12	2:10~13	: 00

科目No.	SHB02-3R		授業形態	講義	開講年次	3年次				
授業科目名	失語・高次脈	凶機能障害学Ⅱ	担当教員 E-Mail							
	専 攻	科目区	分	単位	立数	履修期間				
基本項目	言語聴覚学	高次脳機能障害学	必修 2 単位 前期							
教員の実務経験と 授業内容の関連		よいて実務経験と研究経 法などの基本的能力を身			より、失語症	について、基本				
授業内容の要約	失語症候群の基	本概念・症状を理解し、	評価・診断の	理論・方法を学	:\$5°,					
学修目標 到達目標	2. 病巣と失語	失語症患者に対する言語聴覚士としての基本的役割を理解することができる 病巣と失語症の関連を解剖生理学的に理解することができる 失語症候群の基本概念・症状を理解し、評価・診断をすることができる								
対面授業の進め方	態度は評価対象 よる、ディスカ	斗書、その他文献をまとめたレジュメに基づき講義をすすめる。予習・復習は必ず行うこと。持 度は評価対象とする。録画、録音による視聴覚データから、症状分析、訓練立案をグループ編成 る、ディスカッション等により行う。必要な知識は小テストで確認する。その他、演習、osce を ける。授業外での検査練習は必須である。								
遠隔授業の 進め方	Teams、ストリ	ーム、課題配信等								
	授業	計画		授業時間外に必要な学修 30分以上						
失語症とは						読んでおくこと トに備えること				
2. 失語症の症状に	こついて					読んでおくこと トに備えること				
3. 失語症の周辺症	定状について		!			読んでおくこと トに備えること				
4. 自由会話からの	の失語症状の読み	取り				読んでおくこと トに備えること				
5. 失語症の類型①	0		復	習:ノートにま	とめ、小テス	読んでおくこと トに備えること				
6. 失語症の類型②	2)		復	習:ノートにま	とめ、小テス	読んでおくことトに備えること				
7. 原発性進行性生	片語		復	習:ノートにま	とめ、小テス	読んでおくことトに備えること				
8. 失語症とロゴジ	ジェンモデル		復 ²	習:ノートにま	とめ、小テス	読んでおくことトに備えること				
9. 失語症と脳解音	테		復	習:ノートにま	とめ、小テス	読んでおくこと トに備えること				
10. 失語症と画像	診断			読んでおくこと トに備えること						
11. 失語症と随伴症状(合併する高次脳機能障害) 予習:教科書の該当箇所を予め読んでは 復習:ノートにまとめ、小テストに備;										
12. 失語症と保続 予習: 教科書の該当箇所を予 復習: ノートにまとめ、小テ										
13. 失語症の評価	(スクリーニン	グ検査)				読んでおくこと トに備えること				

15	14. 失語症の	の評価	(SLTA「聴く」)				1		ープで検査 レめる	至を行う。		
16. 失語症の評価 (SLTA 「読む」)	15. 失語症の)評価	(SLTA 「話す」)				時間外に	グルー	ープで検査	至を行う。		
17. 失語症の評価 (SLTA 「書く」) 時間外にグループで検査を行う。 質問事項をまとめる。	16. 失語症の	の評価	(SLTA「読む」)				時間外にグループで検査を行う。					
18. 失語症の評価(SLTA プロフィールの読み取り①) 時間外にグループで検査を行う。 質問事項をまとめる。 時間外にグループで検査を行う。 質問事項をまとめる。 時間外にグループで検査を行う。 質問事項をまとめる。 時間外にグループで検査を行う。 質問事項をまとめる。 時間外にグループで検査を行う。 質問事項をまとめる。 日間事項をまとめる。 日間外にグループで検査を行う。 質問事項をまとめる。 日間からからがわいてが、 「日本のまとのが、	17. 失語症の	り評価	(SLTA「書く」)				時間外に	グルー	ープで検査	至を行う。		
19. 失語症の評価 (SLTA プロフィールの読み取り②)	18. 失語症の	18. 失語症の評価 (SLTA プロフィールの読み取り①)						グルー	ープで検査	至を行う。		
21. osce(自由会話とスクリーニング検査) 21. osce(自由会話とスクリーニング検査) 22. osce(自由会話と SLTA) 23. osce(自由会話と SLTA) 24. 失語症梱り下げ検査① 25. 失語症棚り下げ検査② 26. 日常コミュニケーション能力改善への方略 27. 失語症のデイリーの書き方① 28. 失語症のデイリーの書き方② 29. 失語症のデイリーの書き方② 29. 失語症のデイリーの書き方③ 定期 試験 30. 総括及びフィードバック(定期試験の講評・解説) 「東田・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	19. 失語症の	り評価	(SLTA プロフィー	ルの割	売み取り②)				,, ,	至を行う。		
22. osce(自由会話と SLTA) 23. osce(自由会話と SLTA) 24. 失語症掘り下げ検査① 25. 失語症掘り下げ検査② 26. 日常コミュニケーション能力改善への方略 27. 失語症のデイリーの書き方① 28. 失語症のデイリーの書き方② 29. 失語症のデイリーの書き方② 29. 失語症のディリーの書き方② 29. 失語症のディリーの書き方③ 定 期 軟 験 30. 総括及びフィードバック(定期試験の講評・解説) 項目 ■課題・小テスト 15% ■ osce 10% ■定期試験 70% ■その他 5% 成確確の法 基 授業内で指示するディ 検査の理解度、施行法 授業の内容全般につい 安請態度 素を評価する。 表示の理解度 素の内容全般につい 安請態度 表示の理解度 素の関係 素を評価する。 表示の理解度 素が発表 素を評価する。 表示の理解度 素が発表 表示の表がたとリハビリ 新興医学出版社 2013 表述のなどの表示の表がなとリハビリ デーション	20. osce(自)					至を行う。						
23. osce(自由会話と SLTA) 24. 失語症掘り下げ検査① 25. 失語症掘り下げ検査② 26. 日常コミュニケーション能力改善への方略 27. 失語症のデイリーの書き方① 28. 失語症のデイリーの書き方② 29. 失語症のデイリーの書き方② 29. 失語症のデイリーの書き方③ 定 期 試験 30. 総括及びフィードバック(定期試験の講評・解説) 「東日 ■課題・小テスト 15% ■ osce 10% ■定期試験 70% ■その他 5% 「成繊維価が法」 「東日 ■課題・小テスト 15% ● osce 10% ●で理解度、施行法 授業の内容全般につい ての理解度 第4年の 10分割 での理解度 10分割 10分割 10分割 10分割 10分割 10分割 10分割 10分割	21. osce(自)	由会話	 たとスクリーニング検	渣)			1		,, .	至を行う。		
24. 失語症掘り下げ検査①	22. osce(自)	由会話	EE SLTA)						,, ,	至を行う。		
24. 失語症掘り下げ検査② 質問事項をまとめる。 25. 失語症掘り下げ検査② 時間外にグループで検査を行う。 質問事項をまとめる。 26. 日常コミュニケーション能力改善への方略	23. osce(自	由会話	EE SLTA)									
26. 日常コミュニケーション能力改善への方略	24. 失語症法	屈り下	げ検査①						,, ,	至を行う。		
26. 日常コミュニケーション能力改善への方略 復習: ノートにまとめ、小テストに備えること 27. 失語症のデイリーの書き方①	25. 失語症法	屈り下	げ検査②						,, ,	至を行う。		
27. 失語症のデイリーの書き方① 復習: ノートにまとめ、小テストに備えること 28. 失語症のデイリーの書き方② デイリーを自宅で完成させて提出する。 29. 失語症のデイリーの書き方③ デイリーを自宅で完成させて提出する。 定 期 試 験 30. 総括及びフィードバック(定期試験の講評・解説) 「項目 ■課題・小テスト 15% ■ osce 10% ■定期試験 70% ■その他 5% 基 投業内で指示するデイ 均一・小テストの結果 等を評価する。 での理解度、施行法 授業の内容全般につい での理解度 「大部症 タイトル 出版社 発行年 藤田郁代(監修) 標準言語聴覚障害学「失語症学第 3 版」 医学書院 2021 参考図書 種村純(編著) 大語症 Q&A 検査結果のみかたとリハビリ 新興医学出版社 2013 履修要件等	26. 日常コミ	ミュニ	ケーション能力改善	へのナ	方略							
29. 失語症のデイリーの書き方③ デイリーを自宅で完成させて提出する。 定 期 試 験 30. 総括及びフィードバック(定期試験の講評・解説) □ □課題・小テスト 15% □ osce 10% □定期試験 70% □その他 5% 基 接業内で指示するデイ 検査の理解度、施行法 授業の内容全般につい での理解度 等 を評価する。 での理解度 での理解度 教科書 著者 タイトル 出版社 発行年 藤田郁代(監修) 標準言語聴覚障害学「失語症学第 3 版」 医学書院 2021 参考図書 種村純(編著) 失語症 Q&A 検査結果のみかたとリハビリ 新興医学出版社 2013 履修要件等	27. 失語症の	のデイ	リーの書き方①									
定 期 試 験 30. 総括及びフィードバック(定期試験の講評・解説) □ □課題・小テスト 15% □ osce 10% □定期試験 70% □その他 5% □ □ □課題・小テスト 15% □ osce 10% □定期試験 70% □その他 5% □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	28. 失語症の	のデイ	リーの書き方②				デイリーを自宅で完成させて提出する。					
30. 総括及びフィードバック (定期試験の講評・解説) 項目 ■課題・小テスト 15% ■ osce 10% ■定期試験 70% ■その他 5% 基 授業内で指示するデイ りー・小テストの結果 等を評価する。	29. 失語症の	クデイ	リーの書き方③				デイリーを自宅で完成させて提出する。					
□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	定期試験											
成績評価方法 基準等 授業内で指示するデイリー・小テストの結果 検査の理解度、施行法	30. 総括及で	ブフィ	ードバック(定期試	験の記	講評・解説)							
接案内で指示するテイ 検査の理解度、施行法 授業の内容全般につい 受講態度 での理解度 を評価する。		項目	■課題・小テスト	15%	■ osce	10%	■定期試	験	70%	■その他	5%	
教科書 藤田郁代 (監修) 標準言語聴覚障害学「失語症学第 3 版」 医学書院 2021 参考図書 種村純 (編著) 失語症 Q&A 検査結果のみかたとリハビリテーション 新興医学出版社 2013 履修要件等 2013	成績評価方法 投業内で指示するテイ 検査の埋解度、施行法 準 リー・ルテストの結果 築を評価する								一一	受講態度		
藤田郁代(監修) 標準言語聴覚障害学「失語症学第 3 版」 医学書院 2021 参考図書 種村純(編著) 失語症 Q&A 検査結果のみかたとリハビリテーション 新興医学出版社 2013 履修要件等 2013	著者タイトル						•		出)	饭社	発行年	
参考図書 種村純(編者) デーション 新興医学出版社 2013	教科書		藤田郁代(監修)	標	準言語聴覚障害	学「失語	定学第3版		医学	生	2021	
	参考以書 植村純(編著)					き果のみか					2013	
研究室 1 号館 1 階 言語聴覚学専攻長室 オフィスアワー 毎週水曜日 14:40~16:10										L		
	研究室		1号館1階 言語	恵覚学	:専攻長室	オフィン	スアワー	毎週	水曜日 1	4:40~16	: 10	

科目No.	SHB03-3R		授業形態	講義	開講年次	3年次					
授業科目名	失語・高次脈	凶機能障害学Ⅲ	担当教員 E-Mail		・芦塚 あお	V ·					
	専 攻	科目区	分	単 位 数 履修							
基本項目	言語聴覚学	高次脳機能障害学		必修	2 単位	後期(60h)					
教員の実務経験と 授業内容の関連		経験のある言語聴覚士の を を を を を を を を を を を を を を を を を を を			療、および高	次脳機能障害に					
授業内容の要約	失語・高次脳機	能障害学Ⅰ・Ⅱを基に、	評価・診断	・リハビリテーシ	ョンの理論・	方法を学ぶ					
学修目標到達目標	 スクリーニング検査を実施し、評価することができる 失語症検査を実施し、評価することができる 高次脳機能検査を実施し、評価することができる 										
対面授業の 進め方	教科書、その他文献をまとめたレジュメに基づき講義をすすめる。録画、録音による視聴覚テら、症状分析、訓練立案をグループ編成による、ディスカッション等により行う。必要な知識ストで確認する。その他、演習、osceを実施する。授業外での検査練習は必須である。										
遠隔授業の 進め方	Teams、ストリ	一厶、課題配信等									
	授業	計画		授業時間外に	必要な学修	60分以上					
1. 失語症の評価額	資習(スクリーニ	ング検査)		予習:教科書の該 复習:ノートにま							
2. 失語症の評価額	資 (標準失語症	検査プロフィールの読み即	仅り(1))	予習:失語症の類 复習:ノートにま		-					
3. 失語症の評価額	資習(標準失語症	検査プロフィールの読み即	仅り(2))	予習:失語症の類 复習:ノートにま							
4. 失語症の評価資	資習(標準失語症	検査プロフィールの読み即	∇ (3))	り③) 予習:失語症の類型、症状を把握しておく。 復習:ノートにまとめ、小テストに備えるこ							
5. 失語症の評価資	資習(実用コミュ	ニケーション能力検査)		予習:教科書の該 复習:ノートにま							
6. 失語症の評価資	資習(その他掘り	下げ検査)		予習: 教科書の該 复習: ノートにま							
7. 失語症の治療理	理論			予習:教科書の該 复習:ノートにま							
8. 失語症の訓練	立案、短期目標。	と長期目標		予習:教科書の該 复習:ノートにま							
9. 失語症の言語	5治療(治療理論	に基づく訓練法)		予習:教科書の該 复習:ノートにま							
10. 失語症の言	語治療(PACI	Ξ)		予習 : osce に備え 复習 : ノートにま	-	トに備えること					
11. 失語症の言	語治療(標準失詞	吾症検査 osce)		予習: osce に備; 复習: フィード/	-	ことを把握する。					
12. 失語症の言	語治療(標準失詞	吾症検査 osce)	=	予習 : 教科書の該 复習 : フィードバ	当箇所を予め	読んでおくこと					
13. 高次脳機能 て)	障害の評価と治	療(注意障害:全般性注意	意につい 言	予習:教科書の該 复習:ノートにま	当箇所を予め	読んでおくこと					

14 == \(\frac{1}{2}\pi \rightarrow \text{T.PV}	444VALV	立体の部件1兆なきからず	2万女子 人名贝达比(人士)		教科書の該当箇所	「を予め読ん 「な子の読ん	
14. 高次船	外发形	早春の評価と冶療 (注意 	(障害:全般性注意について	復習:	ノートにまとめ、	小テストに	備えること
15. 高次服	冰機能	障害の評価と治療(注意	意障害:方向性注意(半側空	三 予習:	教科書の該当箇所	Fを予め読ん	でおくこと
間無視①)(こつい	て)		復習:	ノートにまとめ、	小テストに	上備えること
16. 高次月	凶機能	障害の評価と治療(注)	意障害:方向性注意(半側空	芒 予習:	教科書の該当箇所	斤を予め読ん	でおくこと
間無視②)(こつい	て)		_	ノートにまとめ、		
17. 高次原		障害の評価と訓練(遂	行機能障害)		教科書の該当箇所		
					ノートにまとめ、		
18. 高次原	凶機能	障害の評価と訓練(そ	の他前頭葉症状について)		教科書の該当箇所		
					ノートにまとめ、		
19. 高次原	凶機能	障害の評価と訓練(脳	梁離断症状①)		教科書の該当箇所		
					ノートにまとめ、		
20. 高次原	凶機能	障害の評価と訓練(脳	梁離断症状(1)		教科書の該当箇所		
					ノートにまとめ、		
21. 高次原	凶機能	障害の評価と訓練(記	憶障害①)		教科書の該当箇戸 ノートにまとめ、		
					グートにまとめ、 教科書の該当箇所		
22. 高次原	凶機能	障害の評価と訓練(記	憶障害②)		以付音の成当画が ノートにまとめ、		
					教科書の該当箇所		
23. 高次原	凶機能	障害の評価と訓練(記	憶障害③)		ノートにまとめ、		
					教科書の該当箇所		
24. 高次原	凶機能	障害の評価と訓練(失	認①)		ノートにまとめ、		
					<u> </u>		
25. 高次原	凶機能	障害の評価と訓練(失	認(2)		ノートにまとめ、		
26. 高次脈	対機能	章害の評価と訓練 (地話	さい見当識障害と後方病巣に	こ 予習:	教科書の該当箇所	「を予め読ん	でおくこと
より生じる	章害)			復習:	ノートにまとめ、	小テストに	1備えること
27. 認知	士の証	価とアプローチ①		予習:	教科書の該当箇所	斤を予め読ん	<i>、</i> でおくこと
41. 单位人H7.	正り計			復習:	ノートにまとめ、	小テストに	1備えること
28. 認知	定の証	価とアプローチ②		予習:	教科書の該当箇所	Fを予め読ん	でおくこと
20. pc/AH/.	正ヘンロー			復習:	ノートにまとめ、	小テストに	上備えること
29. 認知	定の評	価とアプローチ③			教科書の該当箇別		
				復習:	ノートにまとめ、	小テストに	[備えること
		末レポート)					
30. 総括及で		ードバック(定期試験	<u> </u>				- /
	項目	■課題・小テスト 15	% ■ osce 10%	■定期記	験 70%	■その他	5%
_ b_+=== / \\	基		₩ wallender Trick	- علاصا	Li⇔ A áno = − × ·	77.2# VL-7	NT - 10 400 - 41
成績評価方法	準	授業内で指示する課	検査の理解度、施行法		内容全般につい		習取り組み態
	等	題・小テストの結果	等を評価する。	ての理解		度	
		著者	タイトル		 出版社	<u> </u> -	戏行仁
		有白	タイトル 失語症 Q&A 検査結果の	ムかたし	山水色	L.	発行年
教科書種村純(編)		大語症 Q&A 恢宜結果の リハビリテーショ		新興医学出	版社	2013	
		藤田郁代(編)	高次脳機能障害学第			『	2021
参考図書	<u> </u>	伊藤元信(編)	言語治療ハンドブッ		医歯薬出		2017
履修要件		レ かまノロロ (内間)	Deninary A 1.7.2	. /		-1/ V/A	2011
/	1 ↑		全国時首学事份長安		塚本:毎週水	:曜日 14・	<u>/0∼16 · 10</u>
研究室			コロルの元ナマスメニーオフ	ィスアワー	/%/ T · 再週//	ME H 14.	-ro 10 10

科目No.	SLD03-3R		授業形態	演習	開講年次	3年次				
77 F 1 1 1 0 .	SLD03-3K					1				
授業科目名	言語発達障	章害治療学 I	担当教員 E-Mail	大塚佳代	子 · 言語	聴覚学専攻教員				
	専 攻	科目区	分	単位	立 数	履修期間				
基本項目	言語聴覚学	言語発達障害		必修	1 単位	後期(30h)				
教員の実務経験と	言語発達障害才	大援について臨床経験のあ	る教員が、現	 見在行われている	方略、及び開	発されつつある				
授業内容の関連	支援、また課題	運について具体的内容を紹	合する。							
授業内容の要約	る。臨床場面で	華障害の中でも主に先天 で現在実施されている言語 5向性を、加えて、小児⊄	西発達障害支持	爰を具体的に示し	し、さらに開発					
学修目標 到達目標	2. 肢体不自由	言語発達障害支援の基礎知識を得る。 肢体不自由に対しての、現在の支援、将来に向けての方向性を考えさせる。 小児の発達に影響する栄養について解説する。								
対面授業の	動画で言語発達	室障害児の ST 場面を提示	これまで	学修した知識を	元に観察記録の	の作成とそれに基				
進め方	づいたディスカ	カッション等を中心に授業	を進める。							
遠隔授業の	各講義の内容は	こ沿った解説資料と課題を	上 毎回各受講	者に送信する。 名	<u>――</u> 各自がその課題	<u></u> 題に取り組んだ結				
進め方	果を期日までは	工担当教員に送信する。そ	の送信内容で	で理解度を評価し	、また各講義	への出席とする。				
	授業	計画		授業時間外に	必要な学修	30分以上				
1. 肢体不自由支	援の概要		【大塚】 請	議内容を復習し	ノートにまと	める				
2. 肢体不自由に	対する支援と取り	組み ①	【大塚】 講	議内容を復習し	ノートにまと	める				
3. 肢体不自由に	対する支援と取り	組み ②	【大塚】 請	議内容を復習し	ノートにまと	める				
4. 肢体不自由に	対する支援と取り	組み ③	【大塚】 講	議内容を復習し	ノートにまと	める				
5. 言語聴覚士のた	かかわりと位置づ	け①	【大塚】 諱	義内容を復習し	ノートにまと	める				
6. 言語聴覚士のた	かかわりと位置づ	け2	【大塚】 請	義内容を復習し	ノートにまと	める				
7. ICT 支援			【大塚】 請	義内容を復習し	ノートにまと	める				
8. 多言語児童生	徒の学習支援		【大塚】 詩	議内容を復習し	ノートにまと	める				
9. 低出生体重児				議内容を復習し	·	_				
		ーション)について		議内容を復習し						
11. 嚥下障害、紹				議内容を復習し						
12. 嚥下障害、経				議内容を復習し						
13. 栄養について				議内容を復習し						
14. 小児の発達と			【宇都宮】 請	議内容を復習し	ノートにまと	:める				
定期試験(期		,								
	1	期試験の講評・解説)		義内容を復習す		- 11 ·				
項目	□課題・小テス	ト % ロレポート		定期試験 100%		その他 %				
基				議内容及び講義						
成績評価方法 準				ことになる生涯						
等				さの内容について 上解度を評価する						
	著者	タイ 〕		cの+/又で11 リん	<u>'。</u>	発行年				
教科書	無し	21	174		ЩЛХТЬ	元11十				
参考図書	三木裕和		福祉。医療	シの連進り	リエイツかもフ	がわ 2004				
		革配の教育 祝ぶ 天成 学Iが履修済みであること		(C V/CE)/9 /	V-171201	√ N/ <u>4</u> 004				
研究室	1号館1階 非		オフィスア	'ワー 授業終	【後、質問を受					
WI ZLEE	그 기타다 기타 기		1 ~ / 1 ///	/ 以未心	区、 貝印で 3	CO 1310 '00				

科目No.	SLD04-3R		授業形態	演習	開講年次	3年次
授業科目名	言語発達障害	『治療学Ⅱ(含演習)	担当教員 E-Mail	髙橋泰子		
	専 攻	科目区	分	単位	数	履修期間
基本項目	言語聴覚学	言語発達障害		必修	2 単位	後期(60h)
教員の実務経験と	担当教員は、保	と育所、幼稚園、小・中・	特別支援学校に	こおいて巡回相	談ならびに専	門家派遣事業に
授業内容の関連	携わっている。	そこで出会う発達に障害	のある子どもた	こちの評価や指	導について説	明を行う。
授業内容の要約		浮学Ⅱ」に続き、知的能力 F、ADHD など)の発達障				
	1. 発達障害の	実際を理解できる				
学修目標		心理・教育的検査が正しく				
到達目標		心理・教育的検査の結果、				
	13 171 = 111 11	をもとに具体的な支援策を	- •,,,,			
対面授業の		問題点を明確にしていく				
進め方		後、演習を行い、検査結果	から問題点の折	田出、評価、訓	練フロクフム	の立案を行う。
		練習するのが望ましい。	月月日日 上ナ・月日で伝)	ァーケいノタ系	毛 / 江田 · 李 本 /	4分本の冷羽な行
遠隔授業の		€を行う。子どもの発達の [要、実施手順を説明した∂				
進め方		を行う。 何度も繰り返し				
		業計画	N			30分以上
					上検査の練習を	行うこと
	型IIの復習、言語				上検査の練習を	
		滞検査の概論・解説			検査の練習を	
		滞検査の解説・演習			検査の練習を	
		滞検査の解説・演習			上検査の練習を	
		滞検査の解説・演習			- 検査の練習を	
7. 国リハ式 <s·s< td=""><td>法>言語発達遅</td><td>滞検査による診断と支援力</td><td></td><td>復習ならびに</td><td>- 検査の練習を</td><td>:行うこと</td></s·s<>	法>言語発達遅	滞検査による診断と支援力		復習ならびに	- 検査の練習を	:行うこと
8. 国リハ式 <s-s< td=""><td>法>言語発達遅</td><td>滞検査による診断と支援力</td><td> 方法</td><td>復習ならびに</td><td> 上検査の練習を</td><td>行うこと</td></s-s<>	法>言語発達遅	滞検査による診断と支援力	 方法	復習ならびに	 上検査の練習を	行うこと
9. 心理・教育的認	郷と評価の方法	KABCIIの概論・解説		復習ならびに	上検査の練習を	行うこと
10. 心理・教育的	診断と評価の方法	去 KABCⅡの概論・解説	Ź	復習ならびに	上検査の練習を	行うこと
11. 心理・教育的	診断と評価の方法	法 KABCⅡの解説・演習]	復習ならびに	上検査の練習を	行うこと
12. 心理·教育的	診断と評価の方法	去 KABCⅡの解説・演習	i	復習ならびに	上検査の練習を	行うこと
13. KABCIIによ	る診断と支援方法	去		復習ならびに	上検査の練習を	行うこと
14. KABCIIによ	る診断と支援方法	去		復習ならびに	二検査の練習を	行うこと
15. 心理·教育的	診断と評価の方法	去 新版 K 式発達検査の概	既論·解説	復習ならびに	上検査の練習を	行うこと
16. 心理・教育的	診断と評価の方法	去 新版 K 式発達検査の概	既論・解説	復習ならびに	上検査の練習を	行うこと
17. 心理・教育的			電説・演習		-検査の練習を	
18. 心理・教育的			電説・演習		-検査の練習を	
19. 新版 K 式発達		-			上検査の練習を	
	検査による診断				上検査の練習を	
		ARS、DN-CAS、田中ビネ			上検査の練習を	
		ARS、DN-CAS、田中ビネ			検査の練習を	
		D支援方法(INREAL等)			上検査の練習を	
24. 言語発達障害	児・知的障害児の	D支援方法(INREAL等)		復習ならびに	上検査の練習を	行うこと

25. 自閉症児の支援方法(TEACCH、SCERTS モデル等) 復習ならびに検査の練習を行うこと										
26. 自閉症児の支援方法(TEACCH、SCERTS モデル等) 復習ならびに検査の練習を行うこと										
27. 発達障害児の言語聴覚訓練(ソーシャルスキルトレーニング等) 復習ならびに検査の練習を行うこと										
28. 発達障害児の言語聴覚訓練(ソーシャルスキルトレーニング等) 復習ならびに検査の練習を行うこと										
29. 保護者~	への指	導(ペアレントトレーニ)	ノグ等)			復習な	よらびに検査の	の練習を行	うこと	
定期試験	定期試験(期末レポート)									
30. 総括及で	バフィ	ードバック(定期試験の詞	講評・解説)							
	項目	□課題・小テスト %	ロレポート	%	■定	期試験	90%	■その他	10%	
成績評価方法	基準等				授業価す		の理解を評	授業・演習度、を評価	習の参加態 西する。	
		著者	タ	イトル			出版	社	発行年	
教科書		藤田郁代監修 玉井ふみ・深浦順一編	「標準言言語発達障	語聴覚障			医学	 事院	2021	
参考図書	参考図書 小野次朗他編著 「よくわかる発達障害」 ミネルヴァ書房 2010							2010		
履修要件	等	「言語発達障害学Ⅱ」カ	ぶ履修済みである	ことが望	ましい) _o				
研究室		1号館5階 第17研究	室	オフィス	スアワ	一	通火曜日 1	2:10~13	: 00	

科目No.	SOS01-3R		授業形態	演習	開講年次	3年次			
授業科目名	音声障害学	全 (含演習)	担当教員 E-Mail	上田有紀	人				
	専 攻	科目区	分	単位	立 数	履修期間			
基本項目	言語聴覚学	発声発語嚥下障害		必修	1 単位	前 期 (30h)			
教員の実務経験と	病院での豊富な	臨床経験を生かして、音	声障害の基本的	りな知識と病態	や訓練につい	て講義する。ま			
授業内容の関連	た講義では実際	その患者さんの音声も確認	しながら、学習	引していく。					
授業内容の要約		」・生理、発声のメカニズ。 『に関する検査、評価、訓							
	1. 発声器官の	解剖・生理、発声のメカ	ニズムが理解で	できる					
学修目標	2. 音声障害の	原因・発生機序・病態が	理解できる						
到達目標	 音声障害σ 	評価・訓練ができる							
	4. 無候頭者 <i>(</i>	代用音声の理解と訓練法	ができる						
されておかり	座学と実技を行	「う。様々なテーマに対し、	て、グループ討	論・プレゼンラ	テーションを写	実施し考察を深め			
対面授業の	る。実習や臨床	場面を想定して、種々の	障害像について	て理解し、評価	i・訓練の演習	を行う。			
進め方	特に様々な音声	障害のリハビリテーショ	ンの実技は積極	動的な態度が望	まれる。				
遠隔授業の	Microsoft office	e365 の Teams を使用し、	双方向通信の	授業を行う。這	通信の不具合等	等で参加できない			
進め方	場合は後日録画	「された動画を視聴し、内:	容についての訳	課題を実施する	ことで出席と	する。			
	授業計画		授業時間外に必要な学修 30分以上						
1. 声の特性・物理	型的特徴 型的特徴					前に調べておく。			
, , , , , ,				こ授業後にノー		_			
2. 発声発語器官の	解剖・生理			器官の解剖や新 習のために授業		oいて事前に調べ まとめる。			
3. 音声治療におけ	ける言語聴覚士の	役割		医師との連携に 受業後にノート		こ調べておく。復			
4. 音声障害の原因	3疾患		器質性や神経学的、機能性の音声障害について事前に調べておく。復習のために授業後にノートにまとめる。						
5. 検査・評価 (唯	短親察機器)		音声障害の診断に用いる喉頭の観察機器について事前に 調べておく。復習のために授業後にノートにまとめる。						
6. 検査・評価(期	· 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一)	GRBAS 尺度について事前に調べておく。復習のために 授業後にノートにまとめる。						
7. 検査・評価 (系)	& 吉機能烧本。立	墾公	発声機能検査や音響分析について事前に調べておく。復						
1. 1天旦、竹Щ(オ	山川水川以大田。 目	E/J'VI/	習のために授業後にノートにまとめる。						
8. 音声治療の原理	E		運動学習理論と神経可逆性の原理について事前に調べて おく。復習のために授業後にノートにまとめる。						
9. 音声訓練の実際	Ž		間接訓練と正		ヽて事前に調^	でておく。復習の			
10. 声の衛生指導			1			、。復習のために			
10. / 7/附上1日守			授業後にノー	ートにまとめる) ₀				
11. 心因性発声障	害•痙攣性発声障	章害の理解		性発声障害に 業後にノートに		調べておく。復習			
12. 音声障害の薬	物治療・音声障害	手の手術的アプローチ	音声障害の薬物療法や音声外科について事前に調べてお く。復習のために授業後にノートにまとめる。						
13. 気管切開と気	管カニューレ		気管切開とス	カニューレにつこ授業後にノー	かいて事前に調	べておく。			
				リスポタにノ	コーチにいる	0			

14.	喉頭摘出と無喉頭音声の理解と実際	

喉頭摘出と無喉頭音声の種類について事前に調べてお く。復習のために授業後にノートにまとめる。

定期試験(期末レポート)

15. 総括及で	ゾフィ	ードバック(定期試験の)講評	ヹ・解説)					
	項目	■課題・小テスト 109	%	■授業態度 ·	出席 20%	■定類	期試験	70%	
成績評価方法	基準等	授業内に小テストを実 し、授業の内容につい の理解度を評価する。		出席の有無積極的な参加を評価する	や授業中の 加、聴講姿 評価する。第			定施する。授業の ついての理解度を E期試験について を合格とする。	
		著書			タイトル			出版社	発行年
教科書		苅安誠ほか	Γį	言語聴覚療法:	シリーズ 14 障害」	改訂	音声	建帛社	2012
<u> </u>	-	城本修ほか	ΓS	ST のための音	声障害診療	マニュ	アル」	インテルナ出版	2008
参考図書 日本音声言語医学会 「新編 声の検査法」 医歯薬出版						2009			
履修要件	等	音声言語聴覚医学I、	Ⅱが	履修済である	ことが望まし	い。			
研究室 1 号館 5 階 第 16 研究室 オフィスアワー 毎週木曜日 12:10~13:00									

科目No. SO	OS02-3R		授業形態	講義	開講年次	3年次				
授業科目名	戈人系発記	등 記 記 記 記 記 記 記	担当教員 E-Mail	和田英嗣						
	専 攻	科目区	分	単位	拉 数	履修期間				
基本項目	言語聴覚学	発声発語嚥下障害		必修	2 単位	前 期 (46h)				
		床経験のある教員が、その			成メカニズム	や運動障害性構				
		それらの評価・訓練につい								
言 授業内容の要約 部 検	言語聴覚士とし 川・生理、運動	ラム・ポリシーである「ル ての専門知識・臨床技術を 障害性構音障害(ディサー 練法の習得を目指す。また 理解する。	を総合的に理能 ースリア)をも	解する」ための利 きたす疾患・発生	科目である。	巻声発語器官の解 を理解し、種々の				
学修目標 2. 到達目標 3.	. 運動障害性 . 検査・評価	発声発語器官の解剖・生理、構音のメカニズムが理解できる 運動障害性構音障害の原因疾患・病態・タイプ分類が理解できる 検査・評価・タイプ別訓練法の理解・診断ができる 訓練プログラムの立案と実施ができる								
対面授業の施力	直していく。 ま	学と実技を行う。発声発語のメカニズムを理解した上で、実技を交えながら検査の演習や訓練を していく。また、様々なテーマについて質疑応答やグループ討論を実施する。各講義の後半には 返りのために小テストを実施し、復習や試験対策に活用してもらう。								
遠隔授業の M	licrosoft office	e365の Teams を使用し、	双方向通信の)授業を行う。 道	通信の不具合等	等で参加できない				
進め方場	場合は後日録画	iされた動画を視聴し、内容	容についての	課題を実施する	ことで出席と	する。				
	授業記	計画		授業時間外に	必要な学修	30分以上				
1. 音声言語 (話しこ	とば)の生成	について (p26~43)	音	声言語、発声発記	語器官の解剖	・生理について事				
発声発語器官の解	解剖・生理につ	かて	前	に調べておく。	授業後にノー	トにまとめる。				
2. 発話機構 (呼吸·	発声・構音)	について (p44~57)		話機構(呼吸・う ておく。授業後		こついて事前に調 とめる。				
3. ことばの音の性質	・神経機構に	ついて (p58~83)	i	とばの音の性質 おく。授業後に		oいて事前に調べ める。				
4. 構音障害の概要(声・構音・プ	ロソディの障害)(p101~	-105)	音障害の概要に にノートにまと		調べておく。授業				
5. 痙性・弛緩性ディ	サースリアに	ついて (p86~92、106~	109) :	性・弛緩性ディサ おく。授業後に		oいて事前に調べ める。				
6. 失調性•運動低下性	ディサースリ	アについて (p93~95、110)∼113) ¦			ースリアについて ートにまとめる。				
7. 運動過多性・混合 114)	性ディサース	リアについて (p95~100	•	動過多性・混合性調べておく。 授		リアについて事前 にまとめる。				
·	おけるタイプ	分類のまとめ(p221 ~22	4) デ		おけるタイプ	プ分類について事				
		および情報収集について (p122~127、142~145)	検 ク 授	査・診断・評価の リーニング検査 業後にノートに	の流れ、問診 <i>別</i> について事前 まとめる。	ひ情報収集、ス に調べておく。				
10. ことばの音の評価 188~201、216~	の音の評価、発声発語器官の評価について($p146\sim175$ 、ことばの音の評価、発声発語器官の評価について 01 、 $216\sim221$) 事前に調べておく。授業後にノートにまとめる。									
11. 標準ディサースリ	リア検査の概要	fi C	i	準ディサースリ べておく。授業		について事前に まとめる。				

12. 標準デ	ィサー	スリア検査の演習				標準ディサースリア検査のマニュアルを参考に 手順を練習する。					
									トの輝更	につい	 ア東前
13. 標準失調	吾症検	査補助テストの概要	更			標準失語症検査補助テストの概要について事前 に調べておく。授業後にノートにまとめる。					
						標準失語症検査補助テストのマニュアルを参考					
14. 標準失語	吾症検	査補助テストの演習				に手順を練習する。					
								別訓練法	こついて	事前に	調べて
15. 機能訓除	東、タ	イプ別訓練法につい	ハて (k	$0264 \sim 273$				ノートにま			,, .
						粗大運動	力、構音動	動作、プロ	ソディに	ついて	事前に
16. 粗大運動、構音動作、プロソディについて(p274~314						調べてお	さく。授	業後にノー	-トにまと	こめる。	
1月 - 海洲一	, n	2 11 21 A + 0 12 H =				標準ディ	ィサース	リア検査に	こついて	事前に	練習し
17. 標準ディサースリア検査の実技試験						ておく。	試験後	に自ら振り	返りを行	す う。	
10 播潍井章						標準失調	E 症検査	補助テス	トについ	て事前	に練習
18. 徐华大的	18. 標準失語症検査補助テストの実技試験					しておく	、試験	後に自ら振	り返りを	行う。	
10 空間里子(新面併監) 字羽口社の佐代						症例につ	ついて動	画を視聴し	て、授業	後に実	習日誌
19. 症例提示(動画供覧)、実習日誌の作成						を作成す	る。				
20 まとめ	計論	範囲のポイントに~	ついて			まとめ、	試験範囲	囲のポイン	トについ	て授業	後にノ
20. 200	叶响大		JV · C			ートにす	ミとめる。)			
21. 症例検討	寸					症例検討	がこつい	て授業後に	ノートは	こまとと	かる。
22 宝技試験	かつ フ	イードバック				実技試験のフィードバックについて授業後にノ					後にノ
						ートにす	ミとめる。)			
定期試験	(期	末レポート)									
23. 総括及で	バフィ	ードバック(定期記	式験の記	講評・解説)					Г		
	項目	■ 課題 10%		■ 実技試験	10%	■ 定期記	式験	70%	■ その	他	10%
	基	授業内に課題を実		検査内容や方法	またつい			について	出席の	有無や	授業中
成績評価方法	準	し、授業の内容に	つい	て理解及び習得		の理解原	ぎを評価	する。定	の積極		
	等	ての理解度を評価	す	るかを評価する		期試験に	こついて	は、6割	いて評		
	4	る。		のなって計画する	, o	以上を台	格とす	る。	V · CHT	ш у О	0
教科書		著者		タ.	イトル			出版	社	発	行年
廣瀬肇ほか 「言語聴覚士のための運動障				運動障害	性構音障	害学」	医歯薬	出版	2	001	
参考図書 益田慎ほか 発声発語・摂食嚥下の解				嚥下の解	剖・生理学	<u> </u>	メジカル	ビュー	2	022	
西尾正輝 「ディサースリア臨床標準テ					末標準テ:	キスト」第	92版	医歯薬	出版	2	022
履修要件等 音声言語聴覚医学Ⅰ、Ⅱが履修済であることが望					ことが望	ましい	T				
研究室		1号館5階第1共	;同研究	室	オフィ	· スアワー 毎週火曜日 10:40 ~ 12:10					Э

科目No.	SOS03-3R		授業形態	講義	開講年次	3年次			
授業科目名	摂食嚥下	障害学(含演習)	担当教員 E-Mail	上田 有紀力	・和田英嗣	<u> </u>			
	専 攻	科目区	<u>分</u>	単位	拉 数	履修期間			
基本項目	言語聴覚学	発声発語嚥下障害		必修	2 単位	後期(46h)			
教員の実務経験と 授業内容の関連		訪問での臨床経験のある の評価や訓練、対応方法			、摂食嚥下の	基本的な知識や			
授業内容の要約	し、言語聴覚 に関わる諸器 理解し、摂食	デュラム・ポリシーである 対士としての専門知識・臨 器官と摂食・嚥下のメカニ 、嚥下障害の評価・訓練、 など)、気管吸引、他職種	床技術を総合的 ズム、及び摂り 食事指導、摂食	的に理解する」 食嚥下障害の原 ・嚥下機能に影	ための科目で で因疾患、種々	である。摂食嚥下 ・の病態について			
学修目標 到達目標	 摂食嚥下 種々の摂 	に関わる器官の解剖・生理障害の原因、病態について 食嚥下機能検査について特 で書の訓練や代償法について	て理解できる 寺性、適応、技	法、解析方法		価できる			
対面授業の 進め方	について考察	と交えながら行う。また、 琴し、実習や臨床場面での 態診器などを使用する。知	知識の活用に行		支では、スト _ッ	プウォッチやペ			
遠隔授業の 進め方		ice365 の Teams を使用し は録画された動画を視聴し							
	授業	計画		授業時間外に必	要な学修	30分以上			
1. 摂食嚥下に関	わる器官の解剖	1]		下器官の解剖に		こ調べておく。			
2. 摂食嚥下・呼	吸機能の生理			摂食嚥下・呼吸機能の生理について事前に調べてお く。授業後にノートにまとめる。					
3. 摂食嚥下の神	経機構			下の神経機構に にノートにま と		ご調べておく。			
4. 摂食嚥下の年	齡的変化			下の年齢的変化にノートにまる		がに調べておく。			
5. 摂食嚥下の症 神経疾患の摂				下の症状、神経調べておく。持		下障害について 、にまとめる。			
6. 器質性の摂食でその他の摂食の				D摂食嚥下障害、 問べておく。授業		熊下障害について まとめる。			
7. 摂食嚥下障害 言語聴覚士が	の合併症 単独で行える権	資		下障害の合併症		がに調べておく。			
8. 言語聴覚士が	単独で行える権	金の実技練習		言語聴覚士が単独で行える検について事前に調べ ておく。授業後にノートにまとめる。					
9. 嚥下造影検査	(VF) の概要	と読影		嚥下造影検査について事前に調べておく。授業後に ノートにまとめる。					

10. 嚥下内存		査(VE)の概要と 法	読景		- 1			、その他の検注 業後にノート(
11. 言語聴覚	亡士が	i単独で行える検査の	の実	技試験①	- 1	諸検査について事前に練習しておく。試験後に自ら 振り返りを行う。					
12. 言語聴覚	生か	『単独で行える検査の	の実	技試験②		諸検査について事前に練習しておく。試験後に自ら 振り返りを行う。					
13. 間接的嚥下訓練①					- 1	間接的嚥下		について事前! める。	こ調べて:	おく。授業後	
14. 間接的噸	扩訓	練2				間接的嚥下		について事前! める。	こ調べて:	おく。授業後	
15. 直接的赚	扩訓	練 ①			1	直接的嚥下		について事前! める。	こ調べて:	おく。授業後	
16. 直接的赚	転下訓				1	直接的嚥下		について事前! める。	こ調べて:	 おく。授業後	
17. 嚥下障害 代替栄養		術的治療		1			的治療、代替学 業後にノート(
18. 気管切開 国家試								管理について にまとめる。	事前に調	べておく。	
19. 喀痰吸引の概要と実施方法				i			と実施方法に ノートにまと		事前に調べて		
20. 喀痰吸引	の実	技			- 1			について事前(にまとめる。	こ調べて	おく。	
21. まとめ、	試験	範囲のポイントに~	OV`	(1)		まとめ、試験範囲のポイントについて、授業後に ノートにまとめる。					
22. まとめ、	試験	範囲のポイントに~	つい	(2)	- 1	まとめ、試験範囲のポイントについて、授業後に ノートにまとめる。					
		末レポート)			1						
23. 総括及び		ードバック(定期			100/	4-€n4+±>	田公	700/	7.04	h 100	
成績評価方法	基準等	■課題・小テスト1 授業内に小テスト を実施し、授業の 容についての理解 度を評価する。	内	■レホート レポートを授業 する。与えられ を講義内容と終 く考察している を評価する。	た課題 Sめて深	選 授業の内容金 の理解度を記 期試験につい		¥価する。 定		<u>109</u> 有無や授業 極的な参加 て評価する。	
<u>.</u>		著者		ター	イトル			出版社	Ł	発行年	
教科書		倉智雅子	Γţ	言語聴覚士のたる	めの摂食	・ 嚥下障害	学」	医歯薬出	版	2013	
参考図書		聖隷嚥下チーム		「嚥下障害ポク	「ットマ	ニュアル」		医歯薬出	出版	2018	
		才藤栄一		「摂食嚥下リバ				医歯薬出		2016	
履修要件等	生	音声言語聴覚医学			・形成タ	科学・臨床					
研究室		和田:1号館5階 上田:1号館5階			オフィ	スアワー		田:毎週火曜日 田:毎週木曜日			

科目No.	SOS04-3R		授業形態	演習	開講年次	3年次			
授業科目名	小児系発話	障害学 I	担当教員 E-Mail	髙橋 泰子					
	専 攻	科目区	分	単位	立数	履修期間			
基本項目	言語聴覚学	発声発語嚥下障害		必修	1 単位	前 期 (30h)			
教員の実務経験と		をクリニックや幼稚園・	小学校等で行っ	ている。実際	に行っている	臨床の評価と指			
授業内容の関連	導について解説	を行う。							
授業内容の要約		学外科学」等の専門基礎分 書の診断、指導法について							
学修目標	1. 構音検査を3	Eしく実施できる	4.	構音指導がて	ごきる				
字修日標 到達目標	2. IPA を使って	て誤り構音が表記できる	5.	誤り構音が分	ができる				
判廷日保	3. 構音評価がて	できる							
生生を集り	授業は、座学と	演習をまじえて進める。							
対面授業の進め方	演習時には、鼻	息鏡、ペンライト、手鏡	を持参すること						
進め刀	また、学生同士	で練習するので、授業前	に口腔内の清拭	をしておくこ	. Ł				
遠隔授業の	遠隔授業を要す	る場合は、Office365 Tea	ms にて授業を	行う。リモー	トでも、受講	者各自で鼻息鏡、			
進め方	ペンライト、手	鏡を用意し、自己で演習	を行うのが望ま	こしい。					
上(7)7	また、自分の口	腔を見ながら演習するが、	、家族の協力が	得られると望	ましい。				
	授業計	一画		授業時間外に	必要な学修	30分以上			
1. 日本語構音の音	音声学 音声表記法	去	IPA	の復習					
2. 日本語構音の音	音声学 音声表記法	去	IPA	の復習					
3. 発声発語器官の)形態・機能とその	の異常	頭頸	部の機能解剖	の復習				
4. 機能性構音障害	手の検査		ے	「ことばのテストえほん」の検査練習					
5. 機能性構音障害	手の検査		「構	「構音検査」の検査練習					
6. 機能性構音障害	手の検査		諸検査が実施できるように練習する						
7. 機能性構音障害	手の診断		構音	構音障害の音声 CD を聴いて IPA で表記する					
8. 機能性構音障害	手の診断		構音	構音障害の音声 CD を聴いて IPA で表記する					
9. 口腔機能の訓練	捷法		訓練	訓練の実施練習					
10. 口腔機能の訓	練法		訓練	で実施練習					
11. 小児の構音障	害児の指導		事例	についての学	習				
12. 小児の構音障	害児の指導		事例	について学習	1				
13. 小児の構音障	害児の指導		事例	について学習	1				
14. 教材作成法			時間	内にできなか	ったものを完	成させる			
定期試験(期	末レポート)		,						
15. 総括及びフィ	ードバック(定期	試験の講評・解説)							
項目	□課題・小テス]	ト % ロレポート	% ■定算	期試験 90	% ■ その	他 10 %			
成績評価方法 準 等				内容について を評価する。	の理 授業へ評価す	への参加、理解を			
			ル 出版社 発行						
******	著者	タイト	トル		出版社	発行年			
教科書	著者本間慎治編著	タイト 「機能性構音			出版社 建帛社	発行年 2007			

履修要件等	「音声学」「言語発達学」が履修済みでも	あることが望ましい	。日本語構音表記を IPA でできる。
研究室	1号館5階第17研究室	オフィスアワー	毎週火曜日 12:10~13:00

科目No.	SOS05-3R		授業形態	講義	開講年次	3年次				
授業科目名	成人系発	話障害学Ⅱ	担当教員 E-Mail	上田 有紀力	・和田英嗣	ii				
	専 攻	科 目 区	分	単位	立数	履修期間				
基本項目	言語聴覚学	発声発語嚥下障害		必修	1 単位	後 期 (16h)				
教員の実務経験と 授業内容の関連)臨床経験のある教員が、 っの評価・訓練について講		かして頭頸部か	ぶんの概要や器	質性構音障害の				
授業内容の要約	し、言語聴覚 音障害の中で 当然だが歯科	テュラム・ポリシーである 全士としての専門知識・臨 でも成人の口腔・中咽頭が 科との連携も必要不可欠と ST として特化した知識	床技術を総合は んの内容を中かなってくるたと	的に理解する」 ひに行う。 頭頸 め、疾患と歯学	ための科目で 部がんの患者 的・補綴的沿	がある。器質性構 がに対して医師は 療に関する基礎				
学修目標到達目標	2. 器質性構	頭頸部がんの種類や治療内容が理解できる。 器質性構音障害の病態・特徴が理解できる。 検査・評価・訓練の理解・技法ができる。								
対面授業の進め方	ついて質疑点	座学と実技を行う。実技を交えながら検査の演習や訓練を実施していく。また、様々なテーマについて質疑応答やグループ討論を実施する。各講義の後半には振り返りのためにプリントを実施し、復習や試験勉強に活用してもらう。								
遠隔授業の進め方		ice365 の Teams を使用し 最調された動画を視聴し								
	授業	計画		授業時間外に	必要な学修	30分以上				
1. 器質性構音障	害に関わる解剖	りと生理	1 .	器質性構音障害に関わる解剖と生理について 事前に調べておく。授業後にノートにまとめる						
2. 器質性構音障	害の特徴			器質性構音障害の特徴について事前に調べてお く。授業後にノートにまとめる。						
3. 器質性構音障	害の評価		' '	器質性構音障害の評価について事前に調べてお く。授業後にノートにまとめる。						
4. 器質性構音障	害の治療と訓練	ŧ		器質性構音障害の治療と訓練について事前に 調べておく。授業後にノートにまとめる。						
5. 症例検討①				質性構音障害に ノートにまとめ		ておく。授業後				
6. 症例検討②			' '	賃性構音障害に ノートにまとめ		ておく。授業後				
7. まとめ、試験	範囲のポイント	たついて		まとめ、試験範囲のポイントについて、授業後 にノートにまとめる。						
定期試験(期	末レポー	F)								
8. 総括及びフィ	ードバック(気	三期試験の講評・解説)								

	項目	■課題・小テスト	10%	■レポート	10%	■定期試	験	70%	■その他	也 10%
成績評価方法	基準等	施し、授業の内容に	受業内に小テストを実 施し、授業の内容につい		を講義 会考察 を評価	理解度を	評価する。	る。定期試験		有無や授業中の は参加について る。
		著者			タイトル			出片	反社	発行年
教科書	教科書 道 健一			言語聴覚士のための臨床歯科医学・口腔外科学 -器質性構音障害 第2版				医歯薬出版		2016
参考図書	:	溝尻源太郎	口腔	空・中咽頭がんの	のリハビリテーション			医歯薬出版		2000
沙竹四目		熊倉勇美	*樟	青音障害、摂食	• 嚥下障害	F *		区图来山灰		2000
履修要件等	等	「口腔外科学」「問	塩床歯	科学」「形成外	科学」が	履修済みて	であること	こが望まし	_V \。	
研究室		和田:1号館5階	第	1 共同研究室	オフィ	スアロー	和田:每	5週火曜1	∃ 10:	40~12:10
研究室 上田:1号館		上田:1号館5階	第	16 研究室	オフィスアワー		上田:每	- 毎週木曜日 12:10		10~13:00

科目No.	SOS06-3R	l			授	業形態	講義	開講年	次	3年次		
授業科目名	小児系	発話障害	[学Ⅱ			l当教員 -Mail	髙橋泰	子	,			
	専 攻	ά	科	目目	区 分		単	位数		履修期間		
基本項目	言語聴覚:	学 発声	発語嚥下障	管害			必修	1 単位	<u>立</u>	後 期 (30h)		
教員の実務経験。 授業内容の関連	と 口唇口蓋裂 く。	製に伴う構音	暗害の指	導を行	亍ってき;	た。その約	- 怪験に基づき	、本科目の	授業を	解説してい		
授業内容の要給	図を伴った ことが望ま	言語障害に	こついて解	説する	るため、	口腔外科	学」「形成外	科学」「臨床		の口唇裂・口蓋学」を受講する		
学修目標 到達目標	2. 器質的	アプローチ 構音障害の 構音障害の	言語評価次	ができ	る	習得する	得することができる					
対面授業の	座学と演習	をまじえた	上講義を行	う。す	また、小	テストを行	毎回実施する	0				
進め方	専門基礎分	分野の関係科	料目の知識	と統合	合しなが	ら受講され	たい。					
遠隔授業の進め方	また、「歯	科学」、「形	成外科学」	等の	専門基礎	、口腔を動かすなどの演習を一人でも行ってほしい。 基礎分野の復習をしておくのが望ましい。 解を促しておくことが望ましい。						
		受業計画					授業時間外	に必要な学修		30分以上		
1. 口蓋裂治療/	おけるチームアプローチ 2pp											
2. 口蓋裂の言語	語席床に必要な	基礎知識	18-21pp			前	回の講義の復	習 (小テス	トを実	施する)		
3. 口蓋裂の言語	語席床に必要な	基礎知識	18-21pp			前	回の講義の復	習 (小テス	トを実	施する)		
4. 口唇口蓋裂の	D発生機序 3-	11pp				前回	回の講義の復	習(小テス	トを実	施する)		
5. 言語発達(株	舞音・声)、構音	音障害の分類	類 23-35pp)		前回	回の講義の復	習(小テス	トを実	施する)		
6. 構音障害の分	}類、構音障害	の内容 23-3	З5рр			前回	前回の講義の復習(小テストを実施する)					
7. 言語臨床にお	おける検査・評	価 36-48p	pp			前回	前回の講義の復習(小テストを実施する)					
8. 言語臨床にお	おける検査・評	価 36-48p	pp			前	前回の講義の復習(小テストを実施する)					
9. 外科治療・补		治療 50-6	Зрр			前	前回の講義の復習(小テストを実施する)					
10. 外科治療·	補啜治療・言語	吾治療 50-	63pp			前回	回の講義の復	習(小テス	トを実	施する)		
11. 口唇裂・口	蓋裂を伴う疾患	∄ 69-71pp)			前回	回の講義の復	習(小テス	トを実	施する)		
12. 訓練の方法						前回	回の講義の復	習(小テス	トを実	施する)		
13. 訓練の方法						前回	回の講義の復	習(小テス	トを実	施する)		
14. 過去の国家	試験を解く					前回	回の講義の復	習(小テス	トを実	施する)		
定期試験(期末レポー	- F)										
15. 総括及びフ	ィードバック	(定期試験の	の講評・ 解	雜()								
項	■課題・小	テスト 10%	′6 ロレボ	ニート	(% ■定	期試験 909	%	ロその	他 %		
成績評価方法	生 するための	美内容の復習 シ小テストを ぎ施する。			国家試験レベルの選択問 題および記述式問題。							
対ない事	著者		•		タイトノ	·				発行年		
教科書	斉藤裕恵は	Eカゝ 「	言語聴覚療	繁法シ	リーズ 8	3 器質性構音障害」 建帛社 2003				2003		
参考図書	夏目長門編	i i				かの基礎知 空外科学」	口哉	医学書	院	2016		

履修要件等	「小児系発話障害学 I 」「口腔外科学」「 い。	臨床歯科学」「形成	外科学」が履修済みであることが望まし
研究室	1号館5階 第17研究室	オフィスアワー	毎週火曜日 12:10~13:00

科目No.	SOS07-3R		授業形態	講義	開講年次	3	年次			
授業科目名	流暢性障害	学	担当教員 E-Mail		• 久保田	功				
	専 攻	科 目 区	分	単 位	数	履	修期間			
基本項目	言語聴覚学	発声発語嚥下障害		必修	1 単位	後其	月(16h)			
教員の実務経験 授業内容の関連	- 上吃音児の臨床経	S験 がある教員が、症例の	紹介をしなか	ぶら非流暢性障害	こついて解説	する。				
授業内容の要約	行 ┃	、ムを理解し、検査、評価 全似体験と事例を通じて、「				ō				
学修目標 到達目標	 吃音の検査、 治療法・支援 	吃音のメカニズムが説明できる。 吃音の検査、評価ができる。 治療法・支援法の立案ができる。 吃音を包括的に理解し、適切な支援の在り方を立案できる								
対面授業の		(学習 (座学) と吃音の疑		· · · · · ·						
進め方		心に、検査の選定、評価								
遠隔授業の				(実験)を行う。実験は、各自でPCを用いて行う。						
進め方		心に、検査の選定、評価	の住方、支援			1				
	授業			授業時間外に	公要な学修	30	分以上			
		発生と原因論、分類、進展		出去の国家試験問題						
·	の流れ―検査、評価、		<u> </u>	去の国家試験問題						
		演習)、訓練・治療法	D	AF の実験データ	'を分析・考察	とする				
,	実際:プロローグ	tte utuda								
·	実際:学童期・思春			事例の評価・分析・訓練プログラムの立案						
	実際:青年期・成人			事例の評価・分析・訓練プログラムの立案 事例の評価・分析・訓練プログラムの立案						
		塩床を考える(ディスカッ	ション) 事	例の評価・分析	訓練プログラ	400立案	2			
	脚末レポート									
, ,,	イードバック(定期	1	0/		00/ - 7-00	/ıh	0/			
		ト 10% ロレポート	% =	定期試験 9	0% ロその	lfr	%			
成績評価方法 注	生 準 する	を評価		業内容について。 比解度を評価する	カ					
	著者		タイトル		出版社	t	発行年			
教科書	小林宏明•川合約編著	「シリーズきこ 特別」 吃音・流暢性障害の	支教育におけ	る	学苑社	±	2013			
参考図書	松本治雄·後上 編著	(言語障害 事例	列による用語	解説 第2版」	ナカニシヤ	ア出版	2000			
	都築澄夫 編著	「言語聴覚療法法	ンリーズ 13	13 改訂 吃音」 建帛社 2008						
履修要件等		「臨床心理学」が履修済み		ことが望ましい。						
研究室	1号館5階第	17 研究室	オフィスア	7ィスアワー 毎週火曜日 12:10~13:00						

科目No.		SHD05-3R		授業形態	演習	開講年	次	3年次		
授業科目	名	補聴器・人コ	二内耳(含演習)	担当教員 E-Mail	, ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	 博				
		専 攻	科目区	分	単	位数		履修期間		
基本項目		言語聴覚学	聴覚障害		必修	1 単	位 自	前期(30h)		
教員の実務経 授業内容の関		障害者福祉施設 を行う。	で言語聴覚士として勤務	した経験から	う、聴覚補償機	器および福	祉用具	について授業		
授業内容の	要約	補聴器の種類や を深める。	原理、補聴器特性測定装	置の使い方、	方、フィッティング方法、人工内耳等について理解					
学修目標 到達目標		2. 補聴装用効果	ィッティング方法につい 果や補聴器特性の測定が [・] 京理や調整について理解・	できる	' イッティングカ	できる				
対面授業の 進め方	カ	講義と実際に補	1聴器を扱いながら、補聴	器の調整や液	則定を行う。					
遠隔授業の 進め方	か	office365 team	s を利用して、講義を行っ	う。補聴器の)調整や測定法は	こついては	動画を和	刊用する。		
		授業	計画		授業時間外	こ必要な学修		30分以上		
1. 補聴器の	構造・	機能・種類と特	徴(教科書 pp.130~134)	(1	复習:授業範囲の	の内容をま	とめる			
2. 補聴器の	調整機	鮠(教科書 pp.1	34~137)	往	复習:授業範囲の	の内容をま	とめる			
3. 補聴器特	性の測	定法①(教科書	pp.138~140)	彳	复習:授業範囲(の内容をま	とめる			
4. 補聴器特	性の測	定法②(教科書	pp.140~143)	往	復習:授業範囲の内容をまとめる					
5. 補聴器の	付属品	品による調整 (教	科書 pp.137~138)	Í.	复習:授業範囲の	の内容をま	とめる			
6. デジタル	補聴器	み機能(教科書	pp.144~145)	ĺ.	復習:授業範囲の内容をまとめる					
7. 補聴器の	フィッ	·ティング演習①	(教科書 pp.145~153)	名	復習:授業範囲の内容をまとめる					
8. 補聴器の	フィッ	ァティング演習②	(教科書 pp. 145~153)	往	復習:授業範囲の内容をまとめる					
9. 補聴器の	適合評	下価(教科書 pp.1	53~154)	往	復習:授業範囲の内容をまとめる					
10. 人工内耳	事の基	礎原理 (教科書]	pp.167~170)	ĺ.	復習:授業範囲の内容をまとめる					
11. 人工内耳	「のマ	ッピング(教科書	₱p.171~184)	ĺ.	復習:授業範囲の内容をまとめる					
12. 人工内耳	手のマ	ッピング(教科書	₿pp.186~197)	往	復習:授業範囲の内容をまとめる					
13. その他の	の人工	聴覚器(教科書)	pp.162~166)	ĺ.	复習:授業範囲(の内容をま	とめる			
14. 補聴援助	カシス	テム(教科書 pp	.197~203)	往	复習:授業範囲(の内容をま	とめる			
定期試験										
15. 総括及で	バフィ	ードバック(定期	消試験の講評・解説)							
	項目	□課題・小テス	ト % ロレポート	% •	定期試験 1	00% 🗆	その他	%		
成績評価方法	基準等			7	筆記試験により打容全般についての 変を評価する。					
				<u>ー</u>		 出版	計	発行年		
教科書		中村ほか(編)			字 第 3 版			2021		
		小寺一興	「補聴器のフィッテ					2017		
参考図書	Ì	小川郁(監修)		かる補聴器						
履修要件	<u></u>	- 1 \ I I I I /	1	・・> の 川道が自由	からは サンドム ナンドム ナンドム 2016					
研究室	-1	1号館5階第		オフィスブ	アワー 毎週水	曜日 19	: 10~1	3:00		
H)I/L±		* AND OLD 1/1	±0 %17U=E	~ / 1/1/	/ 丹烟八	··· 14	. 10 1	J . 00		

科目No.	SHD06-3R			授業形態	能	演習	開講年	三次	3年次	
授業科目名	聴覚障害治療	寮学 I	(含演習)	担当教員 E-Mai		頼 宜礼		,		
	専 攻		科目区	分		単位	立数		履修期間	
基本項目	言語聴覚学	聴覚障害	喜		必	必 修	1 単	位	後 期 (30h)	
教員の実務経験。 授業内容の関連	-				•			<u>'</u>		
授業内容の要約	1		ゴリテーションと いた言語指導、養			-				
学修目標 到達目標		の (リ)	や診断に基づく ハビリテーショ: 作成できる	,		•		できる		
対面授業の 進め方	パワーポイント を復習しておく		講義で教科書と配	!付資料を併	用する。	聴覚と小	小児の発達	幸と耳鼻	^鼻 科領域の知識	
遠隔授業の 進め方	遠隔授業になっ で行う	た場合は	t、teams を使用	した授業を	: LIVE 酢	信にて、	対面授	業と同様		
	授業	計画		!	授	業時間外に	必要な学修		30 分以上	
1. 聴覚障害児	の聞こえと発達の確認と復習				復習を 30)分			'	
2. 聴覚障害児	党障害児の評価とコミュニケーション 1				復習を 30)分				
3. 聴覚障害児	対策を対して 2 できる アンドル 2 できる アントル 2 できる アンドル 2 できん アンドル 2 で				復習を 30)分				
	の評価とコミュニケーション 3				復習を 30					
5. 聴覚障害児					復習を 30					
6. 聴覚障害児		Am VI			復習を30分					
	(障害の受容)・母	親法			復習を30分					
	1			-	復習を30分					
9. 訓練課題	2			<u> </u>	復習を30分					
10. 発音指導と				+	復習を30分					
	訓練計画の立案 1 訓練計画の立案 2				復習を30分					
	訓練計画の立案3				復習を 30 分 復習を 30 分					
14. 臨床の記録					復習を 30					
	<u>イードバック(国</u> 家	家試験のス	 ポイントを見据え		<u>KIC 0</u>	· / ·				
項		20%		80%	□定	期試験	%	ロその)他 %	
成績評価方法	授業の内容につ	oいての	与えられた課題 の視点と絡めて ているかどうか	重を講義内容 て深く考察し	容し		, -			
	著者		タイ	イトル			出版社		発行年	
教科書	藤田郁代監修	「標進言語聴覚障害学 聴			聴覚障害学」				2021	
参考図書	立石 恒雄	言語聴覚士のための子ど				医学書院 2004				
履修要件等		1								
研究室	1号館1階 非	常勤講師	控室	オフィス	アワー	授業終了	了後、質問	引を受け	け付ける。	

授業科目名 聴覚障害治療学Ⅱ (含演習) 担当教員 馬屋原 邦博 E-Mail 専 攻 科 目 区 分 単 位 数 履修其	30h)					
授業科目名 聴覚障害治療学Ⅱ (含演習) E-Mail	30h)					
	30h)					
+t-1-27-0						
基本項目						
言語聴覚学 聴覚障害	게다 그					
	ら、成人聴覚障害者の支援方法について授業を					
教員の実務経験と 障害者福祉施設で言語聴覚士として勤務した経験から、成人聴覚障害者の支援方法について授授業内容の関連 行う。	美化					
11 7。 成人聴覚障害者の障害状況を知り、それぞれの生活の場での困難状況に即した対策を検討し、-	-h <i>ヹ</i>					
授業内容の要約 れのゴールとしての社会参加にあわせた支援方法を考える。						
学修目標 1. 成人聴覚障害者のリハビリテーションと障害対策について理解できる						
到達目標 2. 高齢難聴者の支援方法について理解できる						
対面授業の 講義と実技学習を交えながら進める。						
進め方						
遠隔授業の office365 teams を利用して、講義と実技学習を交えながら進める。						
進め方						
授業計画 授業時間外に必要な学修 30分以	Ŀ					
1. 成人聴覚障害者のリハビリテーション (教科書 pp.221~223) 復習:授業の範囲をまとめる						
2. 成人聴覚障害者のニーズ (教科書 pp.221~223) 復習:授業の範囲をまとめる						
3. 障害対策支援: 聴覚補償 (補聴器①) (教科書 pp.223~228) 復習: 授業の範囲をまとめる						
4. 障害対策支援: 聴覚補償(補聴器②)(教科書 pp.223~228) 復習: 授業の範囲をまとめる						
5. 障害対策支援: 聴覚補償(補助機器・日常生活用具の活用) 復習: 授業の範囲をまとめる						
6. 障害対策支援: コミュニケーション手段の拡大・代替 (教科書 p.228) 復習: 授業の範囲をまとめる						
7. 障害対策支援: コミュニケーションストラテジー・家族および周囲の 復習: 授業の範囲をまとめる						
対応や配慮の仕方 (教科書 pp.229~232) 8. 障害対策支援: 障害認識と障害受容への支援(教科書 pp.232~233) 復習: 授業の範囲をまとめる						
9. 成人聴覚障害者の社会生活の支援① (教科書 pp.234~235) 復習:授業の範囲をまとめる						
10. 成人聴覚障害者の社会生活の支援②(教科書 pp.235~237) 復習:授業の範囲をまとめる						
11. 成人聴覚障害者の社会生活の支援③(教科書 pp.241~243) 復習:授業の範囲をまとめる						
12. 高齢難聴者の支援 (教科書 pp.238~241) 復習:授業の範囲をまとめる						
13. 成人聴覚障害者の社会資源とその活用 (教科書 pp.382~386) 復習:授業の範囲をまとめる						
14. 特異的な聴覚障害・重複障害 (教科書 pp.342~354) 復習:授業の範囲をまとめる						
定期試験						
15. 総括及びフィードバック (定期試験の講評・解説)						
項目 □課題・小テスト % □レポート % ■定期試験 100% □その他	%					
基記試験により授業内容						
成績評価方法 準 全般についての理解度を						
等に対している。						
著者 タイトル 出版社 発	行年					
中村ほか(編) 「標準言語聴覚障害学 聴覚障害学」第3版 医学書院 2)21					
山田弘幸 「言語聴覚療法シリーズ 6 改訂 聴覚障害 II ―臨床編」 健帛社 2	008					
参考図書 日本聴能言語士協会 「アドバンス/コミュニケーション障害の臨床 講習会実行委員会 第7巻 聴覚障害」 協同医書 2	002					
)16					

履修要件等	成人聴覚障害診断学を履修済みであるこ	と		
研究室	1号館5階第19研究室	オフィスアワー	毎週水曜日	12:10~13:00

科目No.		SHD08-3R			授業形	態	演習	開講	年次	3年	次
授業科目名		視覚聴覚二重障害学(含演習) 担当教 E-Ma			~ `	7.4) <u>-13</u> /4 7 14 4					
		専 攻		科目区	分		単 位	上 数		履修	期間
基本項目		言語聴覚学	聴覚障害	書			必 修	1 1	単位	後期	(16h)
教員の実務経験 授業内容の関連	-	障害者福祉施設で言語聴覚士として勤務した経験から、視覚聴覚二重障害者の障害、コミュニケーション、支援方法について授業を行う。									
授業内容の要	約	視覚聴覚二重障害による特有のニーズを理解し、視覚聴覚二重障害者(児)のコミュニケーションと 社会参加を支援する方法を学ぶ。									
学修目標 到達目標		2. 視覚聴覚二	重障害者	障害原因について のコミュニケーシ のコミュニケーシ	ノョンを含	む生活			域対策7	が理解でき	:る
対面授業の 進め方		講義とコミュニ	ケーショ	ン手段について	の実技学	習を行	う。				
遠隔授業の 進め方	Loffice365 teams を利用して、講義とコミュニケーション手段についての実技学習を行う。										
		授業	計画				授業時間外に	必要な学	修	30分以	以上
1. 視覚聴覚二 pp.354~355)	重配	章害の定義と視覚	范聴覚二	重障害者の実態	(教科書	復習:授業の内容をまとめる					
	てし	視力障害、視野	障害など	.)		復習	復習:授業の内容をまとめる				
3. 視覚聴覚二	重障	害者の困難(教	科書 pp.:	356~358)		復習:授業の内容をまとめる					
4. 視覚聴覚二	重障	害者のコミュニ	ケーショ	ン手段および実	習①(教	復習:授業の内容をまとめ、実技の復習をする					をする
科書 pp.358~	360)										
5. 視覚聴覚二	重障	害者のコミュニ	ケーショ	ン手段および実	習②(教	復習	: 授業の内容	をまと	め、実	技の復習る	をする
科書 pp.358~	360)										
6. 視覚聴覚二	二重阿	章害者の社会生	舌(移動	介助体験含む)	(教科書	復習	: 授業の内容	をまと	める		
p.361)											
	重障	害児(教科書 p	$0.360 \sim 3$	61)		復習	: 授業の内容	をまと	める		
定期試験		10 0 2- /-L-11=	⇒. N⊞A = ==#	et krav							
		・ドバック(定期		I	0/	.ا لــــــــــــــــــــــــــــــــــــ	-n=-\pm\-	20/	7 -	/ı.la	0/
	項目	□課題・小テス	ト %	ロレポート	%	■疋界	那試験 100	J %	ロその	世	%
成績評価方法	基					筆記	試験により授	業内			
以傾旷Ш刀伍	準					容全	般についての	理解			
	等					度を	評価する。				
***		著者		タイトル				出版社		発	行年
教科書	Ţ	中村ほか(編)							20	021	
分土四十		全国盲ろう者協							20	008	
参考図書		東京盲ろう者友	盲ろう者友の会 「指点字ガイド」			·ブック」 読書工房 2012				012	
履修要件等											
研究室		1 号館 5 階 第 19 研究室 オフィスアワー 毎週水曜日 12:10~13:00									

科目No.	SRM02-3R			授業形態	講義	開講年	淡	3年次	
授業科目名	地域言語聊	党学		担当教員 E-Mail	和田英嗣	ij			
	専 攻		科目区	分	単	位 数		履修期間	
基本項目	言語聴覚学	地域·予防	医学的リハビ	リテーション	必修	1 単	位	前 期(16h)	
教員の実務経験。授業内容の関連	病院や訪問の臨 障害に対する評		して地域リハト	ゴリテーシ	/ョンの	労徴、様々な			
授業内容の要約	携し、チーム医 その中での言語	本学のディプロマ・ポリシーである「豊かなコミュニケーション能力と人間性のもと、関連職種と 携し、チーム医療を推進することができる」を身につけるため、地域言語聴覚療法について理解 その中での言語聴覚士の役割を習得する。種々の障害について ST としてどのように関わり、評価 訓練・環境調整を行っていくのかを理解する。							
学修目標 到達目標	 地域言語聴 地域におけ 種々の障害 	る連携やリス	スク管路ができ	きる					
対面授業の 進め方	座学と討論を行 一プ討論を実施							質疑応答やグル	
遠隔授業の 進め方	Microsoft office 場合は後日録回				· · · · · · · ·			で参加できない	
	授業	計画			授業時間外に必要な学修 30分以上				
1. 地域言語聴覚療法とは					地域言語聴覚療法について授業後に復習しノートにまとめる。				
2. 地域言語聴覚	芝療法における連携	と展開			地域言語聴覚療法における連携と展開について 授業後に復習しノートにまとめる。				
3. 地域言語聴覚	芝療法におけるサー	ビス			地域言語聴覚療法におけるサービスについて授 業後に復習しノートにまとめる。				
4. 地域言語聴覚	芝療法の実際(成人)			域言語聴覚療法 復習しノートに			こついて授業後	
5. 地域言語聴覚	芝療法の実際(小児)			地域言語聴覚療法の実際 (小児) について授業後に復習しノートにまとめる。				
6. まとめ、レス	ポートの書き方につ	いて			ポートの書き しノートにまと		くについ	いて授業後に復	
7. グループ発表	Ę			İ	ループ発表に [、] とめる。	ついて授業	美後に行	复習しノートに	
定期試験(期末レポート)							
8. 総括及びフィ	ィードバック(定期	試験の講評・	• 解説)						
項	■ 発表 50%		■ レポート	40%	□ 定期試験	%	■ ~	の他 10%	
成績評価方法	進 し、授業の内容	家について	- 内容と絡めて深く考察 いため、レボートの					の有無や授業中 亟的な参加につ 評価する。	
教科書	著者	著者タ		、トル	ル 出版社			発行年	
	藤田郁代	標準言語		地域言語聴	言語聴覚療法学 医学書院 2019				
参考図書									
履修要件等	言語聴覚障害機	騙Ⅰ・Ⅱが	復修済みであ	ることが望ま	LV				

研究室 1 号館 5 階 第 1 共同研究室 オフィスアワー 毎週火曜日 10:40 ~ 12:10

科目No.	SCP05-3R		授業形態	演習	開講年次	3年次				
授業科目名	臨床実習指導	∮Ⅲ	担当教員 E-Mail	•						
	専 攻	科 目 区	分	単位	立数	履修期間				
基本項目	言語聴覚学	臨床実習		必修	1 単位	前 期 (30h)				
教員の実務経験と	言語聴覚士とし	て臨床現場にて評価や訓	練を行ってき	た。その経験を	活かして臨床	現場に行くまで				
授業内容の関連	の基本的な知識	の基本的な知識や技能を解説する。								
授業内容の要約	専門基礎分野に	ジン要となる基礎的な知識 こついてグループで学習す こ関する評価方法を演習し	る		習を行う					
学修目標 到達目標	2. 各種情報・ 度、訓練の 3. 臨床評価実	4. 社会人・言語聴覚士としての基本的態度、実習・職務に対する意欲を持つ								
対面授業の	学生相互での講	養、グループ演習を行う								
進め方	プレゼンを行う	ためにグループで協力し	て準備を進め	ること						
遠隔授業の 進め方	座学は遠隔授業	(で実施する。 演習は、 教	室内が密にな	らないようにし	て各自で検査	の練習を行う。				
	授業	計画		授業時間外に	必要な学修	30分以上				
1. 臨床評価実習の	D意義、目的、目	標、期間、内容								
2. 実習に際する注	主意事項確認		医	療従事者として	の心得を復習					
3. 実習に際する酒	主意事項確認		個	人情報保護法、	災害時の対応	等の復習				
4. スポーツ活動	(体育祭) を通じ	た学生間連携・チームワー	ーク							
5. 国家試験出題基	基準の小項目に記	載されている用語につい	ての学習 専	門用語の解説ノ	ートの作成					
6. 国家試験出題基	基準の小項目に記	載されている用語につい	ての学習 専	専門用語の解説ノートの作成						
7. 情報収集演習、	症例ビデオの解	析、検査演習、グループ	寅習 考	考察を深め、レポートを作成する						
8. 検査演習			臨	臨床実習に関連する検査の練習						
9. 検査演習			臨	臨床実習に関連する検査の練習						
10. 検査演習			臨	臨床実習に関連する検査の練習						
11. 検査演習			臨	臨床実習に関連する検査の練習						
12. 検査演習			臨	臨床実習に関連する検査の練習						
13. 検査演習			臨	臨床実習に関連する検査の練習						
14. 検査演習			臨	 床実習に関連す	る検査の練習	1				
定期試験(期	末レポート)		<u> </u>						
		明試験の講評・解説)	訓湯	 練プログラムの)立案					
項目	□課題・小テス) % □范	E期試験 (% ■ その	他 50 %				
成績評価方法 準 等		グループ発表で資料を評価する			演習創	態を評価する				

	著者	タイトル			出版社		発行年
教科書		※「大阪河﨑リハビリテーション大学					
		言語聴覚学専					
参考図書	平野哲雄他 編著	「言語聴覚療法 臨床マニュアル第3版」			協同医書出版社		2014
参与凶音	廣瀬肇 監修	「言語聴覚士テキスト 第3版」			医歯薬出	出版	2018
履修要件等	「臨床基礎実習」の単位取得済みであること。						
研究室	髙橋:1号館5階第	亨 17 研究室	ナファフマロ	髙橋:	毎週火曜日	12:10	~13:00
	上田:1号館5階第	亨16研究室	オフィスアワー	上田:	毎週木曜日	12:10	~13:00

# 攻 科 日 区 分 甲 位 数 障修期間 まいり	科目No.		SCP08-3R		授業刑	態	実習	開講年次	3年次			
基本項目 言語聴覚学 臨床実得 ② 修 4 単位 (60h) 4 週間 数頁の実施課金と 投業内容の関連 5 年以上の臨床経験がある言語聴覚士が臨床現場において 4 週間の指導を行う。 これまで子修した専門基礎科目及び専門科目の総復間を行う。その上で、医療・介護・福祉・教育機 別において、音語聴覚・摂食嫌下障害のある方の実態と言語聴覚士の業務内容を理解し、対象児・者のエード地類とその解説に必要な支援の方法を学ぶ。 1 職務上必要な行権の収集・管理方法を修得する 2 対象児・者について各情論を開発に失った。 2 対象児・者について各情論を開発に失った。 2 対象児・者について各情論を開発に失った。 2 対象児・者について各情論を開発は失った。 2 対象児・者について各情論を開発は失った。 2 対象児・者について各情論を開発に失った。 2 対象児・者について各情論を開発は失った。 2 対象児・者について各情論を開発性を表現しませませまで応害の対態。 4 他の言語聴食士はよび定節をはじめとせる陰重聴値に対して報告書を作成できる 4 他の言語聴食士はよび大学に提出する 2 支持・国主は、関連の必要性を判断し、 調解計画の概要を立案できる 2 支持・国主は、関連の必要性を判断し、 調解計画の概要を立案を付成し、非書言語聴覚士および大学に提出する 2 支部・資金・協・教育機能に対して報告書を作成し、 1 事間を書の報題、 1 事間の必要表とも分の質疑応なの計10 分間を伸む時間とする 2 支第・支第・衛祉・教育機能に対して報告書を作成し、 1 事に対する説明・元 2 支第・技事の訓謝目標を設定し、 訓練計画の概要を立案する 2 支第・技事の訓謝目標を設定し、 訓練計画の概要を立案する 2 支第・技事の必要集、 定例報告 2 支第・支第のから記録、 定例報告 2 支割・無は規能に対して報告書を作成し、 報告会で表する 2 支割・販売・関連に対して報告書を作成し、 報告会で表する 2 支割・販売・関連・大手にとか、 別應資資料を作成し、 報告会で表する 4 地互の実資イ動をとよう、 別應資資料を作成し、 報告会で表する 4 地互の実資イ動をとよう、 別應資資料を作成し、 報告会で表する 4 地互の実資イ動を表する 2 世界のの記述、 定例報告書 2 世界の記述 2 世界と参のプレゼン内容 2 世界と参のプレゼン内容 2 世界と参のプレゼン内容 2 世界と参のプレゼン内容 2 世界と参のプレゼン内容 2 世界と参のプレゼン内容 2 世界と参のアレゼン内容 2 世界と参のアレゼン内容 2 世界と参のアレゼン内容 2 世界と参加を表する 2 世界と参加を表する 2 世界と参加を表する 2 世界を表する 2 世	授業科目	名	臨床評価実	· 277 · 百			髙橋 泰子・上田 有紀人					
			専 攻	科目区	分		単位	立 数	履修期間			
表案内容の関連 5年以上の個別経験がある言語順度士が臨床規能において 4期間の指導を行う。	基本項目	1	言語聴覚学	臨床実習			必修	4 単位	(160h)			
接換内容の要約			5年以上の臨床	5年以上の臨床経験がある言語聴覚士が臨床現場において4週間の指導を行う。								
2. 対象児・者について各情報や観察結果から、適切か検査を選択し実習指導者の下に施行できる 3. 各種情報・検査結果を適切に解析・統合し、言語聴覚障害・摂食嚥下障害の病態、タイプ、重症度、調練の必要性を判断し、訓練計画の概要を立案できる 4. 他の言語聴覚士および医師をはじめとする関連職種に対して報告書を作成できる 4. 他の言語聴覚士および医師をはじめとする関連職種に対して報告書を作成できる 4. 他の言語聴覚士および天神に提出し実習指導者の校園・指導を受ける。実習終了時に一括して大学、提出する 連書終了時は途例・実習報告レボート等を作成し、指導言語聴覚士および大学に提出する 臨床実習前後の指導は遠隔が行うが、臨床実習は臨床現場にて実施する。臨床実習期間の質問等はり モートで行う場合がある。臨床実習接の報告会はリモートで行い、一人 6 分の発表と 4 分の質疑応答の計 10 分間を持ち時間とする。 投業計画 授業の関係を変が整 30 分以上 10 会別を持ち時間とする。 投業計画 授業の報告会はリモートで行い、一人 6 分の発表と 4 分の質疑応答の計 10 分間を持ち時間とする。 投業計画 授業の報告会はリモートで行い、一人 6 分の発表と 4 分の質疑応答の計 10 分間を持ち時間とする。 投票の課権主要がでは、対して報告書を作成し、「自語聴覚障害・摂食薬下障害の病態、タイプ、重症度、訓練の必要性を判断する。	授業内容の	要約	関において、言	語聴覚・摂食嚥下障害の	ある方の	実態と	· · · ·					
変			 対象児・者 各種情報・ 度、訓練の必要 	こついて各情報や観察結り 検査結果を適切に解析・糸 性を判断し、訓練計画の	果から、道 統合し、言 概要を立	適切な 言語聴 案でき	覚障害・摂食。 さる	熊下障害の病態				
進め方			学へ提出する									
「臨床評価実習			モートで行う場合がある。臨床実習後の報告会はリモートで行い、一人 6 分の発表と 4 分の質疑応									
・医療・介護・福祉・教育機関において、実習指導者の下に観察・記録・検査・解析・統合を行い、言語聴覚障害・摂食嚥下障害の病態、タイプ、重症度、訓練の必要性を判断する ・短期・長期の訓練目標を設定し、訓練計画の概要を立案する ・言語聴覚士・関連職種に対して報告書を作成し、口頭でも説明する 「富語聴覚士・関連職種に対して報告書を作成し、口頭でも説明する 「実習内容の記録、症例報告、目標に対する結果、考察、今後の課題等をレポートにまとめ、視聴覚資料を作成し、報告会で発表する・相互の実習体験を共有し、臨床総合実習の基盤とする 「理」□課題・小テスト % ■レポート 20% □定期試験 % ■その他 80% 基基準 実習中の日誌報告会用のレジュメ 塩 塩 塩 塩 塩 塩 塩 塩 塩 塩 塩 塩 塩 塩 塩 塩 塩 塩 塩			授業	計画			授業時間外に	必要な学修	30 分以上			
成績評価方法 基準等 症例報告書実習中の日誌報告会用のレジュメ 臨床実習指導者による評価報告会のプレゼン内容 教科書 著者 タイトル 出版社 発行年 教科書 ※「大阪河崎リハビリテーション大学言語聴覚学専攻:実習の手引き」 「言語聴覚学専攻:実習の手引き」 2014 参考図書 平野哲雄他編著 「言語聴覚療法 臨床マニュアル 改訂第3版」 協同医書出版 2014 2018	・医療・介護 録・検査・角 タイプ、重調・長期・ ・ 短期・長期・ 言語聴覚士 【臨床評価等 ・ 実習内容の 等をレポー】	ります。 といれて ままま ままま ままま ままま ままま ままま ままま ままま ままま ま	統合を行い、言語 訓練の必要性を判 練目標を設定し、 車職種に対して報 告会】 、症例報告、目標 とめ、視聴覚資料	等聴覚障害・摂食嚥下障害 川断する 訓練計画の概要を立案す 告書を作成し、口頭でも記 に対する結果、考察、今後 計を作成し、報告会で発表	の病態、つる説明する後の課題	実習	中:観察した	症例の記録、不	明な点は調べる			
成績評価方法 準 実習中の日誌報告会用のレジュメ 臨床実習指導者による評価報告会のプレゼン内容 教科書 著者 タイトル 出版社 発行年 教科書 ※「大阪河崎リハビリテーション大学言語聴覚学専攻:実習の手引き」 「言語聴覚学専攻:実習の手引き」 2014 参考図書 平野哲雄他編著 「言語聴覚療法 臨床マニュアル 改訂第3版」 協同医書出版 2014 廣瀬肇 監修 「言語聴覚士テキスト 第3版」 医歯薬出版 2018		項目	□課題・小テス	ト % ■レポート	20%	□定期	試験 %	■その他	80%			
教科書 ※「大阪河崎リハビリテーション大学 言語聴覚学専攻:実習の手引き」 参考図書 平野哲雄他編著 「言語聴覚療法 臨床マニュアル 改訂第3版」 協同医書出版 2014 廣瀬肇 監修 「言語聴覚士テキスト 第3版」 医歯薬出版 2018	成績評価方法	準	実習中の日誌 臨床実習指導者による 報告会のプレゼン内容									
参考図書 平野哲雄他編著 「言語聴覚療法 臨床マニュアル 改訂第3版」 協同医書出版 2014 廣瀬肇 監修 「言語聴覚士テキスト 第3版」 医歯薬出版 2018			著者	·	タイトル	,		出版社	発行年			
参考図書 廣瀬肇 監修 「言語聴覚士テキスト 第3版」 医歯薬出版 2018	教科書			·								
	参考図書	*										
カタセン メコーロー・コース 白 ダコー 夏/・ 7/1/2 Pグマンコール ロングババル ひ 10円 ローフ ましん ひものかがら きてきます	履修要件								2010			

髙橋:1号館5階 第17研究室 髙橋:毎週火曜日 12:10~13:00 オフィスアワー 研究室

上田:1号館5階 第16研究室 上田:毎週木曜日 12:10~13:00